福山市

当初設計

2025年度

神辺駅御幸線×一般国道182号

福山市神辺町地内

川南土地区画整理事業交差点改良工事　**実施設計書**

	当初設計	
工事概要	工事延長　L=451.6m 道路幅員　W=18.0～26.0m 張コンクリート工　A=18m2 舗装工　A=1038m2 縁石工　L=59m 区画線工　L=2185m 案内標識板補修工　一式 交通信号装置据付工　一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

・本特記仕様書は、川南土地区画整理事業交差点改良工事に適用する。また、本特記仕様書に「令和7年度改訂交通信号機等工事共通仕様書」（別紙）を含むものとする。
・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
・令和6年8月　広島県　土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
・その他関連規格類
・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節　工程表の提出について

・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節　地元への周知

・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節　工事に着手すべき期日について

・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節　法定外労災保険の付保について

・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節　再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章　材料

第1節　コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章　施工条件

第1節　関連する別途工事

・工事名　　：川南土地区画整理事業整地外工事(9・10街区)
　　：川南土地区画整理事業整地外工事(5・6街区)
　　：川南土地区画整理事業道路築造工事（神辺駅御幸線外1路線）
　　：川南土地区画整理事業道路築造工事（区画道路6-11号線1工区）
　　：川南土地区画整理事業道路築造外工事（区画道路6-1号線外2路線）
　　：川南土地区画整理事業舗装外工事（区画道路9-1号線外2路線）
　　：川南土地区画整理事業舗装工事（区画道路6-14号線外1路線）
　　：川南土地区画整理事業交差点照明設置工事
　　：川南土地区画整理事業整地工事（12・13街区）
　　：円形管埋設工事(都市6-8)
　　：円形管埋設工事（都市7-8）
　　：円形管埋設工事（流関7-30）
　　：配水管布設工事（配改7-1）
　　：配水管布設工事（配改7-2）
　　：（仮称）川南公園整備工事
　　：（仮称）川南公園軽量盛土工事
　　：神辺駅西口広場整備工事（2工区）
　　：神辺駅西口広場整備工事（3工区）
・他工事の内容：整地工事、道路築造工事、下水道築造工事、水道工事、公園整備工事
・事業の進捗により、上記以外にも川南土地区画整理事業に係る工事に加え、中国電力、NTTによる電柱・電線関連の工事も発生する見込みである。特に工区を隣接もしくは共有する工事とは、工程や工事車両の出入りなど、調整を密に行うこと。

第2節　都市計画道路供用開始につながる工程管理について

本工事で施工する都市計画道路神辺駅御幸線は、令和8年3月末の供用開始を予定しているため、本工事の受注者は、適切な工程管理を行い、工期内で工事を完了できるように努めること。

第3節　関係機関との協議

・協議先機関名：広島県警察本部、福山北警察署
・協議内容　　：工事に支障となる信号機設備の移設について
　　：区画線の施工について
広島県警察本部施工の信号機設備があるため、工程の調整を密にとること。

第4節　工事支障物件

・調査項目：NTT埋設管マンホール調整
・調査時期：施工前に協議を行うこと。

第5節　検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第6節　交通誘導警備員

1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
4　本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
5　受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節　建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
1 建設廃棄物処理計画書
・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
・各処分場の現地確認写真
・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
2 再生資源利用計画書
3 再生資源利用促進計画書
(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
1 再生資源利用実施書
2 再生資源利用促進実施書
3 建設廃棄物処理実施書
・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節　建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
・実施伝票は原本を提出すること。

第9節　特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第10節　支給品

支給品
次のとおり広島県警察本部支給の支給品を使用すること。
・品名　　：信号柱（鋼管柱）
・数量　　：1本
・規格・性能：STKφ216.3*5.8t*7700L　BP2

第11節　施工後の区画線及び信号機設備の取扱い

現場施工完了後から供用開始するまでの期間、区画線の標示及び信号機設備の現示を部分的に視認できないようにする必要がある。交通の影響に支障がないように十分に留意し、実施すること。

第4章　その他

第1節　信号機設備の移設について

・「交通信号等工事共通仕様書」（第1章　第1適用範囲）に記載されている「広島県警察本部」は「福山市神辺建設産業課」と読み替える。信号機設備工事の施工者は広島県警本部の信号機工事指名業者であること。（下請業者も可とする）
・本工事は信号機設備を移設する工事であり、信号の現示調整を含むものである。移設に伴い適用の必要が生じる場合は、発注者と受注者との協議対象とする。

・信号機の現示調整については、現場施工後から供用開始するまでの期間は、現行の現示とする。
　現示調整を行う際は、関係機関と調整を十分に行うこと。

第2節　その他項目

・「交通信号等工事共通仕様書」に記載されている（第1章　第4工事現場の管理）に記載されている「1 主任（監理）技術者の配置等」、「2 現場代理人の配置等」については、福山市建設政策課が公表している主任（監理）技術者、現場代理人の適正配置によるものとする。

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第3節　福山市週休２日適用工事について

本工事は、福山市週休２日工事の実施について対象外とします。

交 通 信 号 機 等 工 事 共 通 仕 様 書

（令和７年度改訂）

第１章　総則

第１　適用範囲

１　本仕様書は、広島県警察本部が発注する交通安全施設の新設、改良及び改修並びに移設等の電気・電気通信工事に適用する。ただし、灯火式道路標識に係る工事は適用外とする。

２　特殊な工事については、別に定める仕様書によるものとする。

３　設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、本仕様書に優先するものとする。

第２　用語の定義

１　監督職員

監督職員とは、請負工事の施工において、その指定を受けた発注者側の職員をいう。

２　指示

指示とは、発注者側の発議により監督職員が請負者に対し、監督職員の所掌事務に関する方針、基準などを示し実施させることをいう。

３　現場代理人

現場代理人とは、請負者が施工する工事について、工事現場の管理をつかさどる総括責任者をいう。

第３　一般事項

１　信号設備工事（以下「本工事」という。）は、広島県契約規則、広島県建設工事執行規則、広島県土木工事共通仕様書、設計図書の最新版及び本仕様書により施工すること。

なお、本工事の工期には、検査期間として１４日間を見込んでいる。

２　本工事の施工に関し、建設業法等に抵触する行為は厳に行わないこと。また、建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。

３　本工事は、電気設備の技術基準、及びその他関係規定に適合するように施工すること。

４　本工事に使用する機器、材料はすべて形式指定のもの、又は同等以上のものとすること。

５　本工事の施工に際し、設計図面と現場との確実な照査を実施し、施工目的を達成すること。

なお、照査を行う中で、疑義等が生ずる場合については、監督職員へ直ちに連絡し、事前に指示を受けること。

６　本工事施工に伴う道路占用協議、共架申請、河川占用許可申請、専用回線申込の手続きは、原則、発注者において行う。ただし、これらの協議又は申請に際し必要となる資料について、別途、監督職員の指示がある場合については、当該資料の作成をしなければならない。

７　本工事施工に伴う道路使用許可申請、給電の新規及び廃止申込、諸報告、その他上記６以外の手続きは請負者において行い、給電申込の契約者名は管轄警察署長とすること。

なお、本工事の施工において設備の増減等に伴い、受電電力契約の変更が必要となる場合には、次のとおり請負者において変更契約を行うこと。

(1)　負荷設備の総消費電力が１kva 未満となる場合（公衆街路灯Ｂから公衆街路灯Ａに変更する。）

(2)　負荷設備の総消費電力が１kva 以上となる場合（公衆街路灯Ａから公衆街路灯Ｂに変更する。）

(3)　負荷設備に増減等があり、総消費電力が変動となる場合で、変更前後の総消費電

力が１kva 未満の場合（公衆街路灯Ａの変更契約をする。）

8　本工事完成後２箇年度（設置年度末日から起算）以内に、施工又は機器、材料の不良に基づく故障等が生じた場合には、請負者の責任において完全に修理すること。

9　請負者は、本工事完成後１箇年度（設置年度末日から起算）は、信号機設備の機能を保持するため、次に掲げる点検等を必要に応じて行うこと。

(1)　機器の点検

(2)　レンズ及び灯器のしき掃

(3)　電球取替

(4)　その他信号設備の機能保持に必要な手入れ

10　現場説明資料の配付

入札説明書、設計図面、仕様書などの現場説明資料の配付については、原則、データ情報を電子メールにて送信することにより行う。よって、送信を希望するアドレス先を発注者へ通知するとともに、変更がある場合については直ちに発注者（工事担当課）へ申し出ること。

なお、データ情報を受信した指名業者にあっては、直ちに「指名業者名」「担当者名」「連絡先」及び「受信を完了した旨の内容」を付記し、送信アドレス先へメールを返信すること。

また、やむを得ず外部記録媒体により現場説明資料の配付を受けようとする場合には、現場説明日の前日（前日が閉庁日の場合には、直近の開庁日）の１２時までに発注者（工事担当課）へその旨を事前連絡するとともに、配付を受けようとする外部記録媒体内のデータについては全て消去し、ウイルスチェックを確実に実施した後、当日提示すること。事前連絡がない場合、外部記録媒体による配付には応じられない場合があるので、十分注意すること。

11　工事仕様書等の情報流出防止

発注者から配付する（配付形態はデータ、ペーパーを問わない。）仕様書や図面などの情報について、次のことを確実に遵守し、情報流出の防止に万全を期すること。

(1)　発注者から配付を受けたデータ情報（以下「データという。）」の取扱い

ア　ウイルスチェックの実施

データを取り扱うパソコンはもちろん、データを取り扱うパソコンと同一ネットワークで接続されているパソコンについては、最新のパターンに更新されたウイルス対策ソフトをインストールし、常時ウイルスチェックが行われる環境を整備すること。

イ　ファイル共有ソフトの使用禁止

データを取り扱うパソコンへは「Ｗｉｎｎｙ」に代表されるファイル共有ソフト等は、絶対にインストールしないこと。

ウ　外部記録媒体の紛失防止

データを保存したメモリースティックなどの外部記録媒体を持ち出す場合には、持ち出し記録簿を作成する等外部記録媒体の管理体制を確立して、当該媒体の紛失防止に徹底を期すること。

(2)　ペーパー情報の取扱い

ア　ペーパーの紛失防止

ペーパー情報の所在確認はもちろん、社外に持ち出す場合は、出社時、帰社時等適宜その所在を確実に確認し、外部記録媒体と同様に紛失防止に徹底を期すること。

イ　スキャナーを使用したペーパー情報の取り込み

スキャナーを使用し、ペーパー情報を取り込む場合は、取り扱うパソコンのウイルスチェック及びファイル共用ソフトがインストールされていないことを確実に確認して、情報流出防止に万全を期すること。

(3)　自宅での作業の禁止（当課が配付したものに限る。）

情報流出の多くは、データを自宅へ持ち帰って作業中に、ウイルス対策の行われて

いないパソコンやファイル共有ソフトを介し、インターネット上に流出している。したがって、データはもちろん、ペーパーについても自宅へ持ち帰っての作業については禁止する。

(4) その他

万一、当課が配付等した情報が外部へ流出した場合、又は流出した可能性がある場合には、監督職員まで直ちに通報すること。

12 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を使用しなければならないときは、発注者は引渡し前であっても工事目的物の全部又は一部を使用することができる。

13 設計図書及び仕様書等で不明、又は疑義のある事項、あるいは本仕様書に記載のないことで本工事に必要と認められるものは、あらかじめ監督職員の指示を受けること。

14 請負金額２千万円以上の工事は、原則として中間検査の対象とし、検査日は別途監督職員が連絡する。

第４ 工事現場の管理

1 主任（監理）技術者の配置等

(1) 建設業法第２６条の規定により請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。

(2) 請負者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、次のいずれかとすること。なお、発注者から請求があったときは、資格を証明する書類を提示すること。

ア 建設業法第１５条第２号イ又はロに該当する者

イ 建設業法第１５条第２号ハの規定により国土交通大臣が同号イ又はロに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者であって、次のいずれかに該当する者

(ｱ) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者

(ｲ) 平成１６年２月２９日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者

(ｳ) 平成１６年２月２９日以前に監理技術者講習を受け、平成１６年３月１日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者であって、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者

(3) 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

ア 契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

イ 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

エ　工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

(4)　主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

ア　受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

イ　橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と請負者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

(5)　主任（監理）技術者の兼務制限

ア　請負金額４，５００万円以上及び建設業法第２６条第２項が適用されない工事

(ｱ)　建設業法施行令第２７条第２項が適用される密接な関係のある公共工事で、当該工事箇所の相互の距離が１０km程度で同一の市町内（安芸郡４町については、同一市町として取り扱う。以下同じ。）であれば本件工事を含め２件の兼務を可能とする。

※　密接な関係のある工事とは、工作物に一体性又は連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当部分を同一の下請け業者で施工する場合を含む。）をいう。

※　工事箇所間の距離の算定に当たっては、複数箇所を合併して発注する場合を含め、最も近接する施工箇所を距離算定の基礎とする。

※　本運用による取扱いの対象となる工事箇所は、複数箇所を合併して発注する場合を含め、全て同一の市町内でなければならない。

なお、請負金額が１億円未満のとき、次の条件を全て満たす場合も、本件工事を含め２件の兼務を可能とする。

a　工事現場間が、一日の勤務時間内に巡回可能な距離で、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合に、工事現場間の移動時間がおおむね２時間以内であること。

b　下請次数が３を超えないこと。

c　連絡員を工事現場に配置すること。

d　工事現場の施工体制を情報通信技術（ＣＣＵＳ等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。

e　人員配置計画書を作成し、各工事現場及び営業所に備え置くこと。

f　工事現場の状況の確認をするために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。

g　上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例１号に係る条件を満たすこと。

(ｲ)　兼務の届出に当たり、下請工事の予定を明らかにすること。

(ｳ)　工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

イ　請負対象設計金額４，５００万円未満の工事

兼務制限なし。

2　現場代理人の配置等

(1)　請負者は、請負者と直接的な雇用関係を有する者を現場代理人として選定し、本

工事施工中は、常時本工事現場に配置すること。ただし、次に掲げる条件をいずれも満たす場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という）第１０条第３項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

ア　請負金額４，５００万円未満の建設工事であること。

イ　監督職員等と携帯電話等で常に連絡が取れること。

(2)　現場代理人は、常に工事が安全に行われるよう現場管理を行うこと。また、災害防止については万全の措置を執り、特に火気の取扱いについては厳に注意すること。

(3)　次の要件を満たす場合、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。

ア　請負金額４，５００万円以上の工事

(ｱ)　建設業法施行令第２７条第２項が適用可能な工事で、同一の専任の主任技術者が当該工事の監理を行うことが認められるものであること。

(ｲ)　兼務する公共工事が、本件工事を含め２件以内であること。

(ｳ)　兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(ｴ)　工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(ｵ)　兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(ｶ)　監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

イ　請負金額４，５００万円未満の工事

(ｱ)　兼務する公共工事が、本件工事を含め５件（災害復旧工事及び路線委託に係る件数を除く。）以内であること。

(ｲ)　兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(ｳ)　工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(ｴ)　兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(ｵ)　監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

(4)　本工事現場において他の工事がある場合には、常に相互協調して紛争を起こさないよう留意すること。

(5)　本工事施工中は、道路使用の適正、交通の危険防止などに十分留意すること。

3　工事施工に際し、他の者が所管する工作物等に障害、損傷を与えた場合、又は第三者の生命、身体に危害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告のうえ適切に処置すること。

4　工事中は、一般通行人に見え易い場所に「信号工事中」等の標示板を設置すること。

5　信号の滅灯を伴う工事施工に当たっては、あらかじめ管轄警察署に交通規制の一時解除の申請を行うこと。

6　請負者は、工事完了に際しては速やかに仮設物を撤去し、後片付け及び清掃を行うこと。

7　建設廃棄物処理関係

本工事から発生する建設廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「建設リサイクル法」という。）」及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和４５年法律第１３７号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理すること。

建設リサイクル法で義務付けのある建設工事を実施する場合、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材）が廃棄物になったものをいう。）については、当該廃棄物を基準に従って工事現場で分別（分別解体等）し、再資源化等適正に処理しなければならない。

建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理すること。

なお、建設廃棄物の処理費用には広島県産業廃棄物埋設税相当額を見込んでいる。

8　暴力団等の不当要求及び工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除について

(1)　暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、所轄の警察署に届け出ること。

(2)　発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。

(3)　排除対策を講じたにも関わらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。

(4)　発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第２１条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。

(5)　暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。

(6)　当該被害により、工期の遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第２１条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと

9　立入調査の実施について

発注者は、請負人が工事の施工にあたり遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているか立入調査を行うことができる。

請負人は発注者又は発注者の指名する者が工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

10　その他留意事項

(1)　工事用資機材等の運搬において過積載にならないようにすること。

(2)　過積載を行っている資材納入業者に資材の搬入を行わせないこと。

(3)　ダンプカーのさし枠装着等による違法行為は行わせないこと。

(4)　工事中の安全確保について、建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課及び国土交通省総合政策局建設施工企画課長通知（平成１７年３月３１日）を参考とすること。

(5)　交通誘導は必ず工事ヤードの内側で向かってくる通行車両に対面して行うこと。また、交通整理機材を効果的に活用し、事故に遭わないよう常に通行車両に注意して誘導にあたること。

(6)　短時間の工事資器材積卸しなどによる停車は、車道のできる限り左側端に沿うようにして行い、絶対に歩道上には停車しないこと。また、工事施工により歩道上に車両を停める場合は道路使用許可を得て行い、あらかじめカラーコン等で駐車スペースを確保して交通整理員の誘導により安全に行うこと。

第５　提出書類等

1　電力関係

請負者は、受電の新規、変更及び廃止申込書を電力会社へ提出する前に監督職員へその写しを提出し、内容の確認を受けること。また、受電の新規、変更及び廃止の完了後、速やかに契約番号及び使用開始年月日等の必要事項が記載された関係書類の写しを電力会社から受領し、監督職員へ提出すること。

なお、受電の変更に伴い供給地点特定番号の変更を把握した場合は、監督職員へ速やかに報告すること。

2　保管指示のある撤去品の取扱い

請負者は、工事施工に伴う既存施設の撤去品のうち保管の指示があるものは指定場所に返納するとともに、信号機等搬入完了届を提出すること。

3　工事写真

工事写真は広島県が定める写真管理基準の最新版に従うこととし、次のことに留意

すること。

(1) 信号柱の基礎等、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

なお、基礎工事については床堀り、基礎砕石工、コンクリート打設の各段階における完了時点を撮影すること。

(2) 写真は全て鮮明であること。また、工事前後の違いが確実に分かるように撮影し、一見して判別し難い施工部位は矢印等で表記すること。

(3) 各工事場所毎に施工中の写真を１枚以上添付すること。

(4) 写真には、工事関係者以外の人物が写り込まないこと。

(5) 信号柱の基礎及び管路埋設の施工に係る工事写真は、監督職員に電子データを提出すること。

4 施工計画書

請負者は、工事着手前（工事始期日以降３０日以内）に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等について次の項目が記載された施工計画書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。ただし、本工事に関係のない項目及び簡易な工事については、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

(1) 工事概要
(2) 計画工程表
(3) 現場組織表
(4) 指定機械
(5) 主要船舶・機械
(6) 主要資材
(7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
(8) 施工管理計画
(9) 安全管理
(10) 緊急時の体制及び対応
(11) 交通管理
(12) 環境対策
(13) 現場作業環境の整備
(14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
(15) その他

受注者は、施工計画書に、次の事項を追加して記載しなければならない。

(16) 段階確認に関する事項
(17) 現場環境改善等の実施内容
(18) 安全・訓練の活動計画

請負者は、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度当該工事を着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を作成し提出すること。

監督職員が指示した事項については、請負者はさらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

5 工事履行報告

約款第１１条の履行報告は、工期が１ヶ月を越えるものについて、工事の進捗状況を毎月７日までに監督職員に書面をもって報告すること。

6 出来形管理基準

出来形管理基準は別紙１のとおりとする。

請負者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、別紙３信号機等設置図で定める設計値と実測値を対比して記録した出来形表又は出来形図を作成し、管理するものとする。記録は中間検査時及び完成検査時に監督職員に提出すること。

7 工事カルテ作成・登録

請負者は、受注時又は変更時の請負金額が５００万円以上の工事においては、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、登録、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認（サイン又は押印）を受けたうえ、登録時は契約締結の日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、途中変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、竣工時は工事完成後１０日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

なお、現場管理費率に「ＣＯＲＩＮＳ登録にかかる費用」を見込んでいる。なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

8　建設リサイクル

請負者は、建設リサイクル法第９条第１項に規定する「対象建設工事（下記《対象建設工事の定義》参照）」については、次の各号の規定を遵守しなければならない。

(1)　請負者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材(アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、建設リサイクル法及び廃棄物処理法を遵守し、適正に処理しなければならない。

(2)　対象建設工事を請け負おうとする者は、建設リサイクル法第１２条第１項に基づき、同法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

※　「分別解体等の計画等」「工程表」を添付すること、

(3)　請負契約の当事者は、建設リサイクル法第１３条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成１４年国土交通省令第１７号。以下「省令」という。）第７条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

(4)　対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から５日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第１２条第１項に基づく書面」を提出し、建設リサイクル法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明（事前説明）をした後、発注者（契約担当課）に対して、「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお、この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

ア　「法第１２条第１項に基づく書面」及び「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」は、広島県の調達情報のホームページ中、様式集の建設副産物関係様式により作成すること。（https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/）

イ　「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。

ウ　「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとすること。

(5)　請負者は、その請け負った工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第１２条第２項に基づき、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について、告知書様式で告げなければならない。

(6)　請負者は、契約締結後１４日以内に、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利

用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め本工事の監督職員に提出しなければならない。

(7) 請負者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適性に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督職員に提出しなければならない。

(8) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、次の事項を書面に記載し、監督職員に報告しなければならない。

なお、書面は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を兼ねるものとする。

- 再資源化等が完了した年月日
- 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- 再資源化等に要した費用

(9) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。ただし、建設資材廃棄物が、破砕等（選別を含む）により有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。

有用物とは有価物たる性状を有するものをいい、客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければならない。

(10) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処理費）は、前号に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

≪対象建設工事の定義≫

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（１品目以上）

① コンクリート
② コンクリート及び鉄から成る建設資材
③ 木材
④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計　８０㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計　５００㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額　１億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額　５００万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

9 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」を契約締結後１４日以内に提出すること。

10 保険の付与及び事故の補償

(1) 請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

(2) 請負者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。

(3) 請負者は、請負代金額３００万円以上の場合は、建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）の購入状況等を書面により、工事請負契

約締結後原則１か月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則40日以内）に発注者（契約担当課）に提出しなければならない。また、請負者は、建設業退職金共済制度について、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し検査職員に提出しなければならない。報告に当たって、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付することとし、共済証紙を購入しなかった場合（請負契約額の増額変更等があった場合で、共済証紙の追加購入をしなかった場合を含む。）には、その理由を書面により発注者（契約担当課）に報告すること。

11　火災保険等

工事目的物及び工事材料を必要に応じ、火災保険又は建設工事保険等に附すること。この場合、発注者の指示がある場合については、当該証券等の写しを提出すること。保険契約期間は、契約日の翌日（工期始）から目的物引渡日までとすること。ただし、受注工事毎に附する保険ではなく、請負者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合には、新契約を締結するなど不測の事態に対応できるよう万全を期すること。

12　工事を下請に施工させる場合

(1)　「県工事を下請に施工させる場合の留意事項」（建設工事関係要領等、広島県発行）を遵守し、元請、下請関係の適正化を図ること。

(2)　請負者は、この工事を施工するために下請契約を締結したときは、特定建設業の許可の有無にかかわらず、また、当該下請契約の請負代金の額の多寡にかかわらず、遅滞なく建設業法施行規則（昭和２４年建設省令第１４号）第１４条の６の例によって各下請人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、その写しを発注者に提出しなければならない。また、工事を施工するために締結した下請負契約について、広島県土木工事共通仕様書に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出しなければならない。なお、施工体系図及び施工体制台帳の内容に変更を生じた場合は、その都度変更した施工体系図及び施工体制台帳の写しを発注者に提出しなければならない。

施工体制台帳の写しには、下請業者との注文請書、下請業者の建設業許可証、工事に必要となる資格者証等、雇用関係証明書類及び作業員名簿を添付すること。

(3)　この工事の施工に際して、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く。）を第三者に請け負わせようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。

(4)　社会保険等未加入対策の取扱いは次のとおりとする。

ア　請負者は、次に掲げる届出の義務を履行していない建設業者等（建設業法（昭和２４年法律第１００号）第２条第３項に規定する建設業者及び同法第３条第１項ただし書の政令で定める軽微な建設工事のみを請け負うことを営業とする者をいい、当該義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請負人（同法第２条第５項に規定する下請負人をいう以下同じ。）としてはならない。

(ｱ) 健康保険法（大正１１年法律第７０号）第４８条の規定による届出の義務

(ｲ) 厚生年金保険法（昭和２９年法律第１１５号）第２７条の規定による届出の義務

(ｳ) 雇用保険法（昭和４９年法律第１１６号）第７条の規定による届出の義務

イ　アの規定にかかわらず、請負者は、次の各号に掲げる下請負人の区分に応じて、当該各号に定める場合は、社会保険等未加入建設業者を下請負人とすることができる。

(ｱ) 受注者と直接下請契約（建設業法第２条第４項に規定する下請契約をいう。以下同じ。）を締結する下請負人で次のいずれにも該当する場合

・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
・ 発注者の指定する期間内（原則 30 日）に、当該社会保険等未加入建設業者がアに掲げる届出の義務を履行した事実を確認することができる書類（以下「確認書類」という。）を、受注者が発注者に提出した場合

(イ) (ア)に掲げる下請負人以外の下請負人で次のいずれかに該当する場合
・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
・ 発注者が受注者に対して確認書類の提出を求める通知をした日から 30 日（発注者が、受注者において確認書類を当該期間内に提出することができない相当の理由があると認め、当該期間を延長したときは、その延長後の期間）以内に、受注者が当該確認書類を発注者に提出した場合

13 主要資材の購入

(1) 資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。

(2) 請負者は資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を「主要資材購入先名簿」により監督職員を通じて発注者に通知するものとする。

14 工事目的物の引き渡し

工事目的物の引き渡しについて、工事完成検査終了時に工事目的物の引渡しを行う際、引渡書を監督職員に提出すること。

15 建設発生土処分

当該工事により建設発生土の発生が見込まれる場合、記仕様書で指定する場所に搬出するものとし、完了後に伝票の写しを提出すること。

16 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提示

適正な廃棄物処理を確認するため、請負者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提示しなければならない。提示する産業廃棄物管理票は「Ｄ票」又は「Ｅ票」とする。

なお、工期内に当該「Ｄ票」又は「Ｅ票」の提示が困難である場合については、当面当該「Ａ票」を提示し、後日、当該「Ｄ票」又は「Ｅ票」を提示すること。

17 建設副産物情報交換システムへの登録

最終工事請負金額が１００万円以上の工事については、建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）へ登録すること。登録に際しては、副産物の発生しない工事についても対象とする。登録対象工事については、施工前に当該システムにより作成した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め、完成時に同様に作成した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」をそれぞれ監督職員へ提出すること。なお、これにより難い場合には、監督職員と協議すること。

当該システムの利用及び操作方法については、(財)日本建設情報総合センターのホームページ（http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html）を参照のこと。

18 信号制御に係る設定表

信号制御機の設定変更を伴う工事及び信号制御機を新設・更新する工事については、運用開始前までに監督職員へ設定表を提出し確認を受けるとともに、運用開始後は補正事項等を整理の上、速やかに監督職員に提出すること。

また、信号制御機について、第４章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、製造工事の受注者が行うこと。

19 信号制御機等の錠

信号制御機等の錠については、発注者が承認したものに限る。請負者は、次の事項が分かる一覧表（様式不問）を作成し、当該錠を発注すること。

・ 工事番号及び監督職員氏名

・　錠の品番、大きさ及び数量
・　錠を使用する交差点名
・　錠を使用する機器名及びメーカー

また、信号制御機等について、第４章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、当該機器の製造工事の受注者が行うこと。

20　信号制御機の製造及び改造

信号制御機の製造及び改造は、設計図書の現示階梯図で指定するとおり行うこと。

21　信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を運用するときは、請負者は工事完了後ただちに別紙２のチェックシートによる確認を行うこと。また、確認後のチェックシートは遅滞なく発注者へ電子メール、ＦＡＸ又は持参により提出すること。

22　請負代金内訳書

請負者は、約款第３条に規定する請負代金内訳書を作成し、発注者に提出しなければならない。

23　その他

上記のほか、別に発注者が指示した場合、当該書類を提出すること。

第２章　共通工事

第１　土木工事

１　障害物処理

障害物の処理は次により施工すること。

(1)　工事の支障となる障害物は、監督職員の指示に従って処理する。

(2)　工事のため道路を掘削する場合は、事前に関係機関と地下埋設物占用協議を行うなど打ち合わせを行い、不測の事態に備えること。

(3)　既存の電機工作物、給排水管、ガス管等の埋設物が露出する場合は、当該管理者の立ち会いを求め、損傷しないよう十分注意する。

２　掘削

掘削は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

(1)　舗装の取り壊しは、コンクリートカッター等を使用して必要部分のみをカットする。

(2)　ブロック舗装のブロック平板は、損傷しないよう丁寧に取り扱い、支障のない位置に整理する。

(3)　みぞ掘り、つぼ掘りをし、又はえぐり掘りをしてはならない。

(4)　堀り上げ土は、舗装部（又は衣土）、上層土及び下層土を区分してたい積し、飛散しないように注意する。

(5)　工事のため、路面の排水を妨げないようにする。また、工事に支障を及ぼす雨水、わき水、たまり水などは、第三者に支障を与えないように排水する。

(6)　掘削は所定の深さまで行い、石や突起物を取り除き床面を平坦にならし、底固めとする。

(7)　道路横断箇所の掘削は、横断部の１／２又は１／３ずつ掘削し、その部分の埋設及び埋戻し完了後、次の掘削に移り、常に道路の片側部分の交通を確保する。

３　覆土及び埋戻し

埋設完了後の埋戻し工事は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

(1)　掘削箇所は、必ず当日中に埋戻しを行い、安全な覆土を施し、交通その他に開放する。

(2)　掘削土を埋戻す場合は、下層土は下層に、上層土は上層に確実に埋戻しする。

(3)　掘削土をそのまま埋戻すことが不適当な場合には、他の良質な土砂を埋戻す。

(4)　砂利道の表面仕上げを行う場合には、路面表土をもって掘削前の路面と同じように締め固める。

(5)　所定の支持力が得られるようランマー、木たこ等で２０cmごとに突き固めるか、水締めをしながら埋戻す。

４　路面復旧

路面復旧については、道路管理者その他の許可条件により完全に復旧すること。

なお、本復旧までの間は、アスファルト又はレミファルト等で仮復旧し、交通の支障とならないように努めること。

第２　基礎工事

基礎工事は、別紙３信号機等設置図に従い、次により施工すること。

１　床堀工事

第１「土木工事」に準じて施工すること。

２　基礎砕石工

所定の深さに掘り下げ床付面を平たんにならし、再生砕石を施して十分締め固めながら所定の厚さに仕上げるものとする。

なお、割栗石又は玉石を使用する場合は小端立として敷並べ、この上に目潰し砂利

を施し、十分締め固めながら所定の厚さに仕上げる。

仕上げ厚は普通地盤の場合、１０cmとする。

3　基礎コンクリート工

(1)　材料

コンクリート工事に用いる材料は、原則としてＪＩＳ認定工場で製造したレディーミクストコンクリートを使用する。

コンクリートの強度は、設計基準強度１８－８とする。

(2)　コンクリート工事

コンクリート工事は、次により施工すること。

ア　打ち込み

コンクリートの打ち込みに際しては、管類、その他打ち込み材を移動させないよう注意し、適当な器具で突き固める。

イ　養生

コンクリート打ち込み後は、急激な温度変化（特に低温）、乾燥、荷重、衝撃等の有害な影響を受けないよう十分これを保護する。

ウ　型わく

型わくは、コンクリート部材の位置、形状及び寸法に正しく一致させ、堅固で荷重、乾湿、振動の影響によって狂いの起こらない、かつ安全にこれを取り外すことができ、またモルタル漏れのない構造とする。コンクリートが必要な強度を発揮するまで存続した後、構造物に衝撃や振動を与えないよう静かに取り外す。取り外し後、コンクリートの不良個所を発見した場合は、監督職員の指示に従い、念入りに補修する。

エ　モルタル仕上げ

モルタル仕上げの指示がある箇所は、コンクリートにモルタルが密着するように仕上げる。モルタルの調合は容積調合で、普通、セメント：砂＝１：２又は１：３とする。

第３章　信号機等設置工事

第１　信号専用柱工事

１　建柱

(1)　建柱位置は、設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
　なお、柱から基礎側端までのコンクリートかぶり厚は１０ｃｍ以上確保する。

(2)　建柱は原則として砂締め（スパイラルダクトと柱の隙間に砂を充填し、水を注入して固める）又はベース式により行い、特に指定する場合以外は、支線、支柱、根かせを使用しない。

(3)　根入れは「柱長の１／６以上」とする。ただしベース式の場合は除く。

(4)　電柱には、必要に応じて足場ボルトを設ける。

２　反射材

コンクリート柱は指定の反射シートを、鋼管柱は指定の反射シート又は反射ステッカーを別紙３信号機等設置図のとおり取付けること。なお、反射シートの合わせ部は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側でかつ金具の出っ張りが歩道内側にならないよう施工すること。

３　電柱札

信号柱には、柱番号（県警○号柱）、柱の製造年月（西暦で表記）、製造メーカー、規格が分かる電柱札を取り付けること。なお、表示には不滅インク、刻印等の滅失しないものを使用すること。

４　鋼管柱の耐食処理及び地際補強

(1)　直管及び曲管

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の地際部から上下２０ｃｍまでの範囲とする。

また、基礎上部が地盤面と同等の高さとなる非舗装の場合は、地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてにより信号柱に向けて適切な排水勾配をつけて表面仕上げをすること。

なお、基礎上は目視できるように、土砂等を被せずに施工すること。

(2)　ベース式

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の最下部から４５ｃｍまでの範囲とし、プレート部も含むものとする。また、アンカーボルトの露出部には保護キャップを取り付け、キャップとプレートの隙間には防水処理を施すこと。

第２　信号機等取付工事

１　信号制御機取付工事

(1)　取付位置

制御機の設置位置は、設計図書及び別紙３信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。なお、原則として制御機の横方向が道路と平行で、取付位置は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側になるように設置し、歩行者等の通行の支障とならないようにすること。

(2)　取付方法

制御機の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とする。

ア　自立式は、別紙３信号機等設置図の制御機基礎に設置する。また、制御機内底面のケーブル入線部は防湿対策を施すこと。

イ　電柱抱込式は、付属の取付金具を使用すること。

ウ　他所管の電柱に取り付ける場合は、設置条件を遵守し、毀損したり障害を与え

ないようにする。

エ　扉は原則として歩道側から開け配管が障害となり充分な扉の開閉ができないことのないよう施工すること。

(3)　接地工事

第３章第３－５「接地工事」に準拠する。

2　信号灯器取付工事

(1)　取付位置等

信号灯器（以下「灯器」という。）の取付位置は、設計図書及び別紙３信号機等設置図によるほか、詳細については監督職員の指示による。

(2)　取付方法

ア　付属のバンド、ブラケット又は、自立ポール等の取付金具を使用する。

イ　他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。

ウ　灯器が、強風、地震にも十分耐えるよう堅個に取り付ける。

エ　車両用灯器のアーム長が３ｍ以上の場合は、振れ止め金具を取付けること。

(3)　接地工事

第３章第３－５「接地工事」に準拠する。なお、自立式歩行者用灯器はリブプレートに接地線を電気的、機械的に堅固に接続すること。

3　押ボタン箱取付工事

(1)　取付位置

押ボタン箱の種別、取付位置は、設計図書及び別紙３信号機等設置図に従い、押ボタン箱の取付方向については監督職員の指示による。

(2)　取付方法

押ボタン箱の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。

(3)　接地工事

第３章第３－５「接地工事」に準拠する。

4　車両感知器取付工事

(1)　取付位置

車両感知器の種別、取付位置は、設計図書及び別紙３信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

(2)　取付方法

車両感知器制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。また、車両感知器送受器の取付は「信号灯器取付工事」に準じて施工する。

(3)　接地工事

第３章第３－５「接地工事」に準拠する。

5　視覚障害者用付加装置取付工事

(1)　取付位置

視覚障害者用付加装置の取付位置は、設計図書及び別紙３信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

(2)　取付方法

視覚障害者用付加装置制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。

スピーカーは専用アームに取付け、スピーカーの位置が横断歩道中心線上となるよう設置する。

(3)　誘導音出力

南北方向に横断する歩行者に対して「ピヨ」及び「ピヨピヨ」、東西方向に横断する歩行者に対して「カッコー」及び「カカッコー」を音響出力すること。

(4)　接地工事

第３章第３－５「接地工事」に準拠する。

(5)　運用開始

運用開始（更新時を除く）は竣工検査に合格した後とし、それまでは試験調整時以外に音を鳴らしてはならない。

6　その他留意事項

(1)　使用するターンバックル

信号灯器や車両感知器などの支持に使用するターンバックルについては、脱落防止措置が執られたものを使用すること。

(2)　信号灯器などの取り外し

信号灯器や車両感知器などの取り外しの際には、補強ステー等が脱落しないようロープ等で結び部品に至るまでの脱落防止措置を講ずること。また、取り外し中は交通規制を確実に実施し、歩行者や車両等への接触事故を未然に防ぐこと。

(3)　バンド類の取付

配管等を固定するため地上高２．５ｍ未満の位置で自在バンド等を使用するときは、出張り部の向きを調整し、歩行者等が接触する恐れのないよう配意すること。

第３　配線工事

1　一般事項

(1)　電線の途中接続、電線管内での接続は、絶対に行わない。

(2)　電線と機器端子との接続は、緩むおそれのないように、二重ナット又はスプリングワッシャを使用し、十分締め付ける。

なお、より線の場合は圧着端子を使用する。

(3)　機器筐体内では電線を束線バンド、ビニールテープ等で束ね、整頓し、後の改良や保守業務を行う者が作業しやすいようにしておくこと。

2　架空配線工事

(1)　地上高

架空配線が道路を横断する場合は、地表上６ｍ 以上とし、歩道上で交通に支障がない場合は基本的に５ｍ以上とする。また軌道を横断する場合は、給電線との間隔を０．６ｍ以上とし、その他については「電気設備の技術基準の解釈について」第６８条の規定に従い施工すること。

(2)　架空配線の引き留め

吊線は、支持点にシンプル、巻付クリップ等を使用し堅固に取り付け、この場合、配線に無理がないようにする。なお、引き留め時にメッセンジャーワイヤーが切断される場合は、別紙３信号機等設置図のとおりビニル絶縁電線(IV2.0mm2)とアースクランプにより切断部を接続すること。

(3)　灯器への入線（引き下げ）

灯器への配線の引き下げは、ケーブル支持金物及びツツミ形碍子等により柱に接触しないよう引き下げるほか、灯器内に余長を確保する。

(4)　接続端子函の取付

制御機立ち上がり配線と架空配線、又は灯器引き下げ配線と架空配線との接続用に、防水形の接続端子函を原則として地上高５ｍ以上の位置に取り付ける。

なお、端子数及び取り付け柱の指定は、設計図による。

(5)　制御機立ち上がり配線

制御機からの立ち上がりケーブルは、電線管で防護し、柱上の接続端子函に接続する。

なお、電線管の先端は、雨水等の浸入を防止する処置を施すと共に、電線管及びプラントチューブがＵ字状になる部分については最下部に水抜き穴を施すこと。

(6)　他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。また、信号機用のケーブルであることが判るよう指定のケーブル表示札を、別紙３信号機等設置図のとおり取付けること。

3　地中配線工事

地中配線にて行う場合は、次により施工すること。

(1)　使用管路

ケーブルの埋設は管路式とし、内部に浸水しないよう施工すること。

使用する管路の形状、寸法は別途指定する。

(2)　ハンドホール等

ケーブルの接続箇所、分岐箇所及び屈折箇所には、ハンドホールを設けることとし、その形状、寸法は別途指定する。

(3)　管路の埋設位置

管路の埋設位置については設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。

なお、管路の位置を示す埋設シートを管路の上部に敷設すること。

(4)　埋設の土かぶり

土かぶりは、歩道部では０．６ｍ以上、車道部では１．２ｍ以上とする。ただし、保安上支障がなく、かつ道路に関する工事の実施上支障がない場合で、監督職員の指示を得た場合はこの限りでない。

(5)　埋設土工事

管路埋設土工事に関しては、第２章「共通工事」に準拠する。

4　電線引込工事

電線引込工事は、次により施工すること。

(1)　屋外配電盤の取付

制御機の直近の所定位置に自動遮断機、積算電力計、タイムスイッチ等必要に応じた装置を内蔵した防水形屋外配電盤を取り付ける。

工事設計書において停電対策用配電盤（窓なし）を指定している場合、通電状況を確認することができる表示灯、発電機用ケーブル差込口及び抜け防止コンセントを備えること。

(2)　電源引込線の入線（引き下げ）

電源引込線の接続点から屋外配電盤、及び制御機までの配線は、電線管で保護する。

5　接地工事

金属筐体、メッセンジャーワイヤーはＤ種接地（接地抵抗１００Ω以下）を施すこと。

なお、信号制御機筐体以外の接地は、信号制御機筐体の接地極と共通接地とするが、これが不可能な場合は独立接地とする。自立式機器筐体は原則として独立接地とする。

6　その他留意事項

(1)　信号制御機、その他機器の設置及び配線等の接続に際し、雨水や虫等の侵入の恐れがある部位については、防水及び侵入防止の処理を施すこと。

(2)　配線の確実な確認

配線の間違いは、信号機の誤動作・滅灯などを引き起こし、これに起因する交通事故に発展する恐れがある。現場では、複数の作業員によるチェック体制を確立するとともに、平素から事故を未然に防ぐための信号機関係設備の構造研究や事故事例の検証を行い、作業員の能力向上を図るよう社内教養を徹底すること。

なお、灯器コモン線は接続不良であっても正常な動作をしているように見える場合があるため、端子接続時は特に注意すること。

(3)　作業完了後の動作確認

信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実に行うこと。

(4)　工事機材の適正な使用

工事で使用する工具や重機等の工事機材は、取扱説明書等で示された正しい方法により使用すること。

第４章　分離発注工事

第１　分離発注工事の内容

分離発注とは、信号機の設置等工事を、機器の製造、改造等（以下「製造工事」という。）と製造工事を除く設置等の工事(以下「設置工事」という。)とで分担し、施工する工事をいう。

第２　用語の定義

1、機器

機器とは、次のものをいう。

(1)　制御機
(2)　配電盤
(3)　視覚障害者用付加装置
(4)　車両用灯器
(5)　歩行者用灯器
(6)　押ボタン箱
(7)　車両感知器
(8)　その他設計図書で特に指定するもの

2　製造工事

製造工事とは、機器のうち設計図書で指定されたものの製造、改造、試験調整する工事をいう。

3　設置工事

設置工事とは、機器及び材料を使用し信号機の設置等をする工事をいう。

第３　工事の範囲等

1　製造工事

製造工事は、次により施工すること。

(1) 機器の製造

設計図書に基づき指定された機器を製造すること。

(2) 機器の改造

信号の制御や付加機能のために機器に必要な改造を行うこと。

(3) 試験調整

現場に設置された機器が正常に動作するよう試験調整するほか、設定表がある場合は当該設定表に従い動作するように設定を行うこと。

(4) 作業完了後の動作確認

製造工事は機器が現場において正常に動作することをもって完成とするため、信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実に行うこと。

(5) その他

機器の納入場所は、別途発注する設置工事の工事現場を原則とし、時期等について設置工事の受注者と連絡調整を行うこと。

2　設置工事

設置工事は、次により施工すること。

(1) 土木工事

第２章「共通工事」に準拠する。

(2) 基礎工事

第２章「共通工事」に準拠する。

(3) 信号専用柱工事
第３章「信号機等設置工事」に準拠する。
(4) 信号機等設置工事
第３章「信号機等設置工事」に準拠する。
(5) 配線工事
第３章「信号機等設置工事」に準拠する。

第４　受注者間の協力

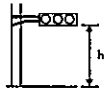
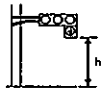
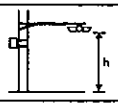
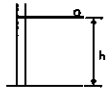
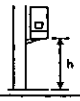
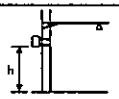
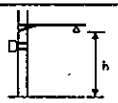
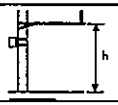
製造工事及び設置工事の受注者は円滑に工事が完成するよう、必要な事項について連絡及び連携を図り、相互に協力すること。

また、疑義が生じた場合は速やかに監督職員の指示を受けること。

別紙1

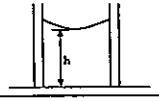
出来形管理基準

単位：mm

章	節	項	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	交通信号機工	信号灯器取付工	車両用信号灯器	横形3位式灯器取付工	高さ h	+300 (横三位式灯器) +500 (鉄板)	取付箇所毎。 鉄板が付属下部取付の場合は，鉄板下部から測定。		以下，交通信号機工に関して，他社に共架する柱，他の共架物等により規格値以上の位置に取り付ける場合は，監督員との協議が必要。
				縦形3位式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。		
				矢印灯器取付工	高さ h	+500	矢印灯器本体下部から測定。		
				一灯点滅式信号制御機取付工	高さ h	+300	灯器下部から測定。		
			歩行者用信号灯器	シルエット形側柱式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。 取付アーム下部から測定。		
				シルエット形自立式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。		
		視覚障害者付加装置取付工	視覚障害者用付加装置スピーカー	視覚障害者用付加装置スピーカー取付工	高さ h	+300	スピーカー又はスピーカー取付アームの最下部から測定。		
		押ボタン箱取付工	押ボタン箱	側柱式押ボタン箱取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。 ボタン中心部から測定。		
				自立式押ボタン箱取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。 ボタン中心部から測定。		
	交通信号機工	交通信号制御機取付工	信号制御機	側柱式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は，配電盤本体下部から測定。		側柱式視覚障害者用付加装置制御機は，本規格値を適用する。
				自立式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は，配電盤本体下部から測定。		
		車両用感知器取付工 無線伝送装置取付工	車両用感知器本体	取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。		一灯点滅式信号機制御機及び無線伝送装置制御機は，本規格値を適用する。
				送受波器	高さ h	+500	取付箇所毎。 送受波器本体下部から測定。		
				アンテナ	高さ h	基準値以上	取付箇所毎。 アーム下部から測定。		

別紙1

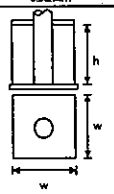
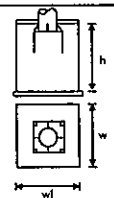
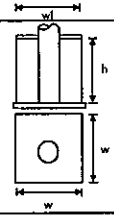
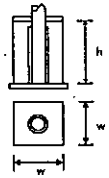
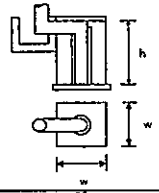
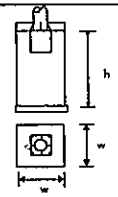
出来形管理基準　　単位:mm

章	節	項	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
[illegible]	架空ケーブル工	制御・通信ケーブル架線工		架線工	高さ h	基準値以上	ケーブルたるみの最低部で測定。		

別紙1

出来形管理基準

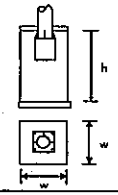
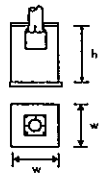
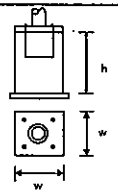
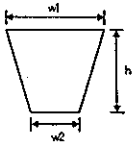
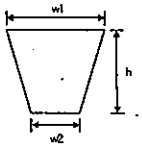
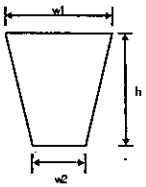
単位：mm

業	部	系	技術	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	基礎工(ブロック型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下，信号柱工については，現場の埋設物等の支障物件の有無により，変形基礎とする場合は，監督員と協議のうえ施工する。 適用範囲は，基礎のコンクリート部分とする。
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	配筋工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
			柱状柱基礎	基礎工(直管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
			柱状柱基礎	基礎工(曲管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

別紙1

出来形管理基準

単位:mm

章	節	系	技術	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	自立式信号設備工	自立式歩行者用灯器設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下，自立式信号設備工については，現場の埋設物等の支障物件の有無により，変形基礎とする場合は，監督員と協議のうえ施工する。
					幅 w	+50			
		自立式押ボタン装置設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
		自立式制御機設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚5cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		以下，埋設工については，埋設物等の支障物件の有無により，変形埋設とする場合は，監督員と協議のうえ，施工する。
					幅 w1，w2	±30			
交通信号機設備	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚5cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1，w2	±30			
				埋設工(舗装厚10cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1，w2	±30			

別紙2

工事完了後チェックシート

工事実施日	令和　　年　　月　　日
施工業者名	
上記実施日に施工した場所	
上記実施日に施工した内容 ※該当に○をし，数量を記載	・信号制御機　更新・移設（　　）基　　・車灯　更新・移設（　　）灯 ・歩灯　更新・移設（　　）灯　　・車両感知器　更新・移設（　　）ヘッド ・押ボタン箱　更新・移設（　　）個　　・視覚障害者付加装置　更新・移設（　　）基 ・信号柱　更新・移設（　　）本　　・ケーブルの張替・引留替え（　　）径間 ・その他（　　）
特記事項	

種別	責任者	実施者	チェックポイント
工程連絡			・工事実施前に監督員に工事予定日等の連絡をしている。
共通項目			・設計図面で指定した位置に，指定した規格の機器が設置されている。
			・設置する機器に損傷や部品の欠落などの欠陥がない。
			・日常の出来形管理を的確に行い，設置高さ等の基準が守られている。
			・機器は確実に固定されており，ナット等に緩みがない。
			・機器筐体の扉は確実に閉められており，衝撃等で開くことがない。
信号制御機			・現示階梯図で示すとおりに動作している。（全灯器を確認）
			・設定表のとおりに正しく設定されている。（すべての設定項目を確認）
			・半感応，連動機能などオプション機能の動作は仕様書に規定されたとおりである。
			・地域制御機のときは，下位装置との通信が正常である。
車両用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
歩行者用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
車両感知器			・車両を感知したときは制御機内の感知ランプが点灯する。
			・車両を感知して所定の信号現示が表示される。
押ボタン箱			・押ボタンを押すことにより所定の信号現示が表示される。
			・押ボタン箱の窓に「おまちください」「おしてください」が正常に表示される。
視覚障害者用付加装置			・歩行者信号が青のときスピーカーから誘導音が出力されている。
			・南北方向が「ピヨ」「ピヨピヨ」，東西方向が「カッコー」「カカッコー」となっている。
			・音量は移設，更新前と同じである。
信号柱			・柱に傾きがない。
			・路面の復旧が適正に行われている。
			・設置替えした機器の動作は正常である。
			・柱間ケーブルを付け替えたとき，関係する全ての機器の動作が正常である。
その他			・責任者が積荷の状況を確認し，過積載防止に取り組んでいる。
			・現場内の整理整頓，後片付け，清掃を日常的に行っている。
			・保安施設の設置，警備員の配置は，道路使用許可証どおり適切に実施している。

工事完了後に確認した結果は上記チェックシートのとおりです。

確認責任者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

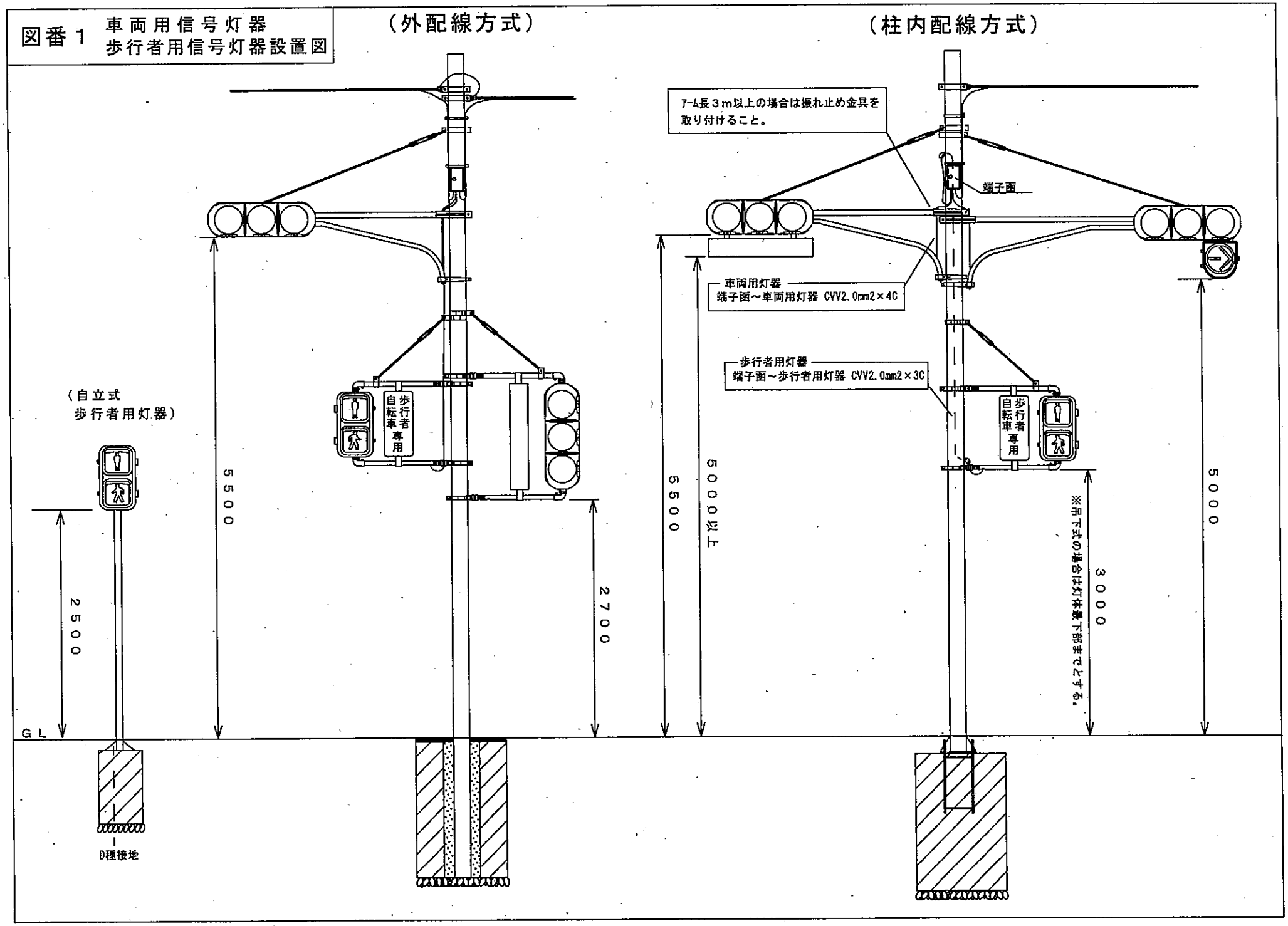
確認実施者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※　チェックシートは，信号工事を実施した日毎に作成し，作成後遅滞なく電子メール，FAX又は持参により監督員へ提出すること。
※　チェックポイントに従って確認し，適正であれば責任者・実施者欄に○を記入すること。
※　確認責任者だけでなく，他の作業員等，複数人による確認を実施すること。

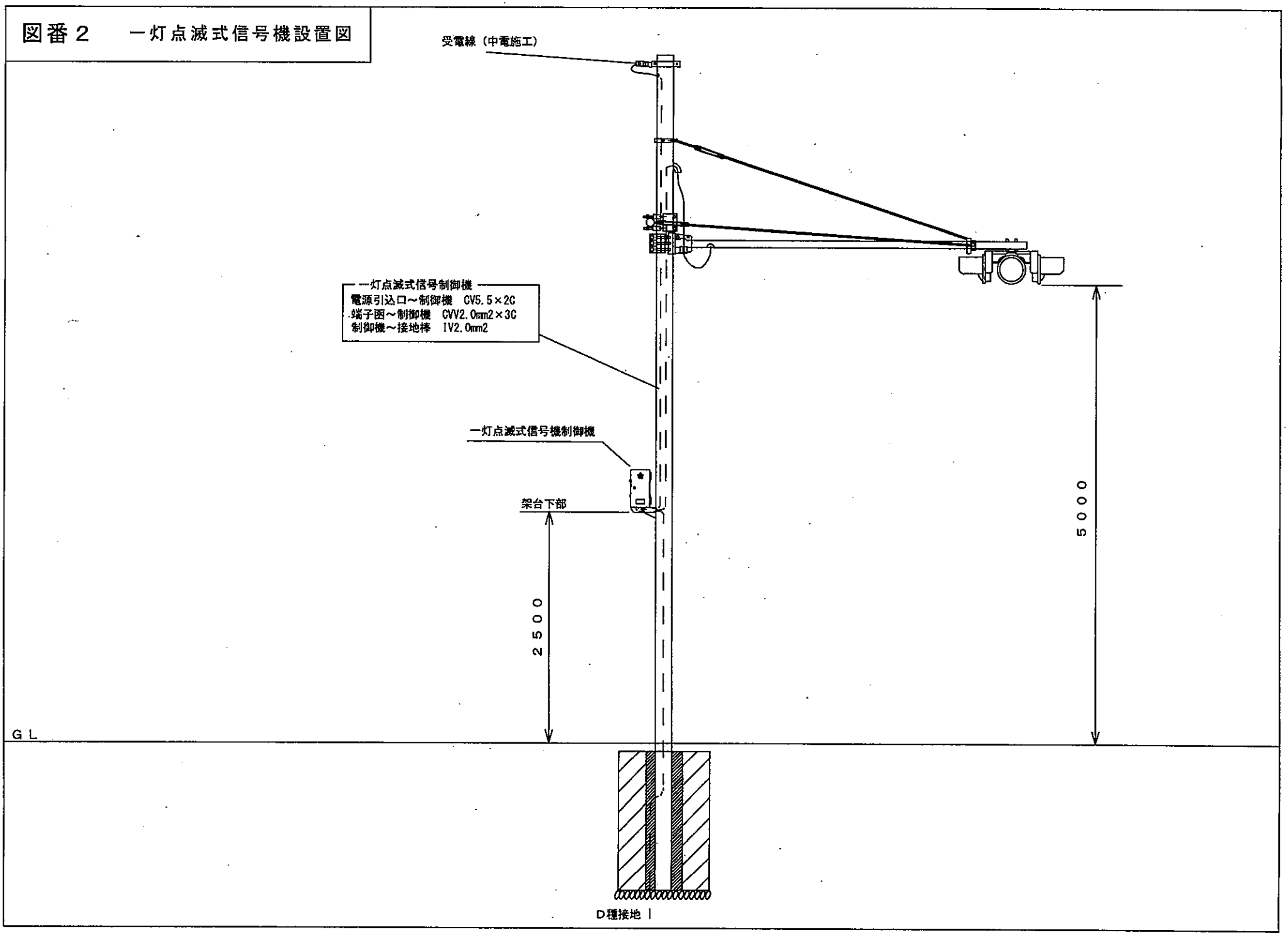
別紙３　信号機等設置図

図番１	車両用灯器歩行者用信号灯器設置図
図番２	一灯点滅式信号機設置図
図番３	信号制御機設置図（１）
図番４	信号制御機設置図（２）
図番５	車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図
図番６	視覚障害者用付加装置　高齢者等感応用押ボタン箱設置図
図番７	架空ケーブル・専用柱設置図
図番８	専用柱基礎仕様図
図番９	管路埋設自立式機器用基礎等仕様図
図番１０	可変標識設備設置図

図番１　車両用信号灯器
歩行者用信号灯器設置図

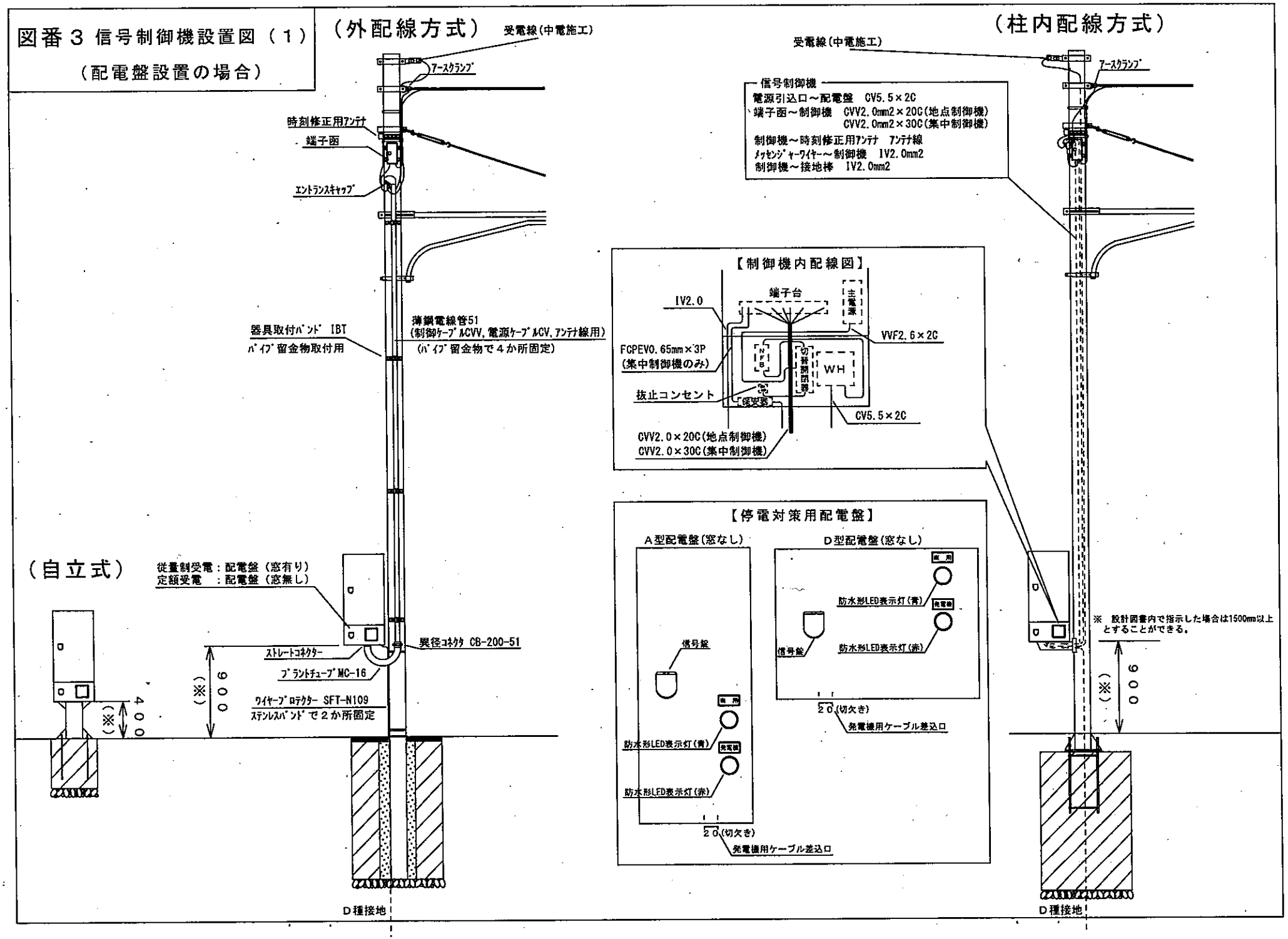


図番２　一灯点滅式信号機設置図



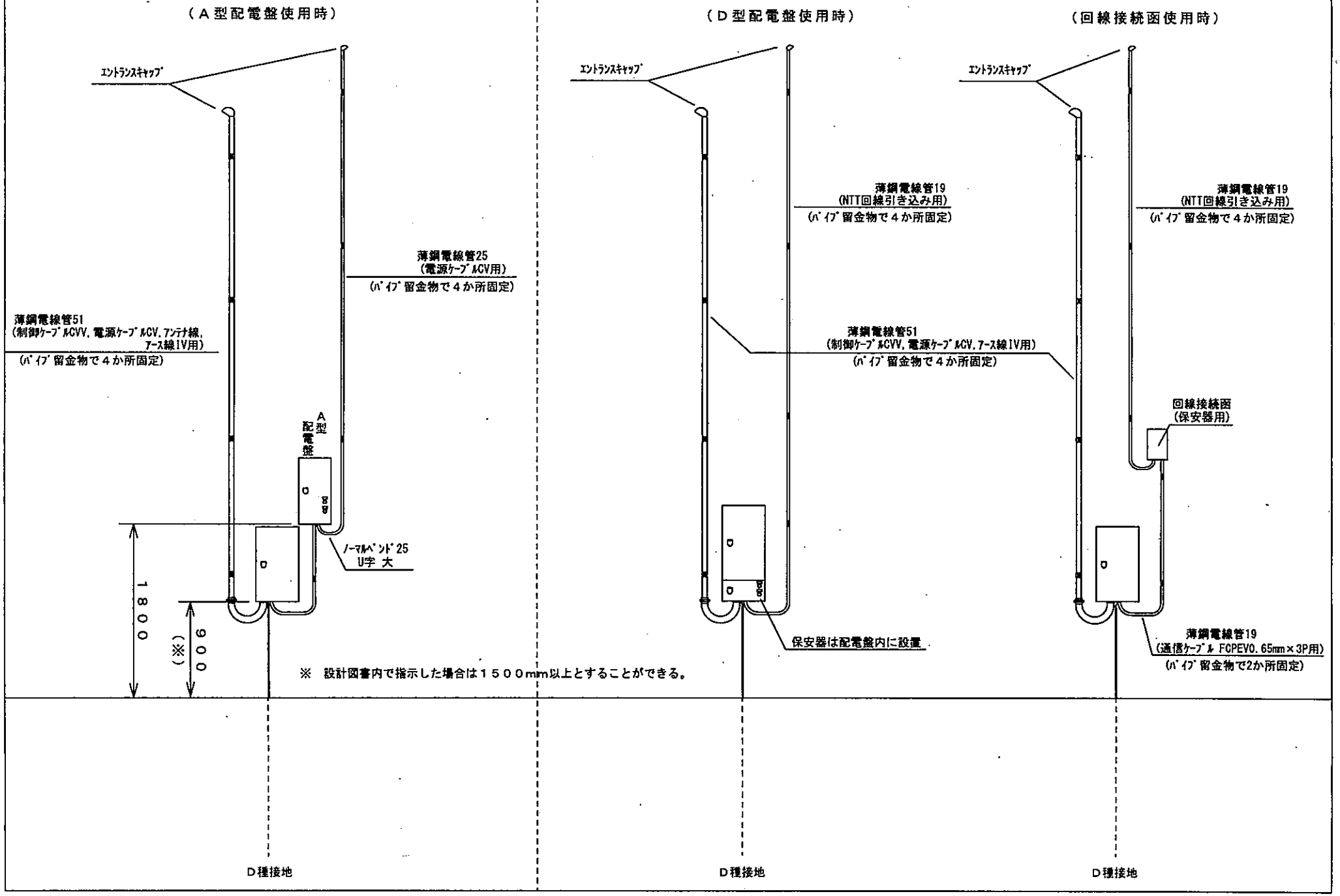
図番３ 信号制御機設置図（１）

（配電盤設置の場合）

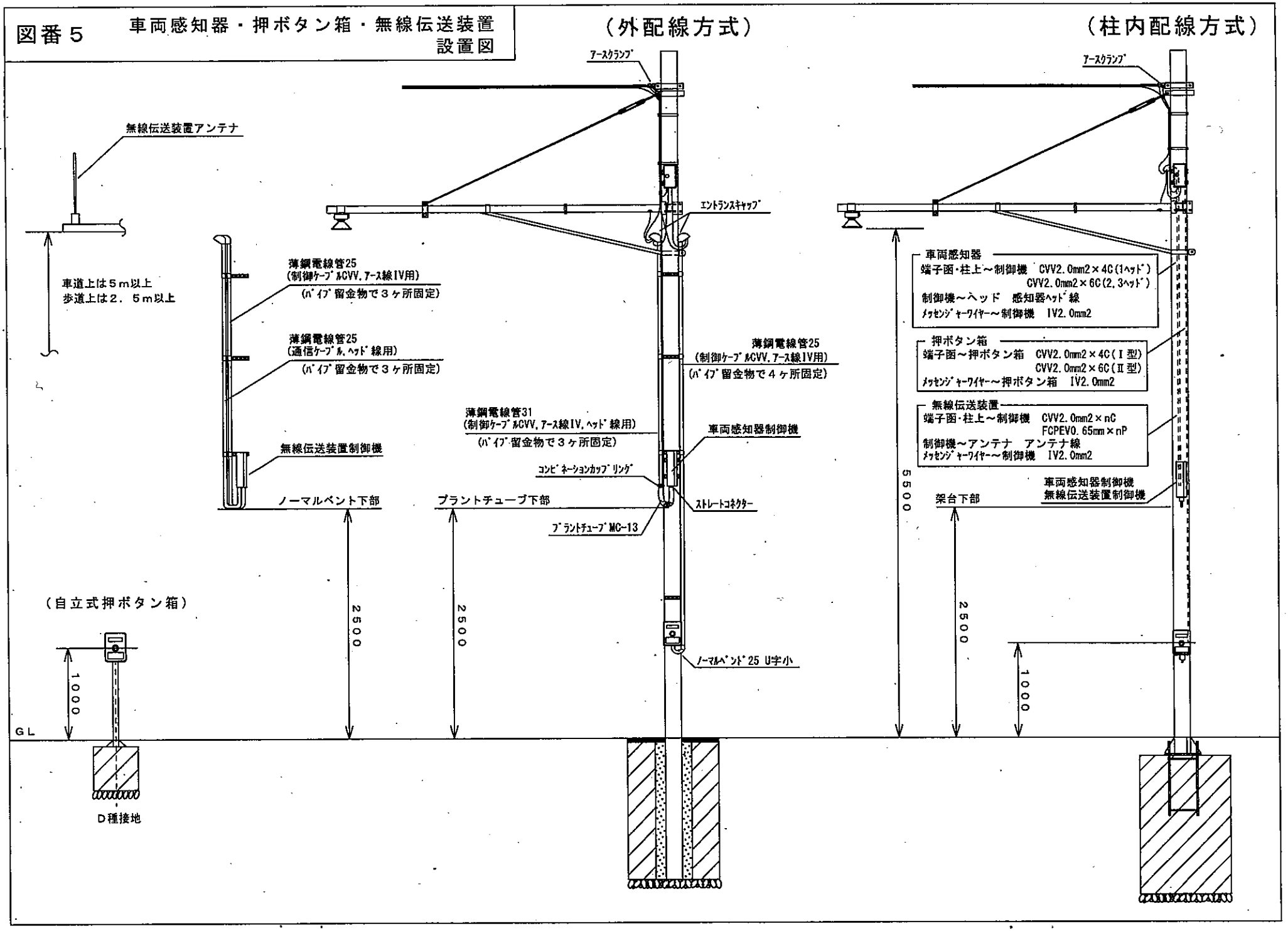


図番４　信号制御機設置図（２）

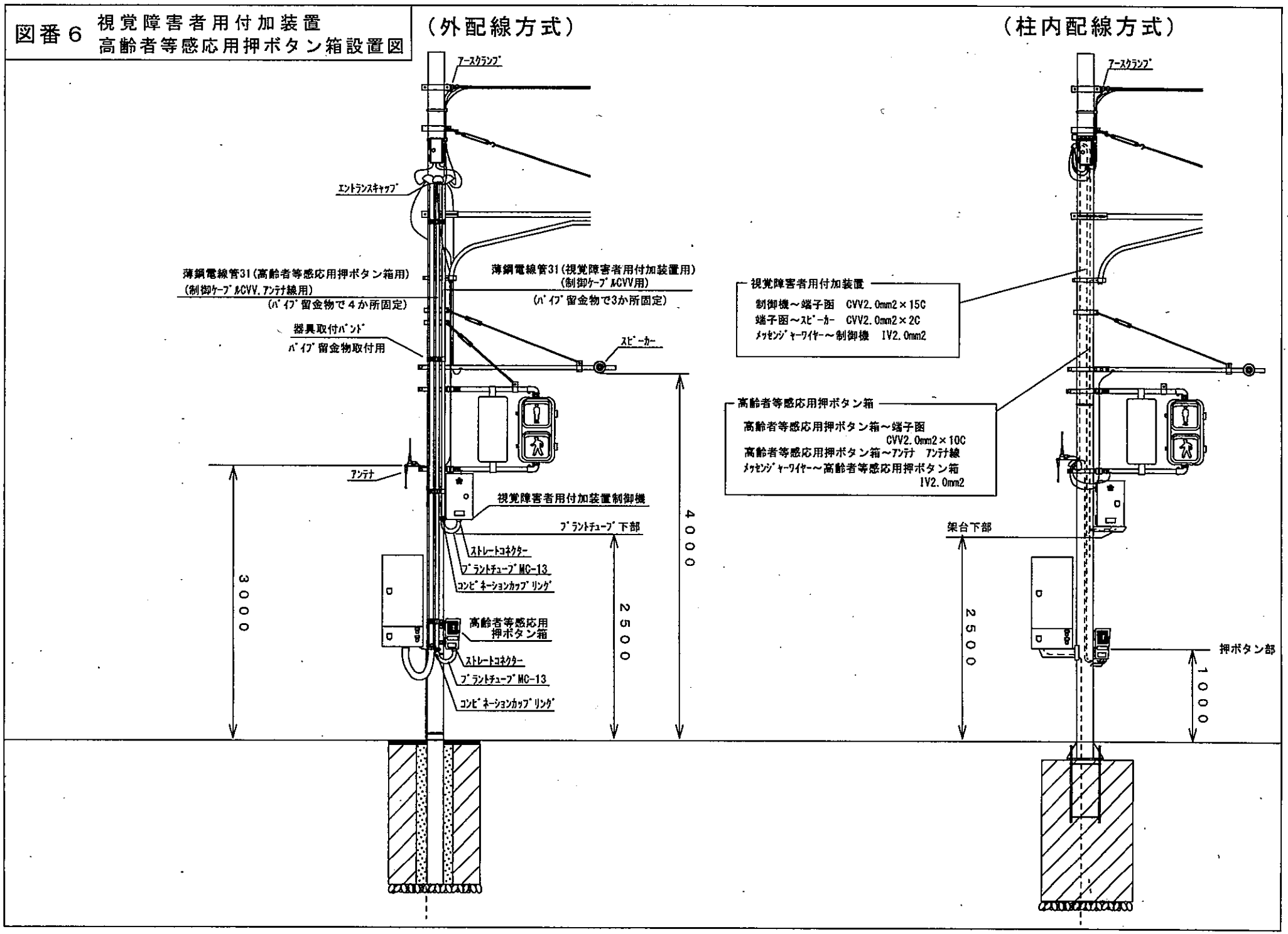
（集中制御機配管図）



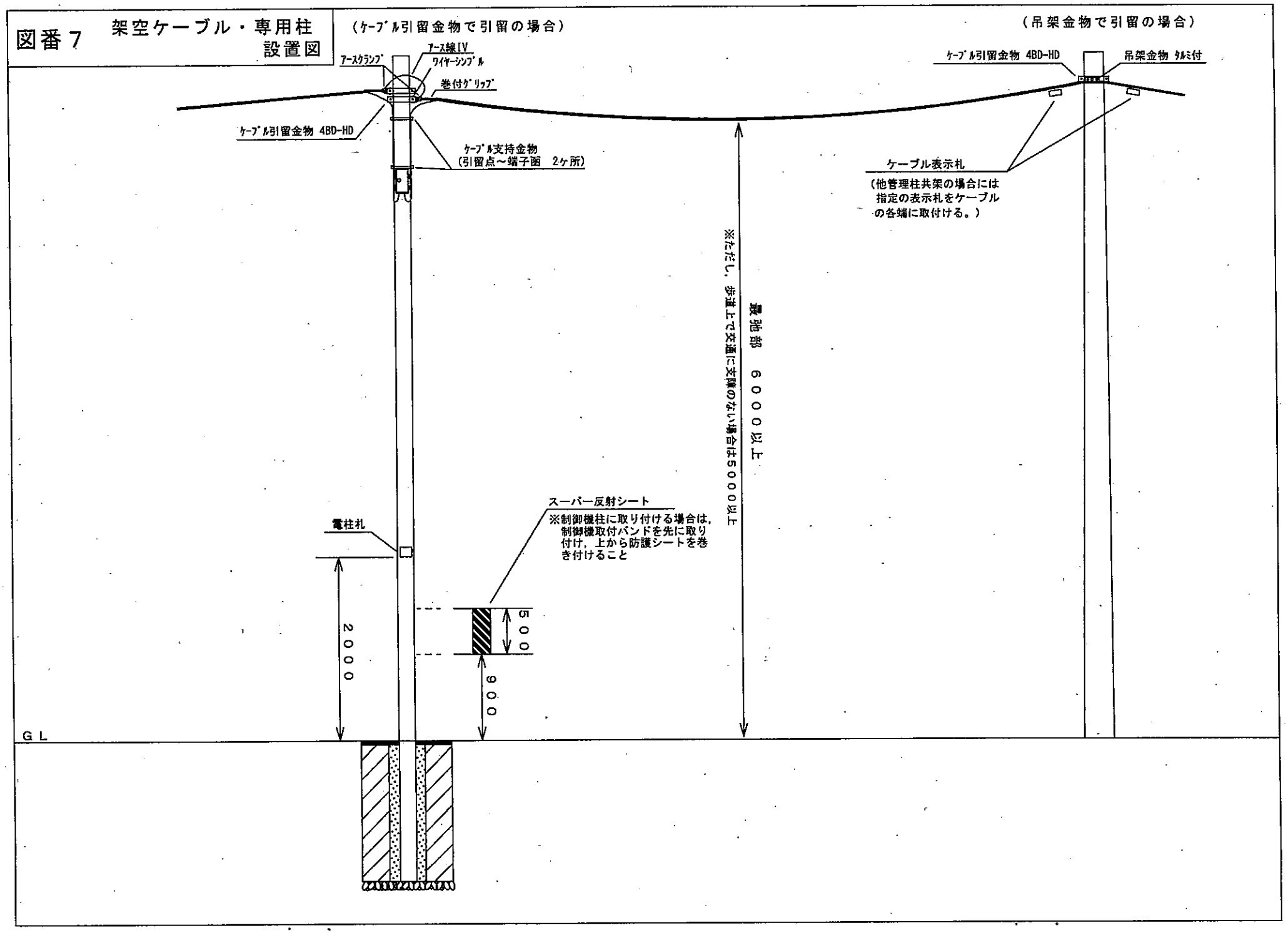
図番５　車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図



図番６　視覚障害者用付加装置
高齢者等感応用押ボタン箱設置図

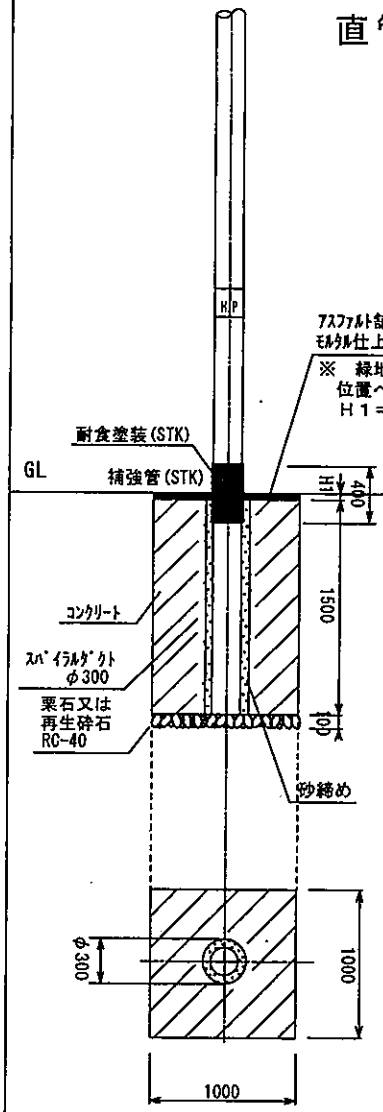


図番7　架空ケーブル・専用柱設置図

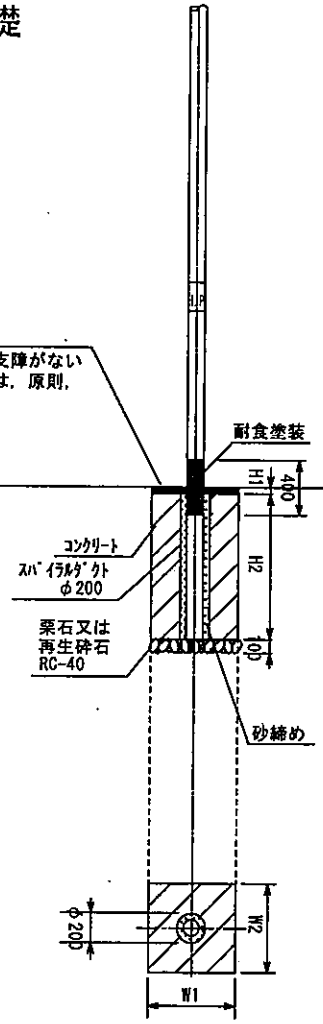


図番８　専用柱基礎仕様図

直管用基礎



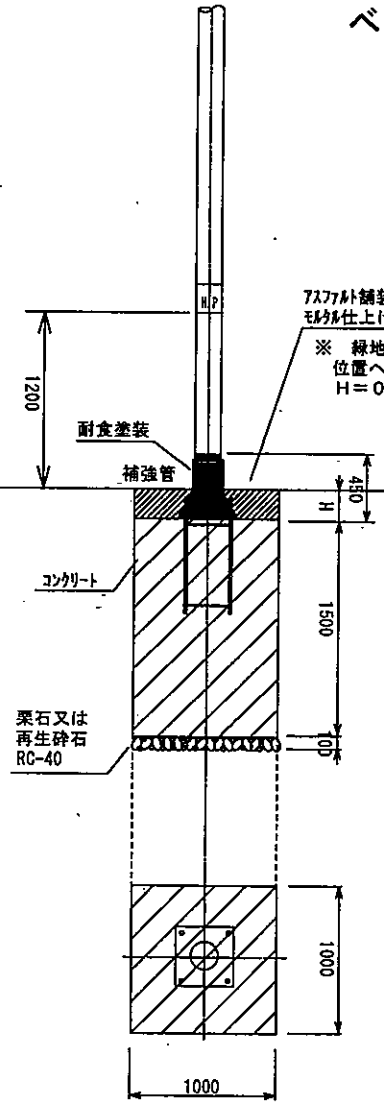
適用：CP9-14-500
STKφ139.8-9000L 直管
STKφ165.2-9000L 直管
STKφ190.7-9000L 直管
STKφ216.3-9000L 直管



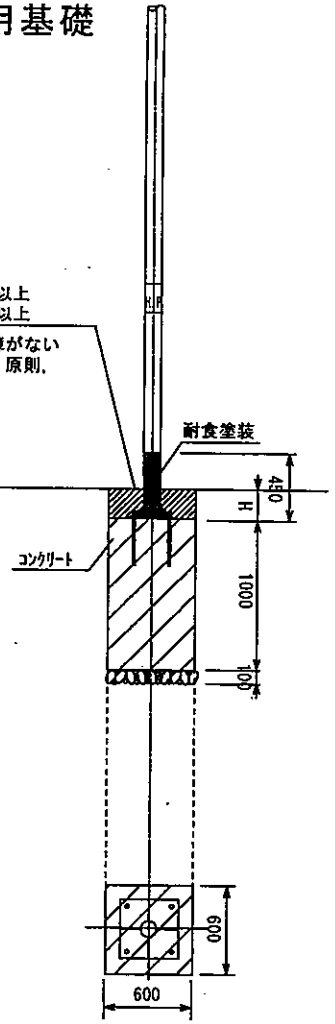
適用：STKφ114.3-6000L 直管
(H2=1000 W1=600 W2=600)
STKφ114.3-9000L 直管
(H2=1000以上 W1=800 W2=800)

※　H-H1=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように，モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

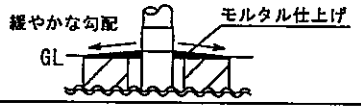
ベース式用基礎



適用：STKφ139.8 BP-1,2,4～6
STKφ165.2 BP-1,2,4～6
STKφ190.7 BP-1,2,4～6
STKφ216.3 BP-1,2,4～6

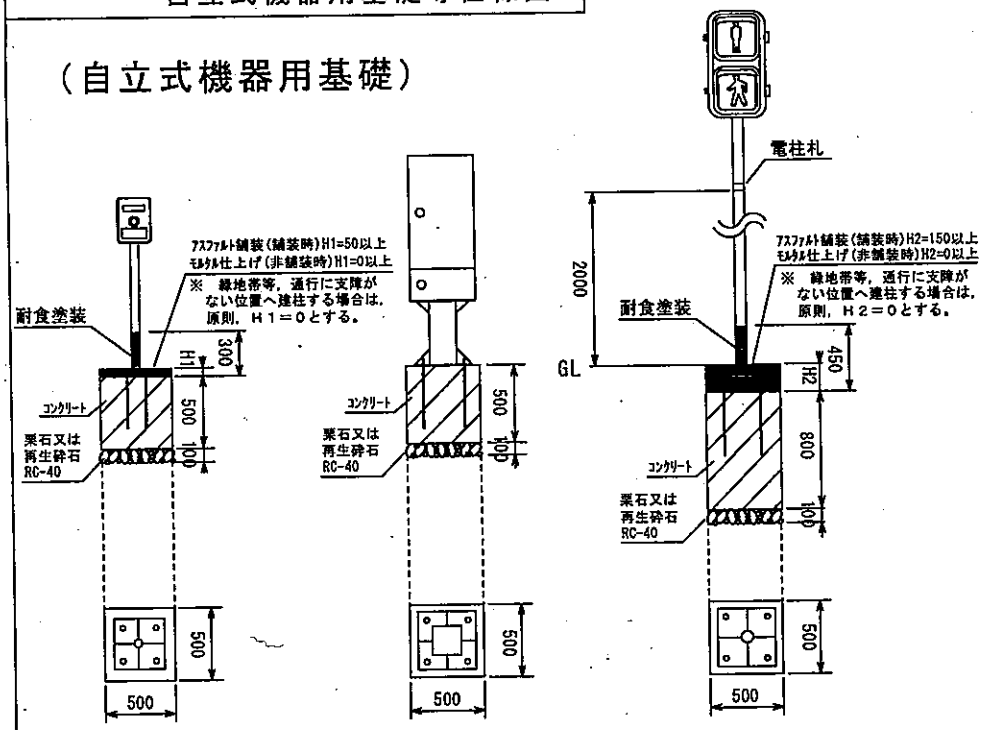


適用：STKφ114.3 ベース式



図番９　管路埋設　自立式機器用基礎等仕様図

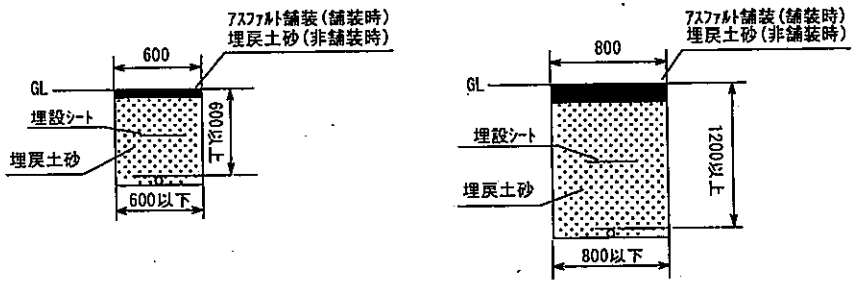
（自立式機器用基礎）



（自立式押ボタン）　（自立式制御機）　（自立式歩行者用灯器）

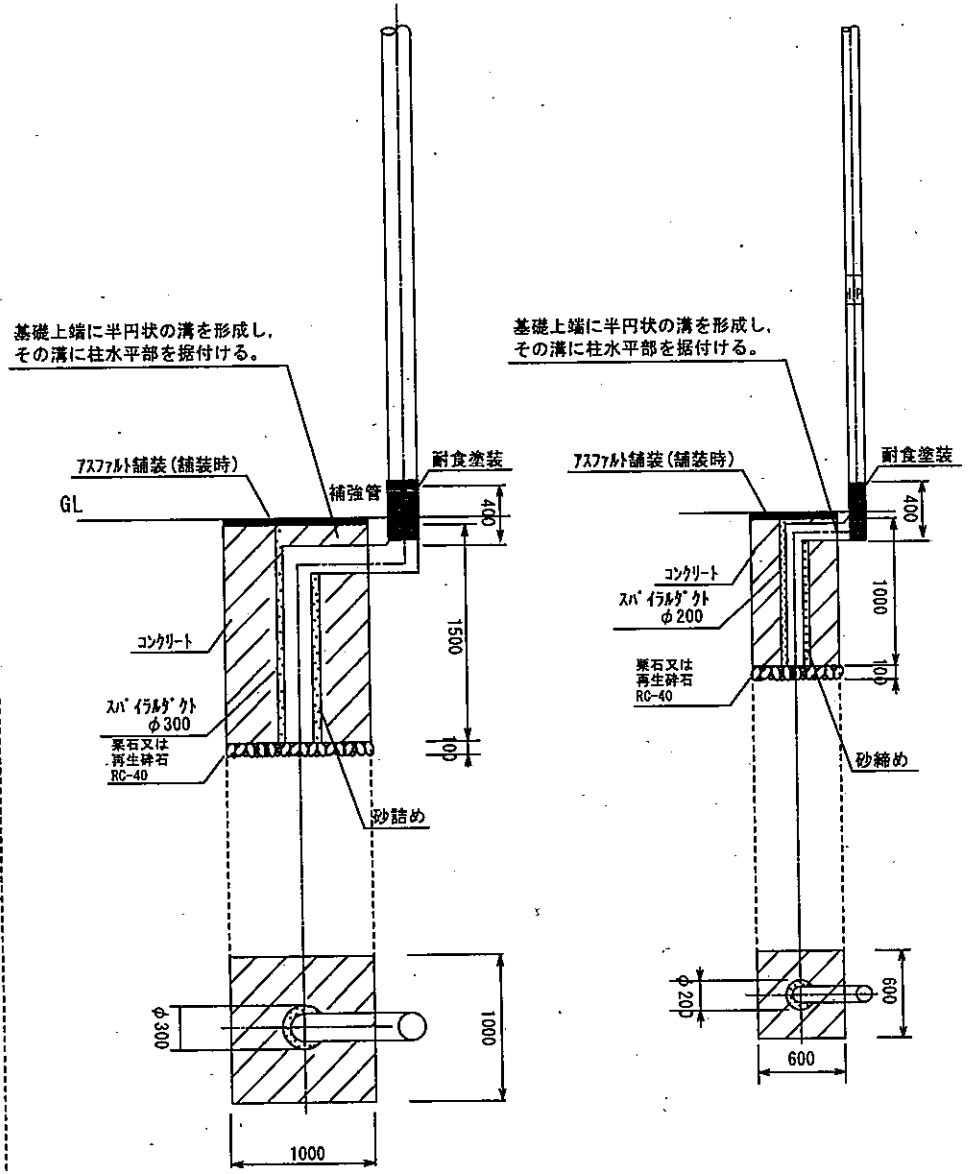
※　H1・H2=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように，モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

（管路埋設）



（歩道部埋設時）　（車道部埋設時）

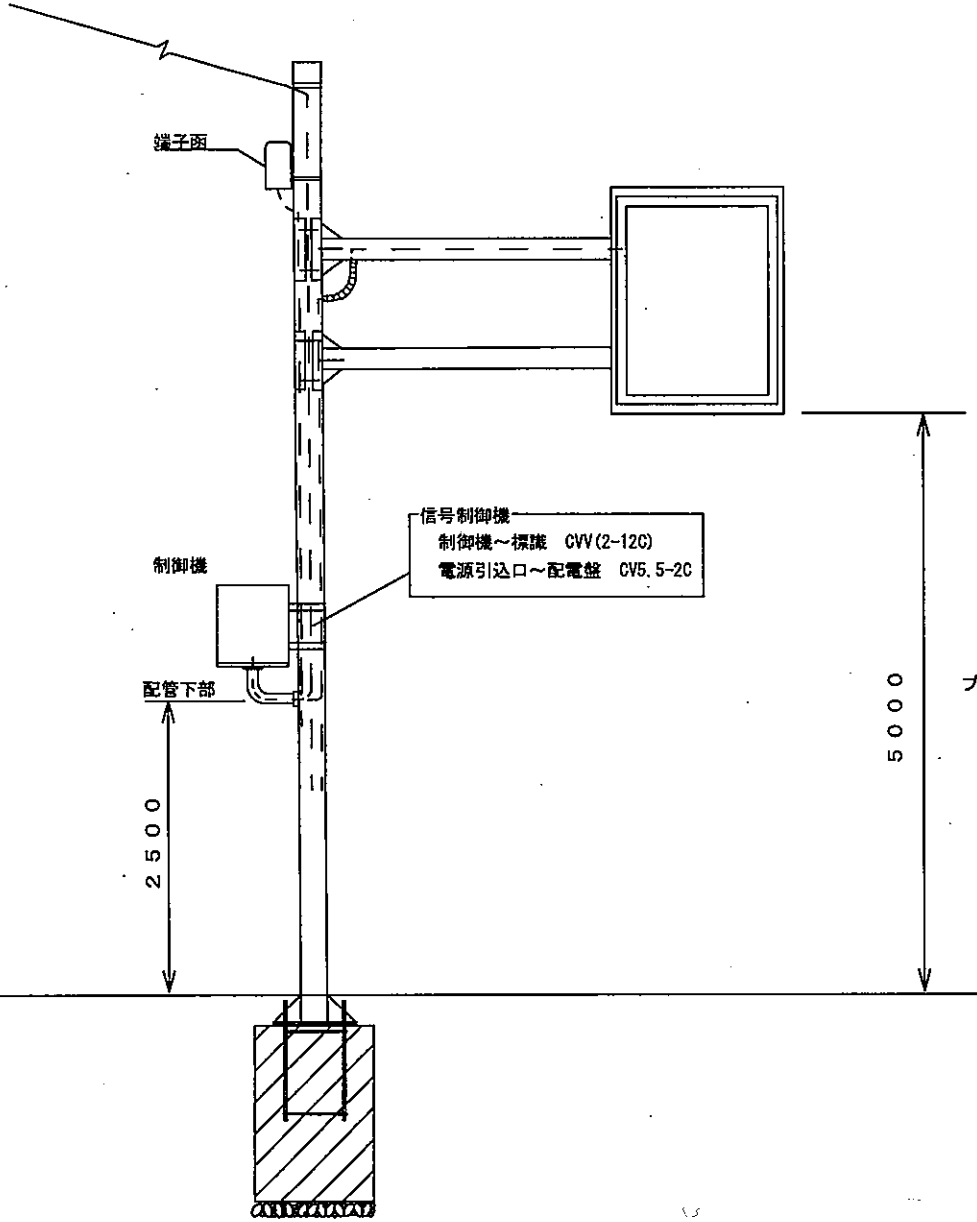
曲管用基礎

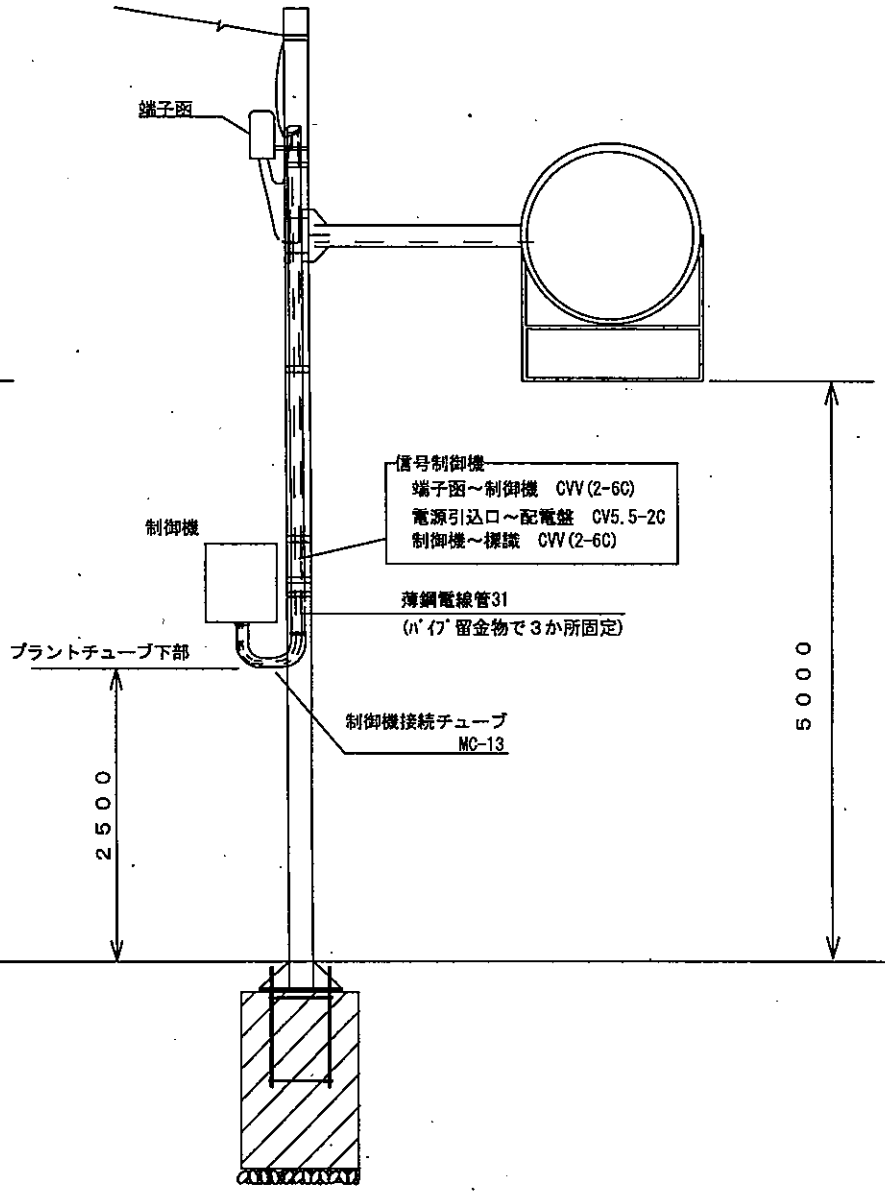


適用：STKφ139.8-9000L 曲管
STKφ165.2-9000L 曲管
STKφ190.7-9000L 曲管
STKφ216.3-9000L 曲管

適用：STKφ114.3-6000L 曲管

図番１０ 可変標識設備設置図





総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	75 福山市(神辺)	
単価適用日	00-07.07.01(0)	
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	03 一般交通影響有り(1)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　　レベル1 F=0.5
道路土工	1	式			Y1E0101　　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】		m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	10	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離5.5km以下(4.5km超)	30	m3			SPK24040002 00 単第0 -0002　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 砂質土	30	m3			F0000000001 00
コンクリート工	1	式			Y1E0104　　レベル2
コンクリート工	1	式			Y1E010403　レベル3
張コンクリート工 【法枠規格,中詰材種類】		m2			Y1E01040302レベル4
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ100mm 18-8-20BB	18	m2			S1040011　　00 単第0 -0003　表
舗装工	1	式			Y1E0204　　レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	32	m2			SPK24040241 00 単第0 -0004　表
基層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040405レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	32	m2			SPK24040239 00 単第0 -0005　表
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1E02040403レベル4
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下	32	m2			SPK24040234 00 単第0 -0006　表
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚150mm 1層施工	32	m2			SPK24040234 00 単第0 -0007　表
下層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1E02040401レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	37	m2			SPK24040232 00 単第0 -0008　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
縁石工	1	式			Y1E0206　　レベル2
作業土工	1	式			Y1E020601　レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E02060102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK24040015 00 単第0 -0009　表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E02060103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	6	m3			SPK24040020 00 単第0 -0010　表
縁石工	1	式			Y1E020603　レベル3
歩車道境界ブロック 【ブロック規格】		m			Y1E02060301レベル4
1号境界ブロック	59	m			V0000000001 00 単第0 -0011　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工	1	式			Y1E0210　レベル2
区画線工	1	式			Y1E021001　レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1E02100101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	740	m			SDT00001　00 単第0 -0016　表
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	60	m			SDT00001　00 単第0 -0017　表
区画線設置(溶融式) 破線_15cm	250	m			SDT00001　00 単第0 -0018　表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm	420	m			SDT00001　00 単第0 -0019　表
区画線設置(溶融式) 破線_45cm	9	m			SDT00001　00 単第0 -0020　表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	150	m			SDT00001　00 単第0 -0021　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線消去 【施工方法区分】		m			Y1E02100104レベル4
区画線消去(削り取り式)	1,917	m			SDT00005　00 単第0 -0022　表
道路付属施設工	1	式			Y1E0212　レベル2
照明工	1	式			Y1E021204　レベル3
照明柱 【柱規格】		基			Y1E02120402レベル4
道路照明灯建込工 重量 350kg以下	1	基			S2600　00 単第0 -0023　表
照明柱基礎 【基礎型式】		基			Y1E02120401レベル4
照明柱基礎設置工	1	基			V0000000032 00 単第0 -0024　表
案内標識補修工	1	式			Y1E021204　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
案内標識補修 【柱規格】		基			Y1E02120402レベル4
案内標識補修	1	式			V0000000037 00 単第0 -0029　表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112　　レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	6	m3			SDT00031　　00 単第0 -0032　表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	60	m			SPK24040306 00 単第0 -0033　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	9	m3			SPK24040151 00 単第0 -0034 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 Co殻（無筋）	20	t			F0000000002 00
道路付属施設撤去工	1	式			Y1E011211 レベル3
ガードレール 【Gr規格,施工規模,曲線部補正】		m			Y1E02080101レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 Am,Bm(支柱間隔2m)	13	m			SS000127 00 単第0 -0035 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1㎜以上3㎜未満,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	0.1	t			T100E005　00
歩車道境界ブロック撤去 【再利用区分】		m			Y1E01121301レベル4
歩車道境界ブロック撤去 処分	59	m			SPK24040289 00 単第0 -0036　表
道路照明灯撤去 【施工区分,施工規模】		個			Y1E01121101レベル4
道路照明灯撤去工 重量 350kg以下	1	基			S2600　00 単第0 -0037　表
照明基礎撤去 照明灯基礎　500φ2.0m以下	1	基			V0000000005 00 単第0 -0038　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E01152101レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B 設計労務単価の補正割増し(1.5)	55	人			R0369　　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

神辺駅御幸線　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
神辺駅御幸線					X2000
道路改良	1	式			Y1E01　レベル1
舗装工	1	式			Y1E0204　レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404　レベル3
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	643	m2			SPK24040241 00 単第0 -0040　表
表層(歩道部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1E02040410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚30mm	363	m2			SPK24040244 00 単第0 -0041　表
区画線工	1	式			Y1E0210　レベル2

神辺駅御幸線　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工	1	式			Y1E021001　レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1E02100101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	440	m			SDT00001　00 神辺駅御幸線 単第0 -0042　表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm	89	m			SDT00001　00 神辺駅御幸線 単第0 -0043　表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	27	m			SDT00001　00 神辺駅御幸線 単第0 -0044　表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112　レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
舗装版破砕 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	519	m2			SPK24040305 00 単第0 -0045　表

神辺駅御幸線　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	26	m3			SPK24040151 00 単第0 -0046　表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 As殻	61	t			F0000000046 00
仮設工	1	式			Y1E0115　　レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E01152101レベル4

神辺駅御幸線　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	4	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……

神辺駅御幸線　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号移設					X3000
道路維持	1	式			Y1G01　レベル1 F=0.5
道路土工	1	式			Y1G0102　レベル2
作業土工	1	式			Y1G010401　レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1G01040102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	6	m3			SPK24040015 00 単第0 -0009　表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1G01040103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	7	m3			SPK24040020 00 単第0 -0010　表
購入土 処理土	8	m3			F0000000038 00

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工	1	式			Y1G010210　レベル3
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1G01021002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離28.5km以下(17.5km超)	6	m3			SPK24040002 00 単第0 -0047　表
残土等処分		m3			Y1G01021003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 粘性土	6	m3			F0000000007 00
道路付属施設工	1	式			Y1G0107　　レベル2
交通信号装置据付工	1	式			Y1G010702　レベル3
交通信号装置据付工 【視線誘導標規格,施工区分,施工規模】		基			Y1G01070201レベル4

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付工 県警（1）号柱	1	式			V0000000013 00 単第0 -0048　表
交通信号装置据付工 県警（2）号柱	1	式			V0000000014 00 単第0 -0053　表
交通信号装置据付工 県警（3）号柱	1	式			V0000000015 00 単第0 -0056　表
交通信号装置据付工 県警（5）号柱	1	式			V0000000017 00 単第0 -0062　表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル　外径20㎜以下 CVV-SSD　2*12C	1	径間			V0000000022 00 単第0 -0069　表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル　外径20㎜以下 CVV-SSD　2*15C	1	径間			V0000000023 00 単第0 -0070　表
通信ケーブル（中間接続） 10P　0.5～0.9㎜　12T	1	箇所			V0000000034 00 単第0 -0071　表
通信ケーブル（中間接続） 20P　0.5～0.9㎜　20T	1	箇所			V0000000035 00 単第0 -0072　表
交通信号装置撤去工 【視線誘導標規格,施工区分,施工規模】		基			Y1G01070201レベル4

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置撤去工 県警（3）号柱	1	式			V0000000024 00 単第0 -0073　表
交通信号装置撤去（歩行者灯器）	1	台			V0000000028 00 2台目以降 単第0 -0079　表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル　外径20mm以下 CVV-SSD　2*15C	1	径間			V0000000029 00 単第0 -0080　表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル　外径30mm以下 CVV-SSD　2*30C	1	径間			V0000000030 00 単第0 -0081　表
通信ケーブル（中間接続）撤去 30P　0.5～0.9mm　30T	1	箇所			V0000000036 00 単第0 -0082　表
機器費 【視線誘導標規格,施工区分,施工規模】		式			Y1G01070201レベル4
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
交通信号制御器オプション 定数設定変更費（クリアランス秒数）	1	式			F0000000033 00
交通信号制御器現地改造費 現示変更接続替え	1	式			F0000000034 00

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
材料費 【視線誘導標規格,施工区分,施工規模】		式			Y1G01070201レベル4
材料費	1	式			V0000000031 00 単第0 -0083　表
構造物撤去工	1	式			Y1G0124　　レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G012416　レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G01241601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)	0.3	m3			SPK24040151 00 As殻 単第0 -0084　表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	2	m3			SPK24040151 00 Co殻 単第0 -0085　表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 As殻(小規模)	0.7	t			F0000000008 00
処分費 Co殻（鉄筋）	4	t			F0000000009 00
仮設工	1	式			Y1G0126　　レベル2
交通管理工	1	式			Y1G012621　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G01262101レベル4
交通誘導警備員B 設計労務単価の補正割増し(1.5)	25	人			R0369　　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……

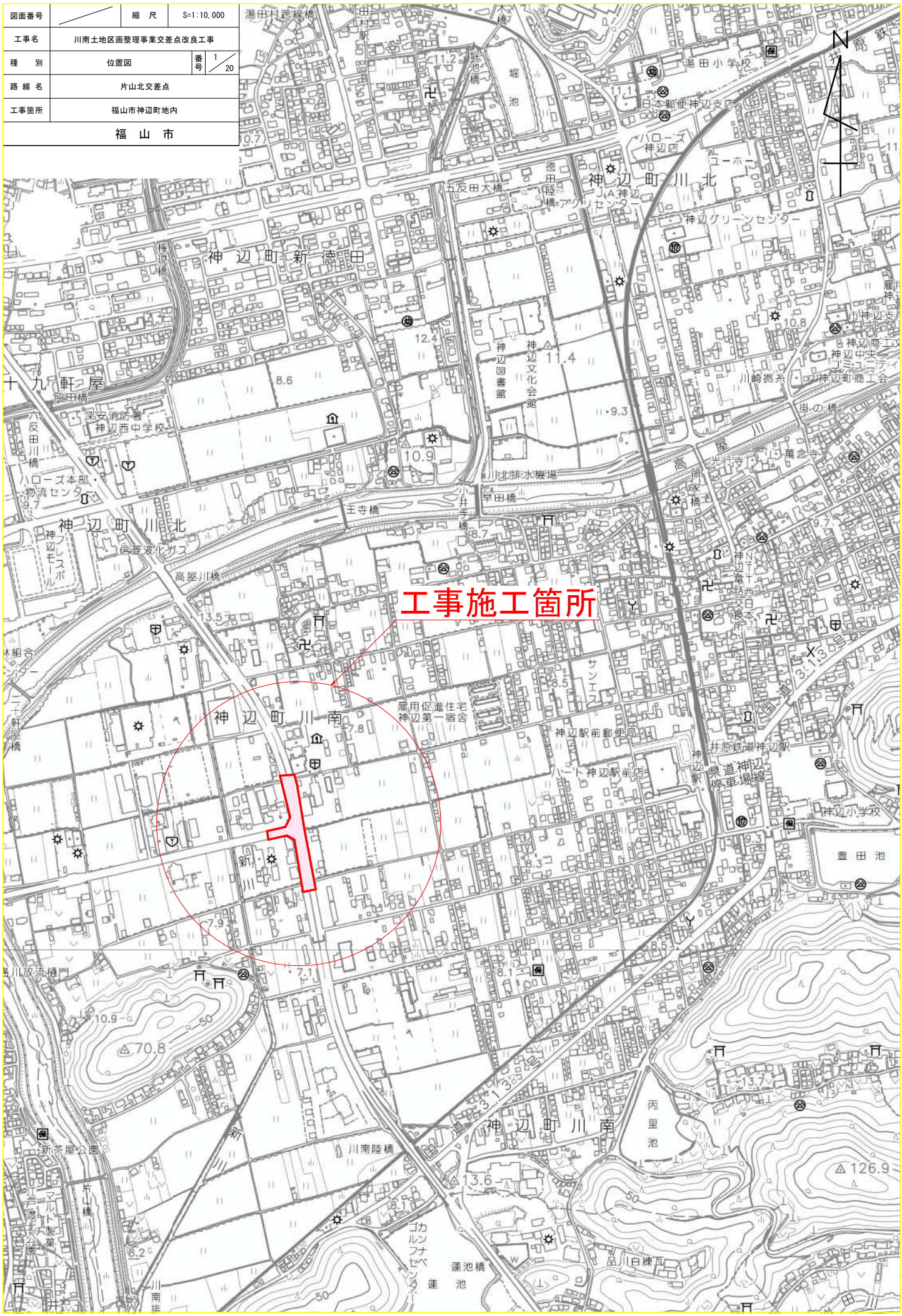
信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

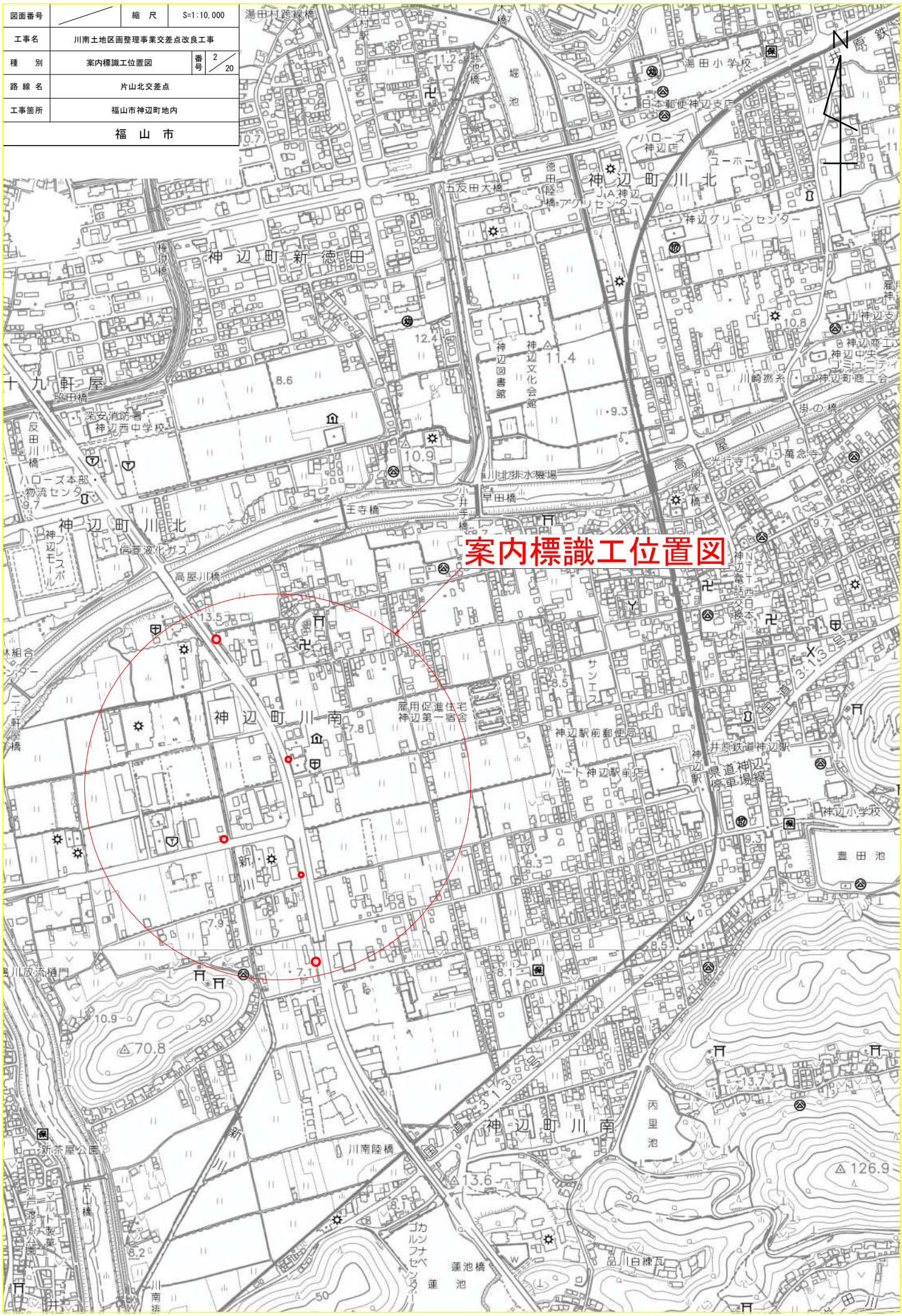
信号移設　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

図面番号		縮　尺	S=1:10,000
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
種　別	位置図	番号	1 / 20
路線名	片山北交差点		
工事箇所	福山市神辺町地内		
福　山　市			

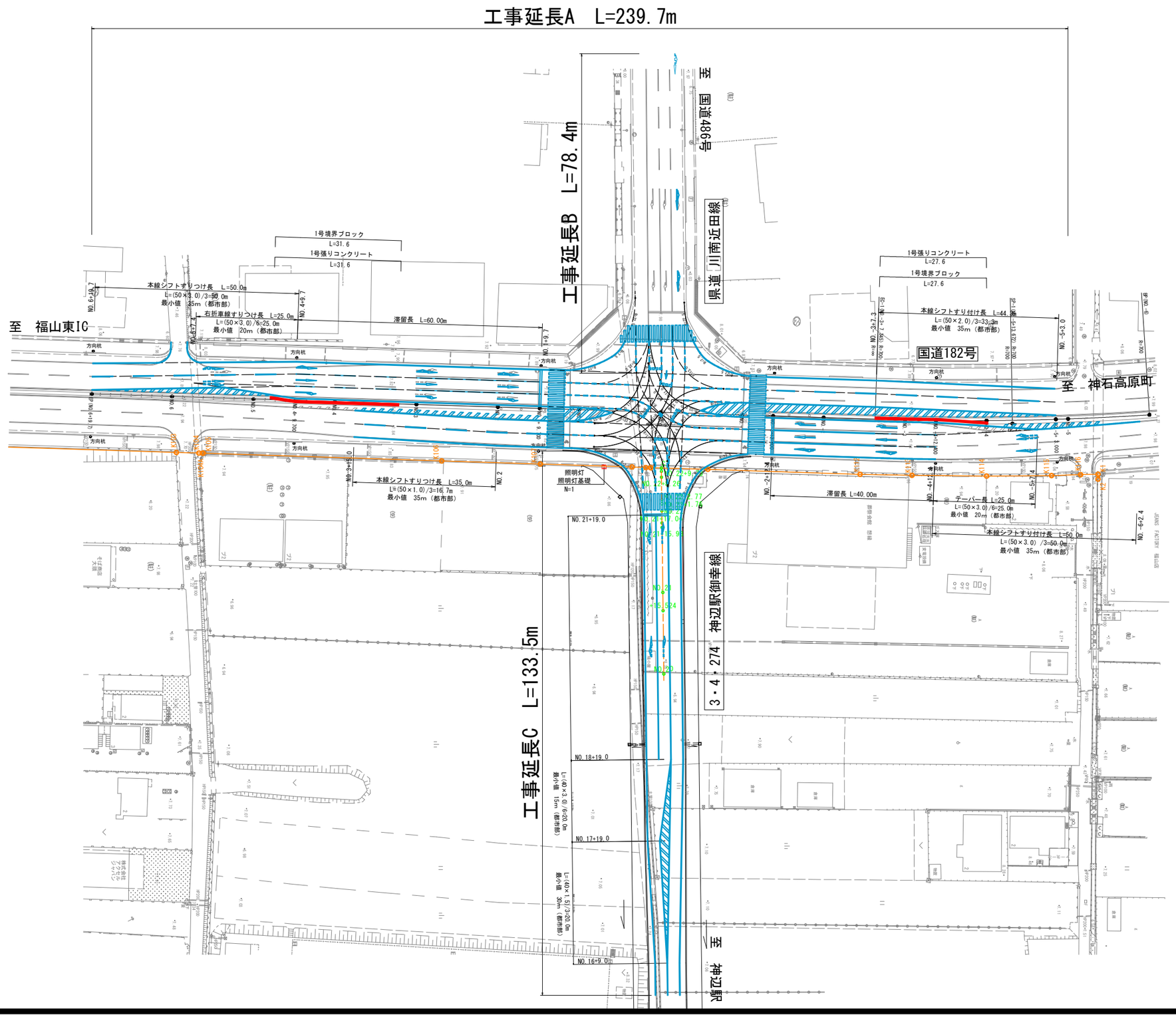


図面番号		縮　尺	S=1:10,000
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
種　別	案内標識工位置図	番号	2 / 20
路線名	片山北交差点		
工事箇所	福山市神辺町地内		
福　山　市			



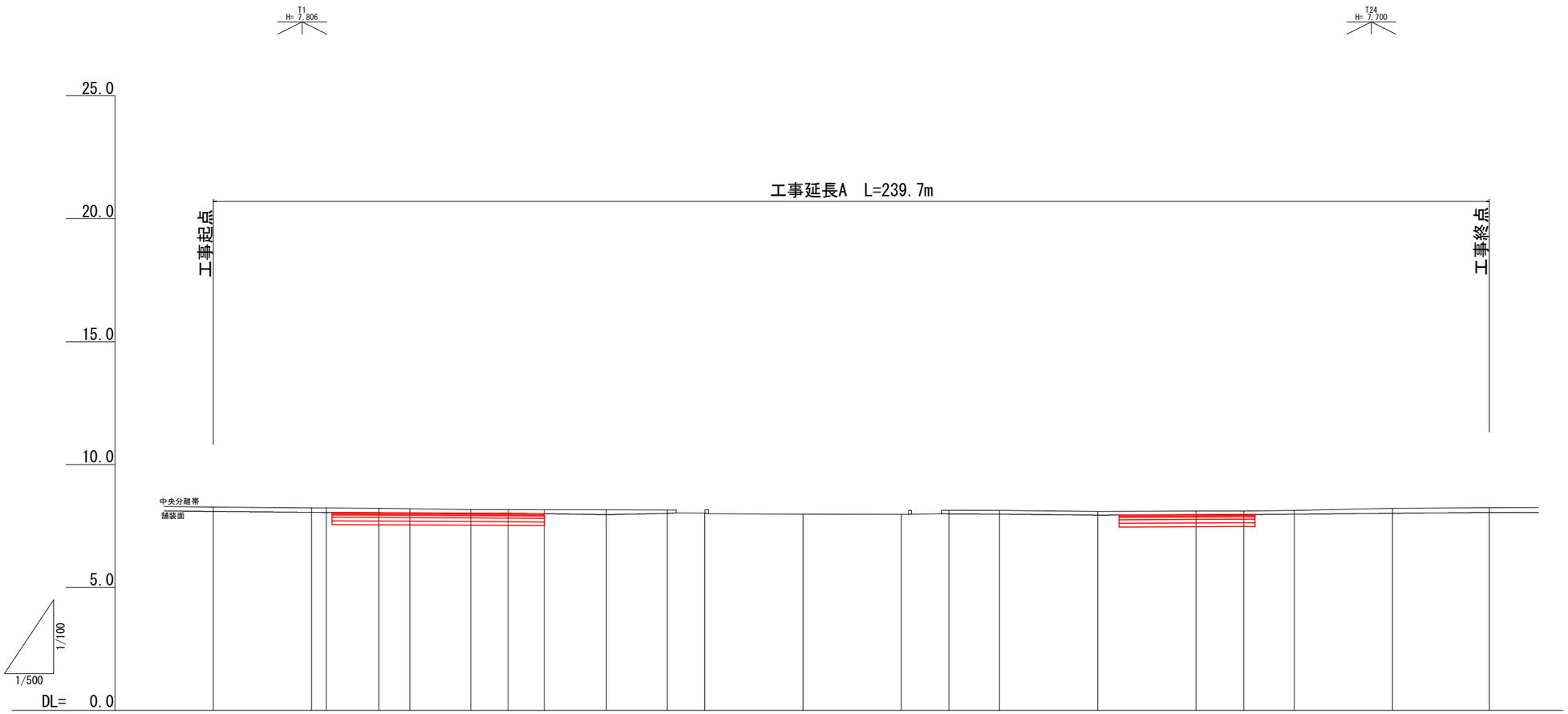
平面図

（国道182号×3・4・274 神辺駅御幸線） S=1:500



この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	平面図		
作成年月日	2025 年 7月		
縮　尺	1:500	図面番号	3 ／ 20
会社名			
事業者名	福　　山　　市		



勾 配	
盛 土	
切 土	
計 画 高	8.04 8.03 8.02 8.01 8.00 7.96 7.97
地 盤 高	8.27 8.23 8.23 8.22 8.20 8.17 8.17 8.16 8.16 8.15 8.02 7.98 7.97 8.14 8.13 8.09 8.11 8.11 8.13 8.22 8.24
追加距離	120.000 100.000 97.000 86.328 80.000 67.600 60.000 52.655 40.000 27.600 20.000 0.000 20.000 29.700 40.000 60.000 80.000 89.700 100.000 120.000 139.700
区間距離	0.000 20.000 3.000 10.672 6.328 12.400 7.600 7.345 12.655 12.400 7.600 20.000 20.000 9.700 10.300 20.000 20.000 9.700 10.300 20.000 19.700
測 点	BP (NO.-6) NO.-5 NO.-5 +3.000 SP-1 NO.-4 NO.-4 +12.400 NO.-3 EC-1 NO.-2 NO.-2 +12.400 NO.-1 NO.0 NO.1 NO.1 +9.700 NO.2 NO.3 NO.4 NO.4 +9.700 NO.5 NO.6 EP (NO.6 +19.7)
曲 線	IP.1 IA= 5-30-44 R = 700.000 CL= 67.345 TL= 33.698 E= 0.811
片勾配摺付	
拡幅摺付	

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	縦断図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮 尺	V=1:100 V=1:500	図面番号	4 ／ 20
会社名			
事業者名	福 山 市		

標準横断図

S=1:50

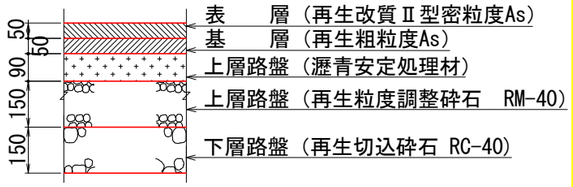
道路規格と舗装構成

路線名	国道182号		
道 路 規 格	第４ 種 第1 級		
設計速度	V = 50 km/h		
標準幅員構成	W = 26.000m		
交通の区分	1000≦T＜3000（N6交通）		
設計 CBR	8 %以上		
目標とする値	TA = 26		
舗 装 構 成	舗装厚	等値換算係数	TA値
表層工(再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00
基層工(再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00
上層路盤工(瀝青安定処理材)	9 cm	0.80	7.20
上層路盤工(再生粒調砕石)	15 cm	0.35	5.25
下層路盤工(再生切込砕石)	15 cm	0.25	3.75
計	49 cm		26.20

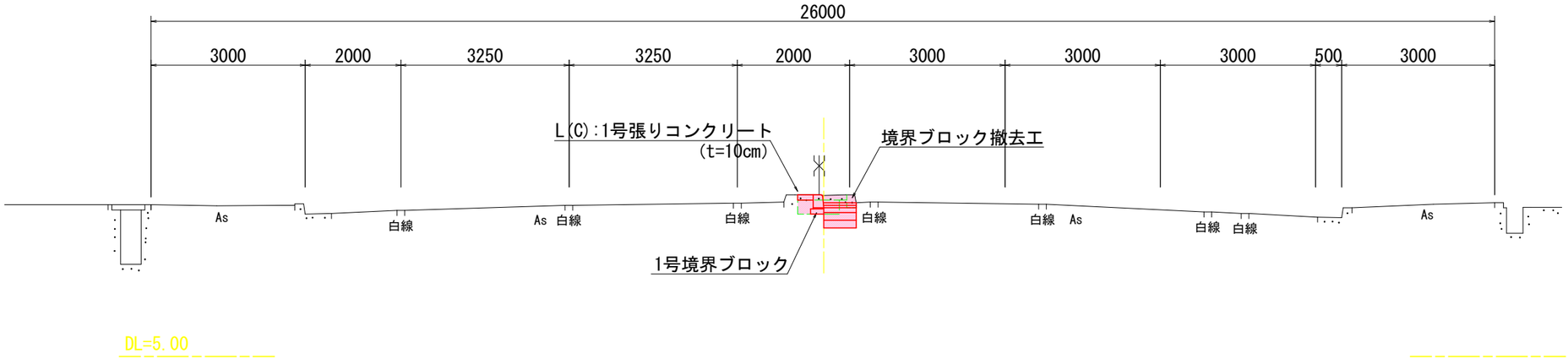
舗装構成図

S=1:10

車道舗装（アスファルト）



NO.4+9.7付近



凡 例

記 号	種 別
C1(SE)	掘削 片切（土砂）
E(SE)	床掘（土砂）
Fu(D)	埋戻（D）埋戻し幅 W1＜ 1 m
K	基面整正
L(C)	1号張りコンクリート
C(Co)	コンクリート取壊し(無筋)
	アスファルト舗装
W1	車道舗装 表層（再生密粒度As）
W2	基層（再生粗粒度As）
W3	上層路盤（瀝青安定処理材）
W4	上層路盤（再生粒度調整砕石 RM-40）
W5	下層路盤（再生切込砕石 RC-40）

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	標準横断図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮 尺	図示	図面番号	5 ／ 20
会社名			
事業者名	福 山 市		

標準断面図(2)

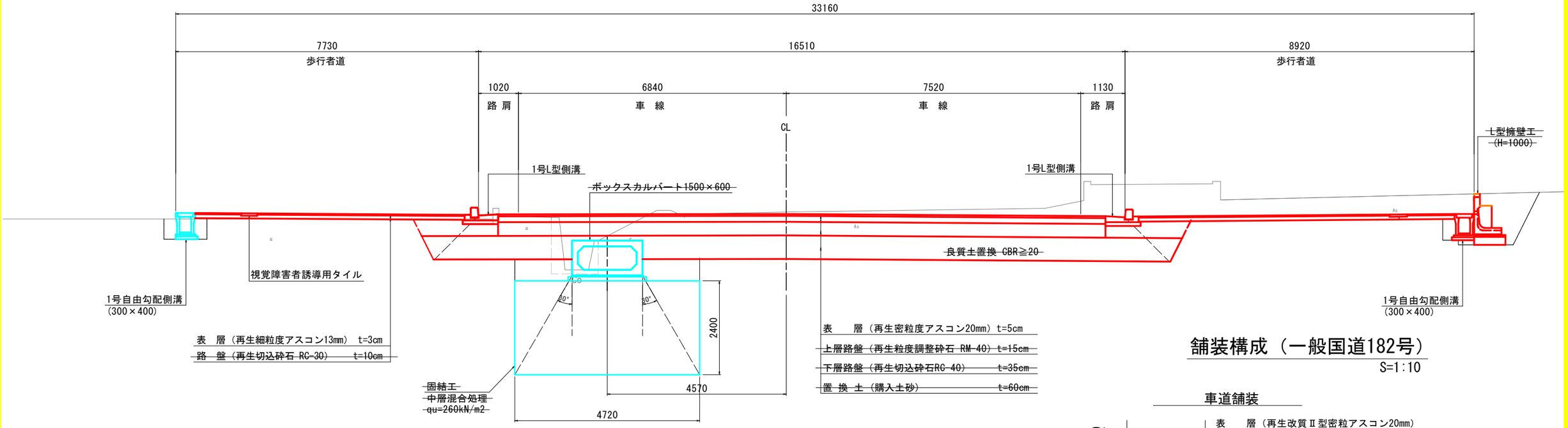
3・4・274 神 辺 駅 御 幸 線

S=1:50

（交差点部:国道182号交差点）

NO.22+2.86

舗 装 前 提 条 件					
舗装計画交通量	N4 交通(100≦T<250台/日-方向) ※235台/日-方向				
区分 / 工種	設計厚	種 別	換算係数	換算値	条 件
表層工	5 cm	再生密粒度アスコン	1.00	5.00	
基層工	— cm	再生粗粒度アスコン	1.00		
上層路盤工	15 cm	再生粒度調整砕石	0.35	5.25	修正CBR 80以上
下層路盤工	35 cm	再生切込砕石	0.25	8.75	修正CBR 30以上
計	55 cm			19.00	
設計CBR=3%以上				TA値 19.00≧19	



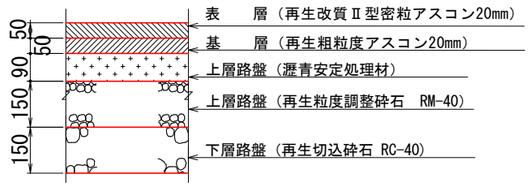
舗装構成（神辺駅御幸線）

S=1:10

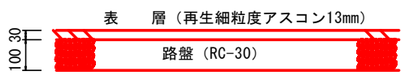
舗装構成（一般国道182号）

S=1:10

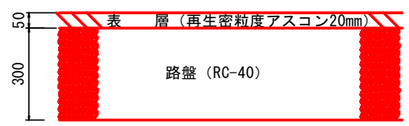
車道舗装



歩道舗装(一般部)



歩道舗装(乗入部)



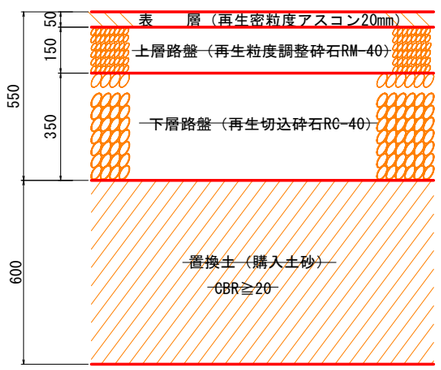
凡 例

記号	内 容
C1	オープン掘削(5.00≦W)
C2	片切掘削(W<5.00)
C3	表土剥ぎ取り（粘性土）
B1-1,B2-1	路床,路体盛土 (W<2.50)
B1-3,B2-3	路床,路体盛土 (4.00≦W)
B3-1	歩道盛土 (W<2.50)
B3-2	歩道盛土 (2.50≦W<4.00)
E	床 掘
Fu(C)	埋 戻 (1≦W1<4、W2<1.0)
Fu(D)	埋 戻 (W1<1.0、W2<1.0)
K	基面整正
W1	車道舗装（表層）
W2	車道舗装（上層路盤）
W3	車道舗装（下層路盤）
W6	歩道舗装（表層）
W7	歩道舗装（路盤工）
W8	歩道舗装出入口（表層）
W9	歩道舗装出入口（路盤工）

車道舗装

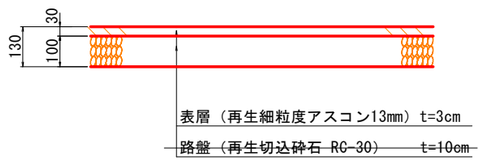
S=1:10

設計CBR=3



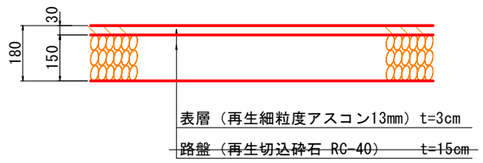
歩道舗装 標準部

S=1:10



歩道舗装 乗入部

S=1:10



※歩道舗装の乗入位置は、地権者との協議により決定するものとし、
決定した位置に上記の舗装構成を適用する。

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	標準横断図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮 尺	図示	図面番号	6 ／ 20
会社名			
事業者名	福 山 市		

横断図1（一般国道182号）

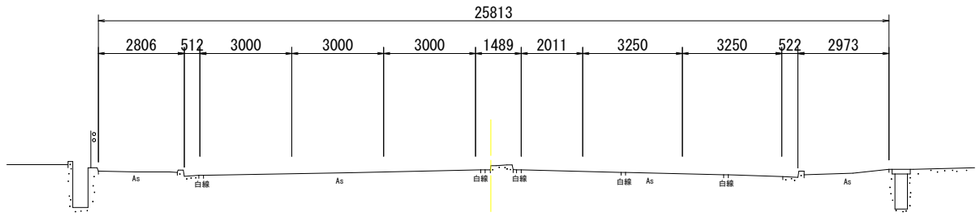
S=1:100

D=57.300

NO.-2+12.400

GH= 8.15

FH=



DL=5.00

L(C)=0.3 W1=0.6 W4=0.6 C1(SE)=0.3 E(SE)=0.3 C(Co)=0.1
W2=0.6 W5=0.7 Fu(D)=0.1
W3=0.6 K=0.3

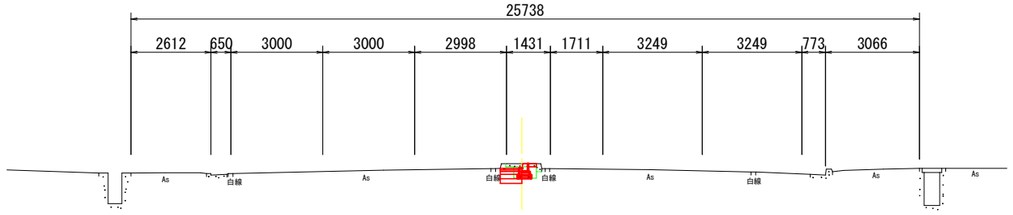
L=14.9
1号境界ブロック
L(C), W1, W2, W3, W4, W5
C1(SE), E(SE), Fu(D), K
C(Co)

D=40.000

NO.-4+12.400

GH= 8.17

FH=



DL=5.00

L(C)=0.3 W1=0.6 W4=0.6 C1(SE)=0.3 E(SE)=0.3 C(Co)=0.1
W2=0.6 W5=0.7 Fu(D)=0.1
W3=0.6 K=0.3

L=12.7
1号境界ブロック
L(C), W1, W2, W3, W4, W5
C1(SE), E(SE), Fu(D), K
C(Co)

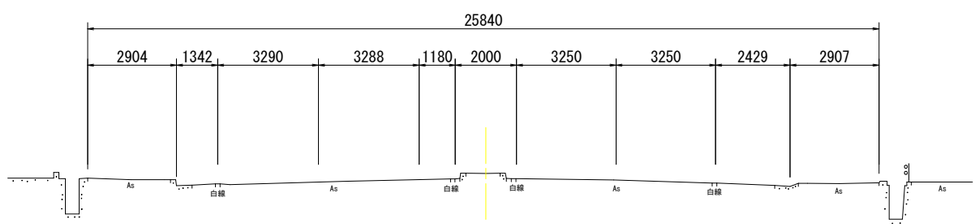
L(C)=0.3 W1=0.6 W4=0.6 C1(SE)=0.3 E(SE)=0.3 C(Co)=0.1
W2=0.6 W5=0.7 Fu(D)=0.1
W3=0.6 K=0.3

D=29.400

NO.-5+3.000

GH= 8.23

FH=



DL=5.00

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.-5+3.000 ～ NO.-2+12.400

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(1)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	7 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

横断図2（一般国道182号）

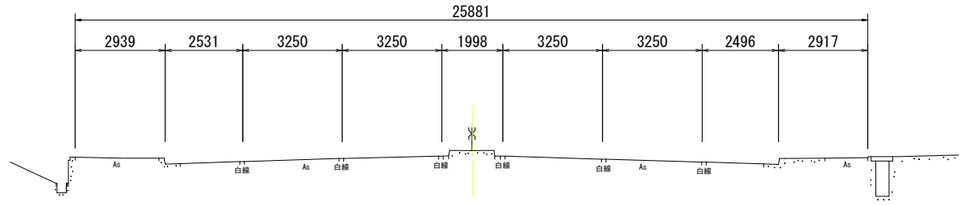
S=1:100

工事終点

EP(NO.6+19.7)

GH=8.24

FH=



DL=5.00

L(C)=0.3 W1=0.5 W4=0.5 C1(SE)=0.2 E(SE)=0.3 C(Co)=0.1
W2=0.5 W5=0.6 Fu(D)=0.1
W3=0.5 K=0.3

L=25.4
1号境界ブロック
L(C),W1,W2,W3,W4,W5
C1(SE),E(SE),Fu(D),K
C(Co)

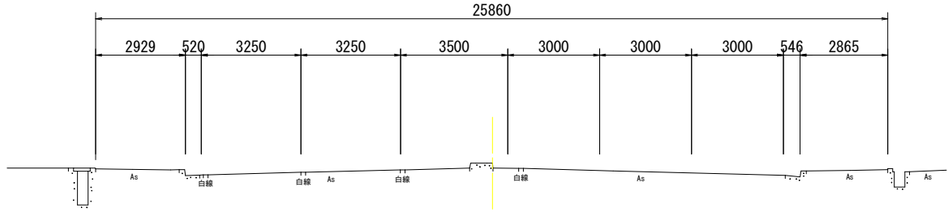
L(C)=0.3 W1=0.5 W4=0.5 C1(SE)=0.2 E(SE)=0.3 C(Co)=0.1
W2=0.5 W5=0.6 Fu(D)=0.1
W3=0.5 K=0.3

D=60.000

NO.1+9.700

GH= 8.14

FH=



DL=5.00

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.1+9.700 ～ EP(NO.6+19.700)

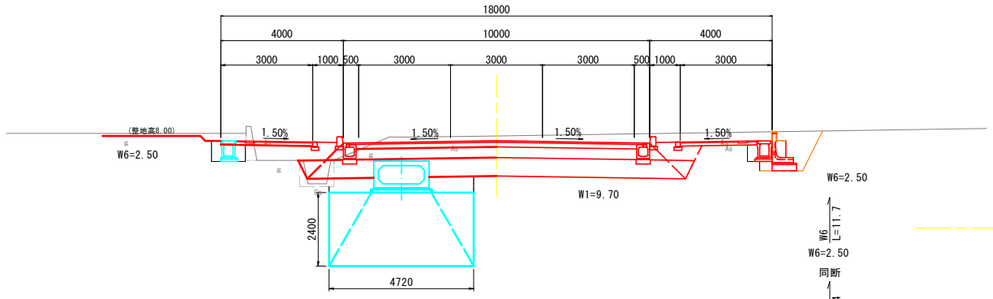
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(2)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	8 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

横断図1（神辺駅御幸線）

S=1:100

D=1.112
NO.21+15.93

GH=8.00
FH=7.840

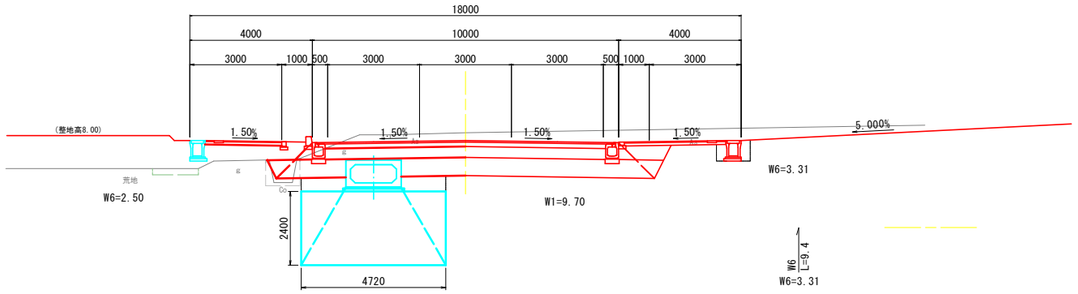


DL=5.000

W6=2.50
W6 L=11.7
W6=2.50
同断
W6 L=0.4
W6=3.31
同断
W6 L=3.8

D=15.931
NO.21

GH=8.09
FH=7.839

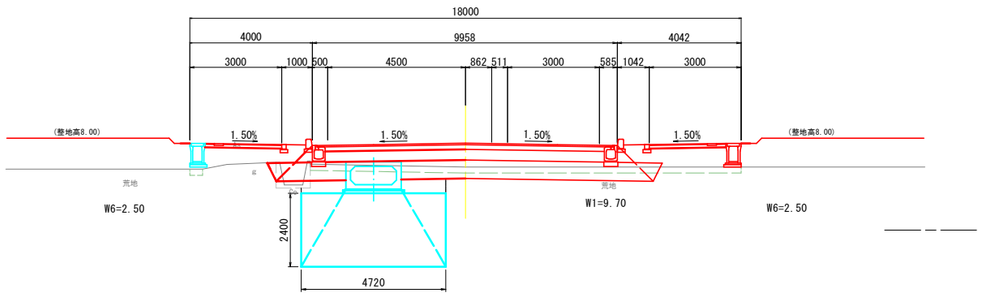


DL=5.000

W6 L=9.4
W6=3.31
同断
W6 L=0.4
W6=3.31
同断
W6 L=10.2

D=20.000
NO.20

GH=7.06
FH=7.834



DL=5.000

工事起点

凡　例

記号	内　容
C1	オープン掘削(5.00≦W)
C2	片切掘削(W<5.00)
C3	表土剥ぎ取り（粘性土）
B1-1,B2-1	路床,路体盛土（W<2.50）
B1-3,B2-3	路床,路体盛土（4.00≦W）
B3-1	歩道盛土（W<2.50）
B3-2	歩道盛土（2.50≦W<4.00）
E	床　　掘
Fu(C)	埋　　戻（1≦W1<4、W2<1.0）
Fu(D)	埋　　戻（W1<1.0、W2<1.0）
K	基面整正
W1	車道舗装（表層）
W2	車道舗装（上層路盤）
W3	車道舗装（下層路盤）
W6	歩道舗装（表層）
W7	歩道舗装（路盤工）
W8	歩道舗装出入口（表層）
W9	歩道舗装出入口（路盤工）

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.1+9.700 ～ EP(NO.6+19.700)

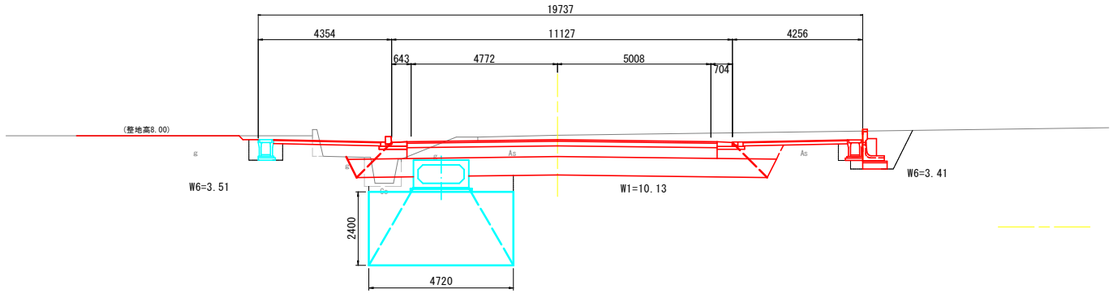
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(3)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	9 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

横断図2（神辺駅御幸線）

S=1:100

D=1.008
NO.22+1.76

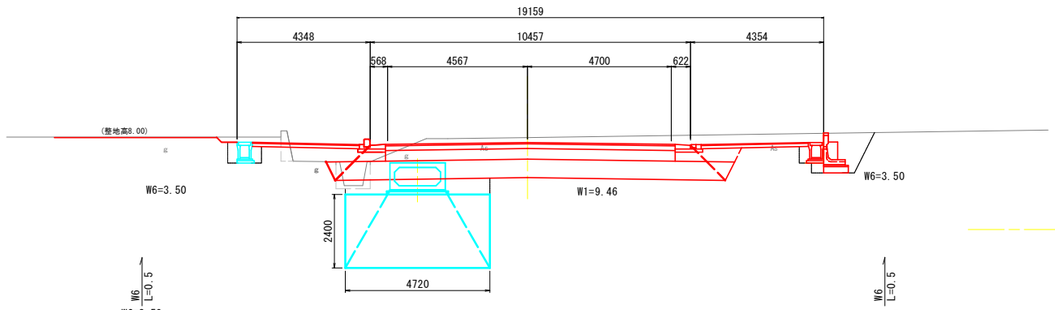
GH=7.99
FH=7.840



DL=5.000

D=1.759
NO.22

GH=8.00
FH=7.840



DL=5.000

W6 L=0.5
W6=3.50

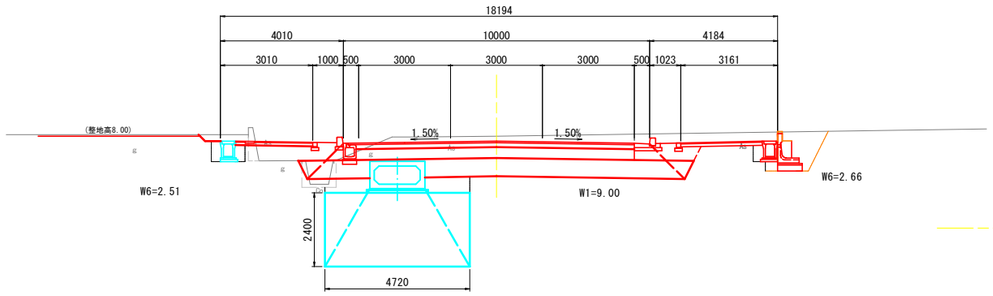
W6 L=0.5
W6=3.50

D=2.957
NO.21+17.04

GH=8.00
FH=7.840

同断
W6 L=2.5

同断
W6 L=2.5



DL=5.000

凡　例

記号	内　容
C1	オープン掘削(5.00≦W)
C2	片切掘削(W<5.00)
C3	表土剥ぎ取り（粘性土）
B1-1,B2-1	路床.路体盛土（W<2.50）
B1-3,B2-3	路床.路体盛土（4.00≦W）
B3-1	歩道盛土（W<2.50）
B3-2	歩道盛土（2.50≦W<4.00）
E	床　　掘
Fu(C)	埋　　戻（1≦W1<4、W2<1.0）
Fu(D)	埋　　戻（W1<1.0、W2<1.0）
K	基面整正
W1	車道舗装（表層）
W2	車道舗装（上層路盤）
W3	車道舗装（下層路盤）
W6	歩道舗装（表層）
W7	歩道舗装（路盤工）
W8	歩道舗装出入口（表層）
W9	歩道舗装出入口（路盤工）

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.1+9.700 ～ EP(NO.6+19.700)

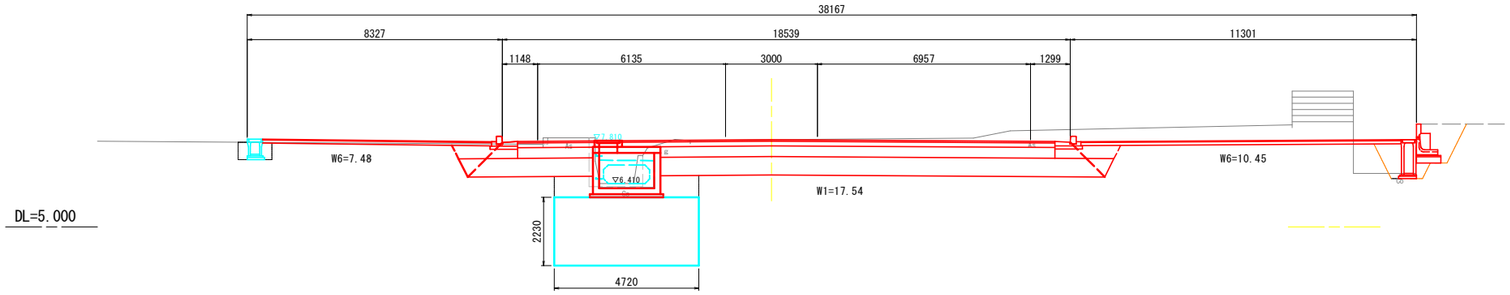
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(4)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	10 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

横断図3（神辺駅御幸線）

S=1:100

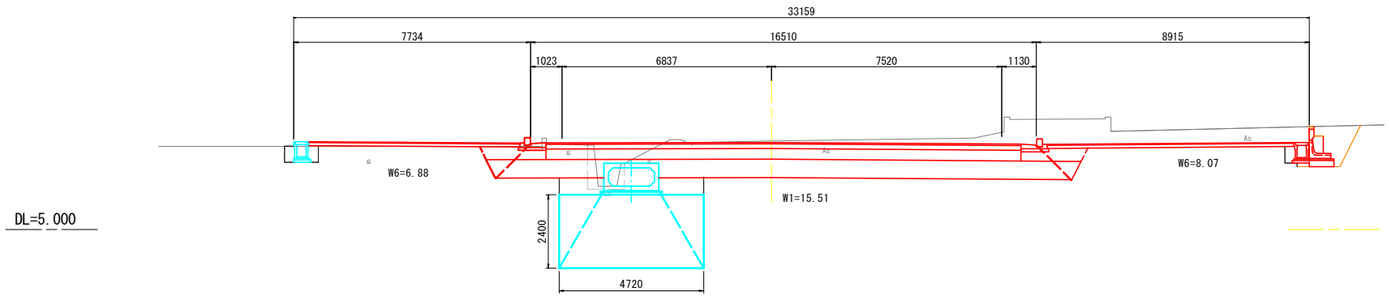
D=0.791
NO.22+9.73

GH=7.84
FH=7.840



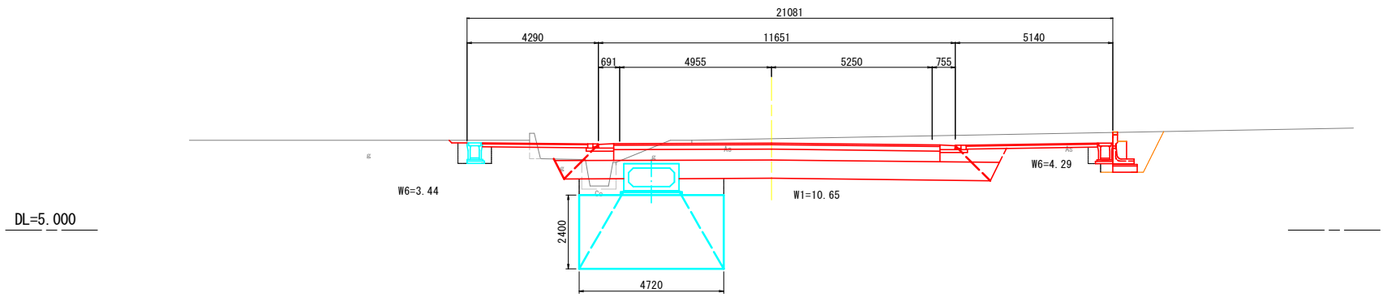
D=1.472
NO.22+8.26

GH=7.89
FH=7.840



D=5.494
NO.22+2.77

GH=7.98
FH=7.840



凡　例

記号	内　容
C1	オープン掘削(5.00≦W)
C2	片切掘削(W<5.00)
C3	表土剥ぎ取り（粘性土）
B1-1,B2-1	路床.路体盛土（W<2.50）
B1-3,B2-3	路床.路体盛土（4.00≦W）
B3-1	歩道盛土（W<2.50）
B3-2	歩道盛土（2.50≦W<4.00）
E	床　　掘
Fu(C)	埋　　戻（1≦W1<4、W2<1.0）
Fu(D)	埋　　戻（W1<1.0、W2<1.0）
K	基面整正
W1	車道舗装（表層）
W2	車道舗装（上層路盤）
W3	車道舗装（下層路盤）
W6	歩道舗装（表層）
W7	歩道舗装（路盤工）
W8	歩道舗装出入口（表層）
W9	歩道舗装出入口（路盤工）

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.1+9.700 ～ EP(NO.6+19.700)

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(5)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	11 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

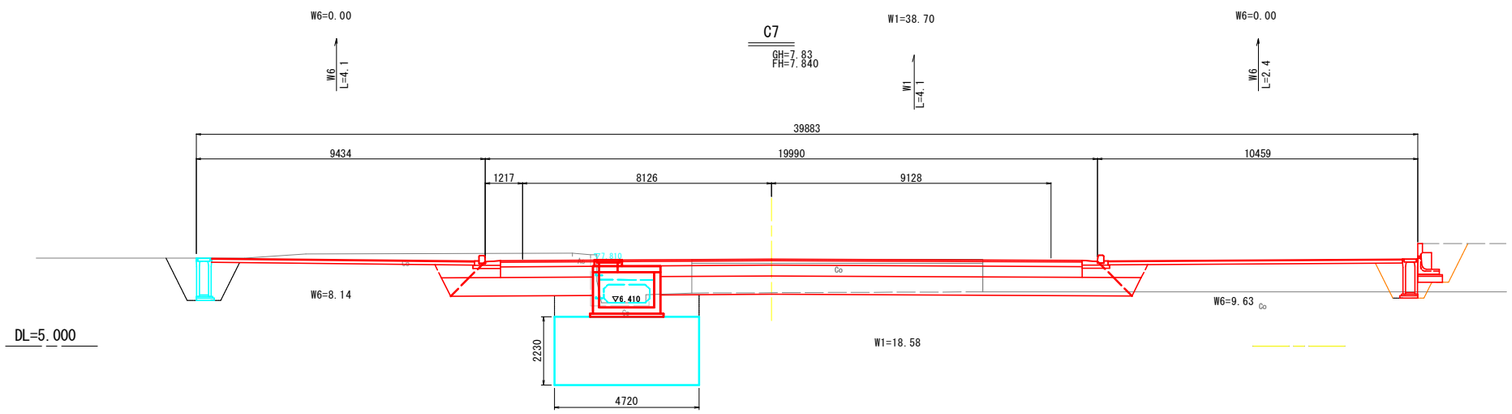
横断図4（神辺駅御幸線）

S=1:100

凡　例

記号	内　容
C1	オープン掘削(5.00≦W)
C2	片切掘削(W<5.00)
C3	表土剥ぎ取り（粘性土）
B1-1,B2-1	路床.路体盛土（W<2.50）
B1-3,B2-3	路床.路体盛土（4.00≦W）
B3-1	歩道盛土（W<2.50）
B3-2	歩道盛土（2.50≦W<4.00）
E	床　　掘
Fu(C)	埋　　戻（1≦W1<4、W2<1.0）
Fu(D)	埋　　戻（W1<1.0、W2<1.0）
K	基面整正
W1	車道舗装（表層）
W2	車道舗装（上層路盤）
W3	車道舗装（下層路盤）
W6	歩道舗装（表層）
W7	歩道舗装（路盤工）
W8	歩道舗装出入口（表層）
W9	歩道舗装出入口（路盤工）

工事終点

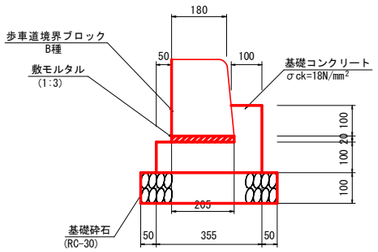


この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

NO.1+9.700 ～ EP(NO.6+19.700)

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	横断図(6)		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：100	図面番号	12 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

1号境界ブロック
S=1:10



数量表

10.0m当り

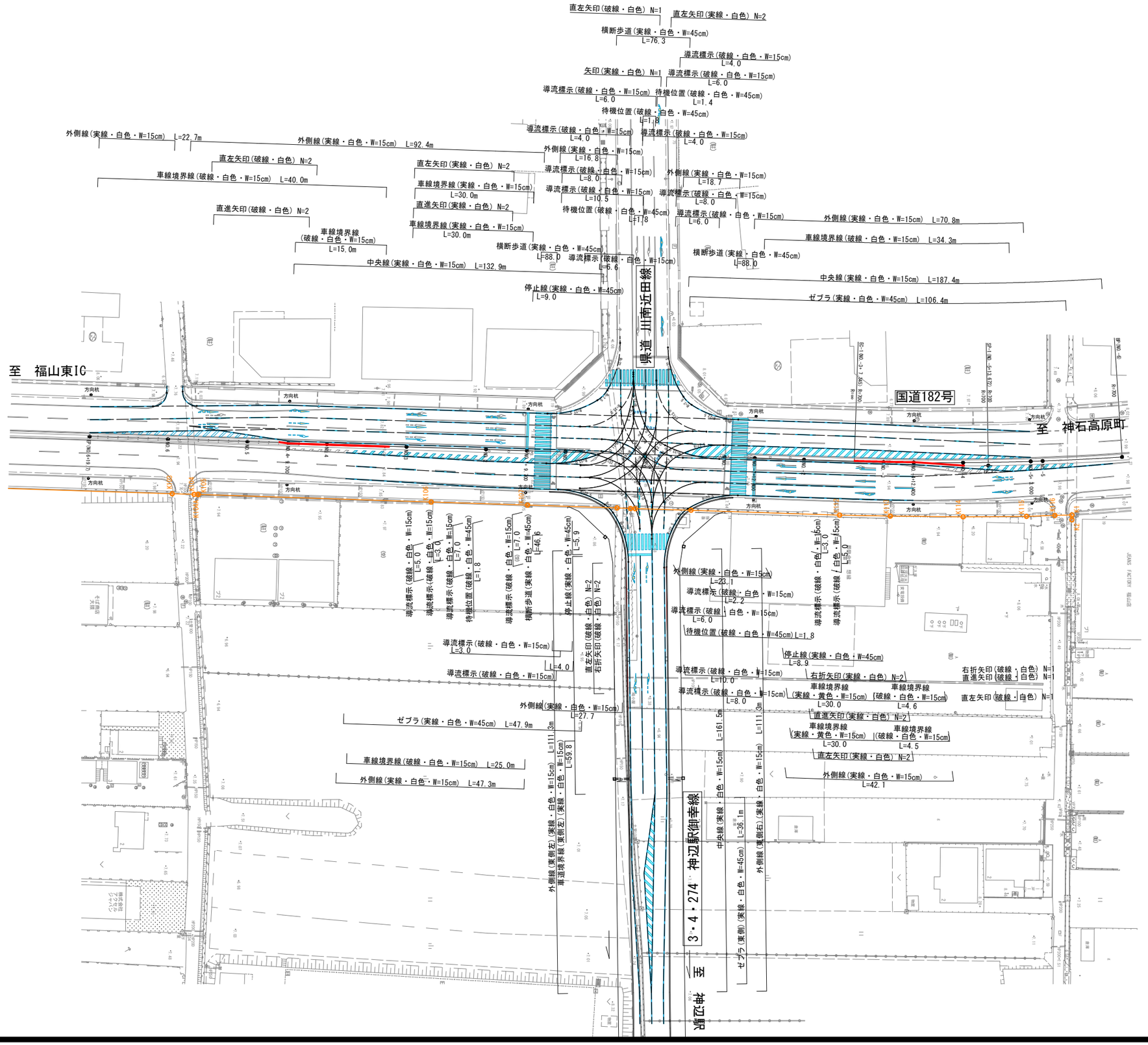
名　称	規　格	単位	数　量
歩車道境界ブロック	JIS A5307-B種	個	16.5
コンクリート	σck=18N/mm²	m^3	0.475
型枠		m^2	3.20
敷モルタル	1:3	m^3	0.041
基礎砕石	RC-30,t=100mm	m^2	4.55

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	構造図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：10	図面番号	13 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

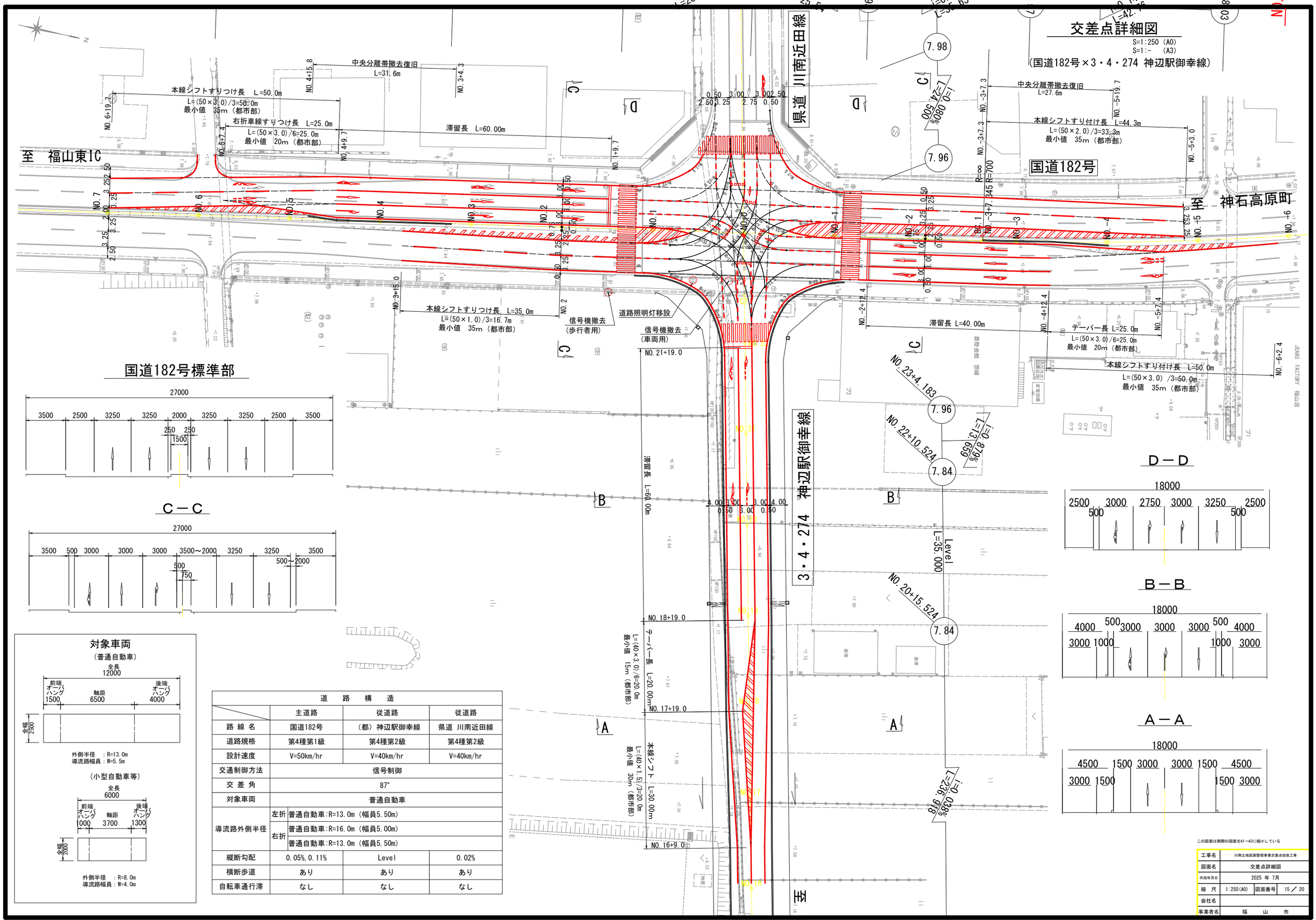
区画線工平面図

（国道182号×3・4・274 神辺駅御幸線） S=1:500



この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

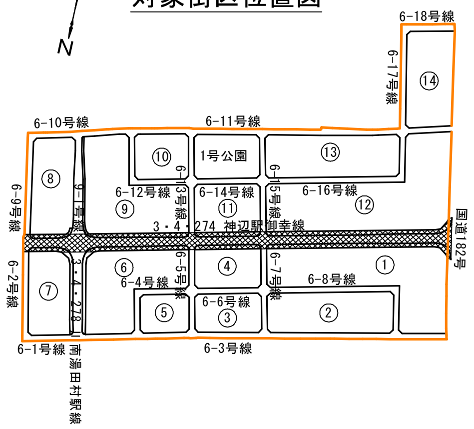
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	区画線工平面図		
作成年月日	2025 年 7月		
縮　尺	1:500	図面番号	14 ／ 20
会社名			
事業者名	福　　山　　市		

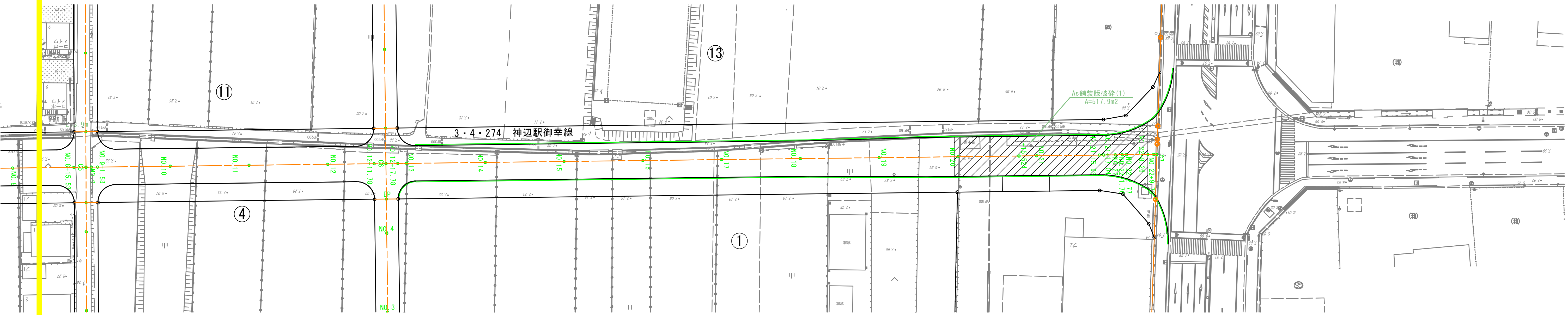


道路構造			
	主道路	従道路	従道路
路線名	国道182号	(都) 神辺駅御幸線	県道 川南近田線
道路規格	第4種第1級	第4種第2級	第4種第2級
設計速度	V=50km/hr	V=40km/hr	V=40km/hr
交通制御方法	信号制御		
交差角	87°		
対象車両	普通自動車		
導流路外側半径	左折	普通自動車:R=13.0m (幅員5.50m)	
	右折	普通自動車:R=16.0m (幅員5.00m)	
		普通自動車:R=13.0m (幅員5.50m)	
縦断勾配	0.05%,0.11%	Level	0.02%
横断歩道	あり	あり	あり
自転車通行帯	なし	なし	なし

撤去工平面図（神辺駅御幸線）

対象街区位置図





N

S=1:500

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	撤去工平面図		
作成年月日	2025 年 7月		
縮　尺	1:500	図面番号	16 ／ 20
会社名			
事業者名	福　　山　　市		

凡例																					
	制御機(側柱式)		車両感知器		押ボタン箱側柱式		車両用信号灯器		端子函		架空制御ケーブル		露出配管		視覚障害者用付加装置制御機		灯火式可変標識				
	制御機(自立式)		送受器		押ボタン箱自立式		歩行者用信号灯器		信号柱(新設)		架空通信ケーブル		ハンドホール		視覚障害者用付加装置スピーカー		反射式可変標識				
	端末信号送信装置		光学式感知器		配電盤		縦型信号灯器		信号柱(既設)		埋設配管		プルボックス		可変標識制御機						

＝工事概要＝

本工事は、福山市施工の道路改良工事に伴い、支障となる信号機設備の移設を行うものである。

(原因者負担工事)

○主要機材

信号柱　STKφ216.3*8.2*9000L　直管　　1本　A

信号柱　STKφ216.3*5.8*7700L　BP-2　　1本　B(支給品)

○移設機材

車両用灯器　横三位　L=2.5×2,L=2.5→L=2.0　3灯　1→1',2→2',3→3'

車両用灯器　矢印式　3灯　4→4',5→5',6→6'

歩行者用灯器　側柱式　L=0.5×1　1灯　7→7'

○撤去機材

信号柱　STKφ190.7*5.3*9000L　直管　　1本　a

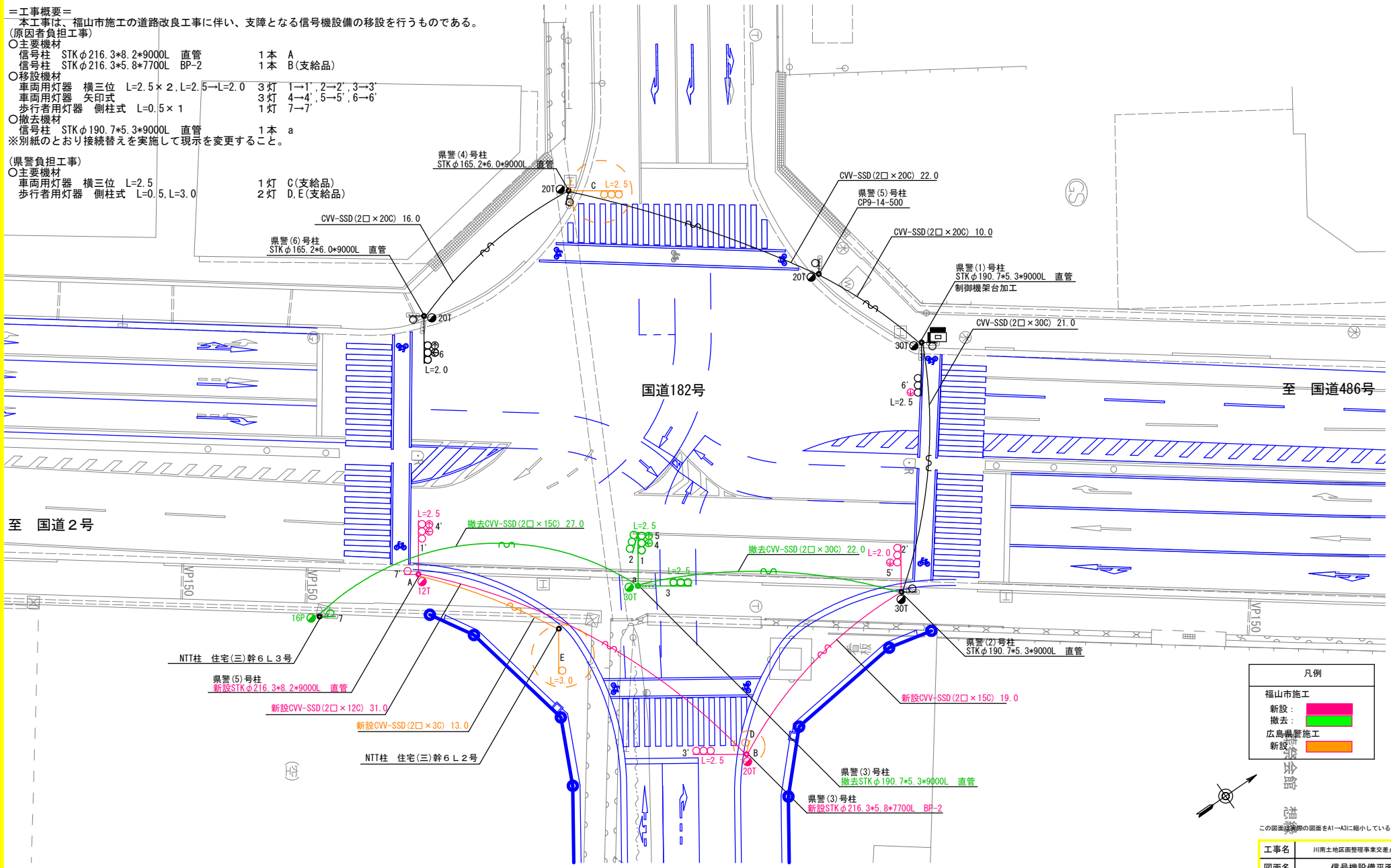
※別紙のとおり接続替えを実施して現示を変更すること。

(県警負担工事)

○主要機材

車両用灯器　横三位　L=2.5　1灯　C(支給品)

歩行者用灯器　側柱式　L=0.5,L=3.0　2灯　D,E(支給品)



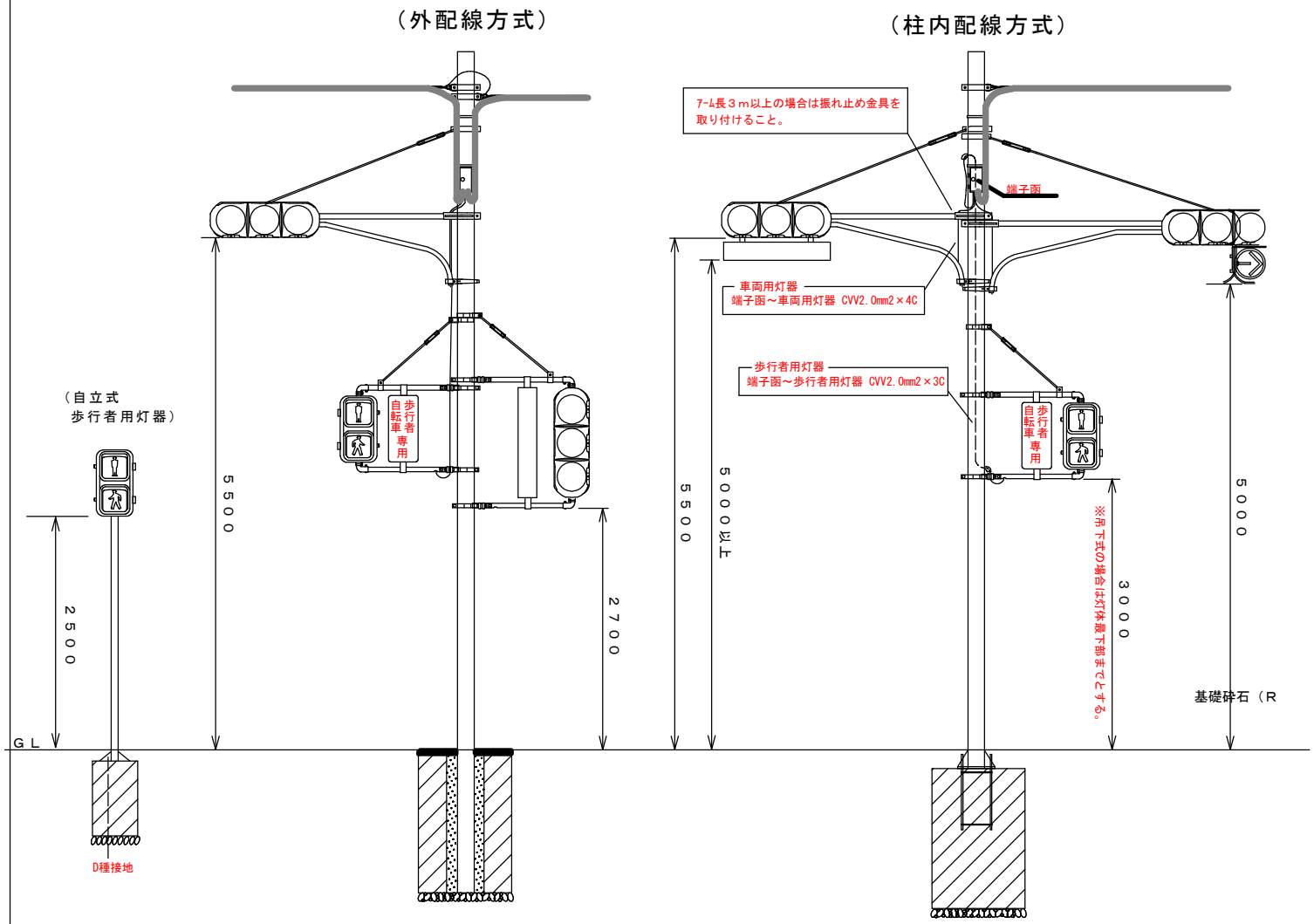
この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	信号機設備平面図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：150	図面番号	17 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

信号機設備構造図1

S=1/25

車両用信号灯器
歩行者用信号灯器設置図



この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	信号機設備構造図1		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：25	図面番号	18 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

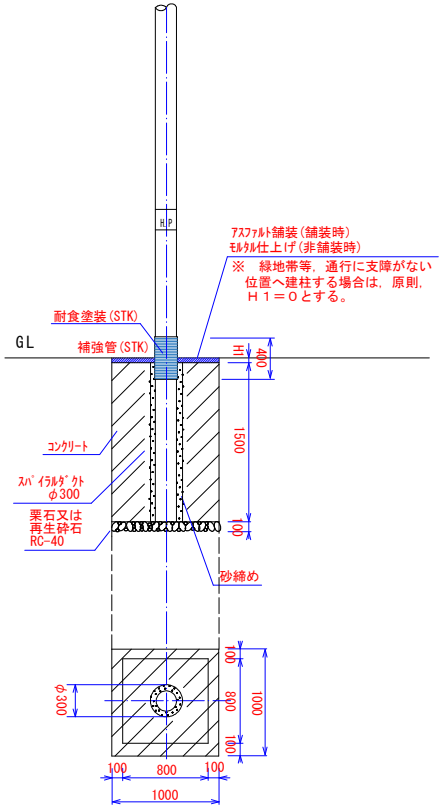
信号機設備構造図2

S=1/25

県警(5)号柱

専用柱基礎仕様図

直管用基礎



適用：CP9-14-500
STKφ165.2-9000L 直管
STKφ190.7-9000L 直管
STKφ216.3-9000L 直管

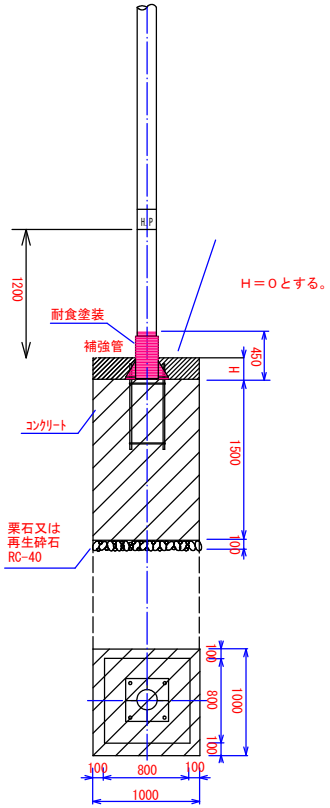
箇所当り

コンクリート 1.4m2
型枠 1.0*1.5*4＝6.0m2
基礎砕石 1*1=1.0m2
スパイラルダクト 1.5m

県警(3)号柱

専用柱基礎仕様図

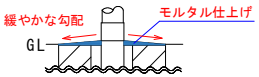
ベース式用基礎



適用：STKφ165.2 BP-1,2,4～6
STKφ190.7 BP-1,2,4～6
STKφ216.3 BP-1,2,4～6

箇所当り

コンクリート 1.5m2
型枠 1.0*1.5*4＝6.0m2
基礎砕石 1*1=1.0m2



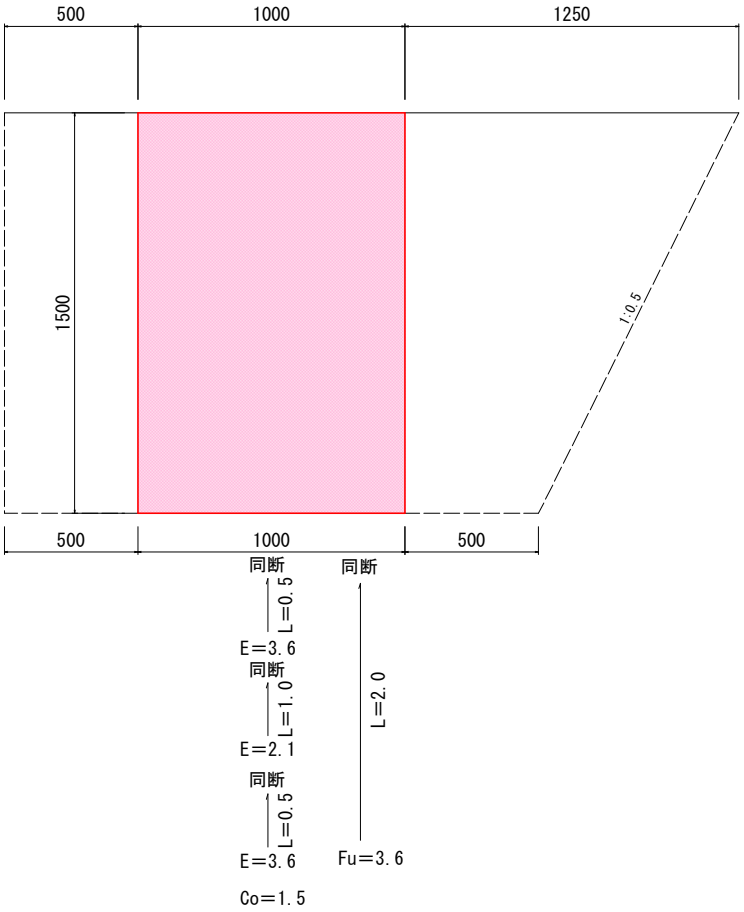
※ H-H1=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように，モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

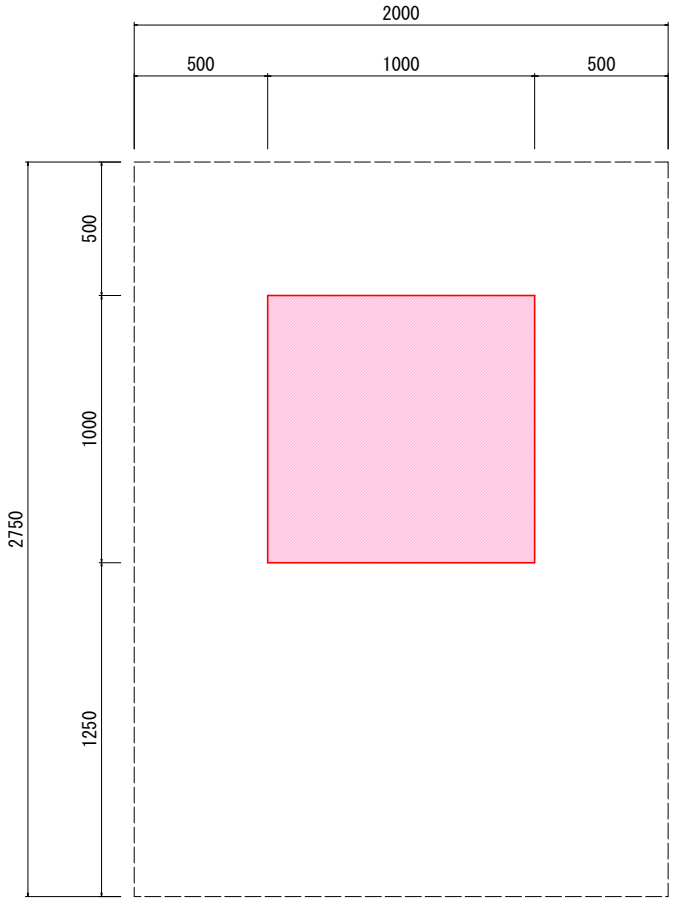
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	構造図2		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮 尺	1：25	図面番号	19 ／ 20
会社名			
事業者名	福 山 市		

信号基礎
S=1:10

断面図
県警（5）号柱



平面図
県警（5）号柱



舗装版切断　(2.0+2.75)*2=9.5m

舗装版破砕　2.0*2.75=5.5m2

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	構造物撤去詳細図		
作成年月日	2025 年 7 月		
縮　尺	1：10	図面番号	20 ／ 20
会社名			
事業者名	福　山　市		

参　考　図　書

施工単価表

掘削　　SPK24040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　m3　当り

機械構成比: 27.26%　労務構成比: 61.70%　材料構成比: 11.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,212.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬　SPK24040002　単第0 -0002　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り　距離5.5km以下(4.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 24.45%　労務構成比: 63.42%　材料構成比: 12.13%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,943.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26　距離5.5km以下(4.5km超)			B=5　バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2　DID区間有り		

施工単価表

コンクリート打設工　S1040011　単第0 -0003　表

防草コンクリート Co厚さ100mm　18-8-20BB　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.000	人			
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.200	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	12.100	m3			
諸雑費	3.0	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　施工幅 1.0m以下 C=1　- F=100　コンクリート厚さ(mm)			B=2　施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1　18-8-20BB G=1　-		

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0004　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.44%　労務構成比: 43.60%　材料構成比: 55.96%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,767.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.14%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	13.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 改質II型密粒度(20)	54.13%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0004　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.44%　労務構成比: 43.60%　材料構成比: 55.96%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,767.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=10　改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=1　PK-4 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

基層(車道・路肩部)　SPK24040239　単第0 -0005　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比:　0.49%　労務構成比:　48.59%　材料構成比:　50.92%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　2,484.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.27%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	21.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	15.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	48.88%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

基層(車道・路肩部)　SPK24040239　単第0 -0005　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.49%　労務構成比: 48.59%　材料構成比: 50.92%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,484.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8　再生粗粒度アスコン(20) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=1　PK-4 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第0 -0006　表

再生瀝青安定処理材　平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下　1　m2　当り

機械構成比: 0.33%　労務構成比: 36.80%　材料構成比: 62.87%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,867.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.19%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	18.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	10.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	59.34%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	3.35%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第0 -0006　表

再生瀝青安定処理材　平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下　1　m2　当り

機械構成比: 0.33%　労務構成比: 36.80%　材料構成比: 62.87%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,867.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2　再生瀝青安定処理材 D=90　1層当り平均仕上り厚(mm) H=1　-(全ての費用)			C=2　平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下 F=2　PK-3		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):90.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第0 -0007　表

RM-40　全仕上り厚150mm 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 9.88%　労務構成比: 33.13%　材料構成比: 56.99%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第0 -0007　表

RM-40　全仕上り厚150mm 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 9.88%　労務構成比: 33.13%　材料構成比: 56.99%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 40～0mm	53.57%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00009 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4　RM-40 H=1　-(全ての費用)			E=150　全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK24040232　単第0 -0008　表

全仕上り厚150㎜ 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比: 4.67%　労務構成比: 15.69%　材料構成比: 79.64%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK24040232　単第0 -0008　表

全仕上り厚150mm 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比: 4.67%　労務構成比: 15.69%　材料構成比: 79.64%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 40～0mm	78.02%		クラッシャラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=4　RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

床掘り　　SPK24040015　　単第0 -0009　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.87%　労務構成比: 72.99%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　SPK24040020　単第0 -0010　表

土砂　上記以外(小規模)　1　m3　当り

機械構成比:　9.48%　労務構成比:　86.47%　材料構成比:　4.05%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　3,871.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　SPK24040020　単第0 -0010　表

土砂　上記以外(小規模)　1　m3　当り

機械構成比: 9.48%　労務構成比: 86.47%　材料構成比: 4.05%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,871.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

1号境界ブロック　　V0000000001　　単第0 -0011　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 設置 基礎砕石無し	10	m			単第0-0012　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.475	m3			単第0-0013　表
型枠 一般型枠 小型構造物	3.2	m2			単第0-0014　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 砕石(各種)	4.55	m2			単第0-0015　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

歩車道境界ブロック　SPK24040287　単第0 -0012　表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R　設置 基礎砕石無し　1　m　当り

機械構成比: 2.39%　労務構成比: 57.61%　材料構成比: 40.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 5,545.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.39%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	22.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	20.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	12.12%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜片面R,参考質量68kg	39.27%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPC00102 TTPT00102
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1　設置 E=2　基礎砕石無し			B=2　B種(180/205×250×600) 片斜片面R F=4　生コンクリート無し		

施工単価表

歩車道境界ブロック　SPK24040287　単第0 -0012　表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R　設置 基礎砕石無し　1　m　当り

機械構成比: 2.39%　労務構成比: 57.61%　材料構成比: 40.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 5,545.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第0 -0013　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 42.01%　材料構成比: 57.99%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 33,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　SPK24040155　単第0 -0014　表

一般型枠　小型構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0015　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　砕石(各種)　1　m2　当り

機械構成比:　5.58%　労務構成比:　77.45%　材料構成比:　16.97%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
RC-30	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000000047 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0015　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　砕石(各種)　1　m2　当り

機械構成比: 5.58%　労務構成比: 77.45%　材料構成比: 16.97%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 C=47　【F】砕石(m3)			B=3　砕石(各種) D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0016　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=1　実線_15cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0016　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0017　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
路面標示用塗料(JISK5665_3種1号) 溶融,鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15～18%_黄	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=1　実線_15cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=2　黄色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0017　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0018　表

破線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	46.200	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=5　破線_15cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0018　表

破線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0019　表

ゼブラ_45cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	93.450	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=12　ゼブラ_45cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0019　表

ゼブラ_45cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0020　表

破線_45cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	84.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=8　破線_45cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0020　表

破線_45cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0021　表

矢印・記号・文字_15cm換算　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=13　矢印・記号・文字_15cm換算 E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0021　表

矢印・記号・文字_15cm換算　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線消去(削り取り式)　SDT00005　単第0 -0022　表

1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_区画線消去【手間のみ】 削り取り式_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	62.000	L			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	35.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　夜間施工 C=1　-			B=1　時間的制約なし D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

道路照明灯建込工　S2600　単第0 -0023　表

重量 350kg以下　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	5.000	人			
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.000	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.700	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　重量 350kg以下			B=1　設置		

施工単価表

照明柱基礎設置工　　V0000000032　　単第0 -0024　表

1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎掘削及びスパイラルダクト立込 照明灯基礎　500φ2.0m以下	1	基			単第0-0025　表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			単第0-0027　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 砕石(各種)	0.3	m2			単第0-0028　表
スパイラルダクト（亜鉛めっき） φ500　厚み0.6	2.0	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

基礎掘削及びスパイラルダクト立込　　V0000000003　　単第0 -0025　表

照明灯基礎　500φ2.0m以下　　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機-4_モンケン・アースオーガ運転 オーガ出力30kW2t	7	時間			単第0-0026　表
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.9	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

機-4_モンケン・アースオーガ運転　S9115　単第0 -0026　表

オーガ出力30kW2t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.60	L			
クローラ式杭打機(単体+ベースマシン) モンケン及びアースオーガ併用・直結三点 モン2tオーガ径φ320～600mm長14.5～15.5m	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=1　オーガ出力30kW2t			B=2	発動発電機を電源とする場合	

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第0 -0027　表

小型構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.69%　労務構成比: 37.88%　材料構成比: 58.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 34,650.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第0 -0027　表

小型構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.69%　労務構成比: 37.88%　材料構成比: 58.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 34,650.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0028　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　砕石(各種)　1　m2　当り

機械構成比:　5.58%　労務構成比:　77.45%　材料構成比:　16.97%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
RC-30	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000000031 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0028　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　砕石(各種)　1　m2　当り

機械構成比: 5.58%　労務構成比: 77.45%　材料構成比: 16.97%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 C=31　【F】砕石(m3)			B=3　砕石(各種) D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

案内標識補修　　V0000000037　　単第0 -0029　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
案内標識補修	5	箇所			単第0-0030　表
補修シート 420*600　HIP	4	枚			
補修シート 360*545　HIP	4	枚			
補修シート 610*740　HIP	1	枚			
補修シート 115*400　HIP	1	枚			
補修シート 610*1110	1	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

案内標識補修　　V0000000038　　単第0 -0030　表

5　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1	人			
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2	人			
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1	人			
高所作業車 作業床高12m	1	日			単第0-0031　表
雑費	10	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	5	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

高所作業車　　V0000000039　　単第0 -0031　表

作業床高12m　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	28.8	L			
高所作業車損料	1	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0032　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　夜間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

舗装版切断　SPK24040306　単第0 -0033　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.42%　労務構成比: 57.13%　材料構成比: 27.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　SPK24040306　単第0 -0033　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.42%　労務構成比: 57.13%　材料構成比: 27.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

殻運搬　SPK24040151　単第0 -0034　表

Co(無筋)構造物とりこわし　DID区間有り　運搬距離14.4km以下(10.9km超)　1　m3　当り

機械構成比:　41.69%　労務構成比:　43.88%　材料構成比:　14.43%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,348.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=50　運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去　SS000127　単第0 -0035　表

コンクリート建込　Am,Bm(支柱間隔2m)　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
標準型・撤去【手間のみ】 コンクリート建込 Am,Bm(支柱間隔2m)	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　コンクリート建込 C=1　-			B=7　Am,Bm(支柱間隔2m) D=2　夜間作業		

施工単価表

歩車道境界ブロック撤去　SPK24040289　単第0 -0036　表

処分　1　m　当り

機械構成比:　4.45%　労務構成比:　93.95%　材料構成比:　1.60%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　752.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.45%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	47.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.20%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	18.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　処分					

施工単価表

道路照明灯撤去工　S2600　単第0 -0037　表

重量 350kg以下　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.500	人			5*0.5
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.000	人			4*0.5
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	0.850	日			1.7*0.5
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　重量 350kg以下			B=2　撤去		

施工単価表

照明基礎撤去　　V0000000005　　単第0 -0038　表

照明灯基礎　500φ2.0m以下　　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.5	m3			単第0-0039　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0039　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　夜間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0040　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 9.47%　材料構成比: 89.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0040　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 9.47%　材料構成比: 89.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4　平均幅員3.0m超 C=6　再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK24040244　単第0 -0041　表

平均幅員1.4m以上　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 2.34%　労務構成比: 20.36%　材料構成比: 77.30%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,657.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	1.76%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.33%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	7.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	69.11%		細粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00025 TTPT00294

施工単価表

表層(歩道部)　SPK24040244　単第0 -0041　表

平均幅員1.4m以上　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 2.34%　労務構成比: 20.36%　材料構成比: 77.30%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,657.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.82%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3　平均幅員1.4m以上 C=10　再生細粒度アスファルト混合物(13) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=30　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0042　表

実線_15cm　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	37.800	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=1　実線_15cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=2　未供用区間に施工する場合 J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0042　表

実線_15cm　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0043　表

ゼブラ_45cm　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	85.050	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=12　ゼブラ_45cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=2　未供用区間に施工する場合 J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0043　表

ゼブラ_45cm　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0044　表

矢印・記号・文字_15cm換算　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	95.550	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=13　矢印・記号・文字_15cm換算 E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=2　未供用区間に施工する場合 J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0044　表

矢印・記号・文字_15cm換算　神辺駅御幸線　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

舗装版破砕　SPK24040305　単第0 -0045　表

アスファルト舗装版　障害等無し 舗装版厚15cm以下　1　m2　当り

機械構成比: 13.49%　労務構成比: 80.49%　材料構成比: 6.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬　SPK24040151　単第0 -0046　表

舗装版破砕　DID区間有り　運搬距離19.5km以下(10.5km超)　1　m3　当り

機械構成比:　44.95%　労務構成比:　38.97%　材料構成比:　16.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,707.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=3　機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57　運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

土砂等運搬　SPK24040002　単第0 -0047　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離28.5km以下(17.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 45.59%　労務構成比: 39.52%　材料構成比: 14.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,570.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=47 距離28.5km以下(17.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

交通信号装置据付工　　V0000000013　　単第0 -0048　表

県警（1）号柱　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0049　表 2台目以降
交通信号装置調整（制御器） 各種	1	台			単第0-0051　表 1台目
交通信号装置調整（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0052　表 2台目以降
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

交通信号装置据付（車両灯器）　V0000000011　単第0 -0049　表

矢印　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.308	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.315	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

高所作業車　　V0000000009　　単第0 -0050　表

作業高さ12m　　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.2	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.6	L			
機械損料 高所作業車　作業高さ12m	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			

施工単価表

交通信号装置調整（制御器）　V0000000033　単第0 -0051　表

各種　1台目　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電気通信技術員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1	人			
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置調整（車両灯器）　V0000000019　単第0 -0052　表

矢印　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.088	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置据付工　　V0000000014　　単第0 -0053　表

県警（2）号柱　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付（車両灯器） 横三位 片面用	1	台			単第0-0054　表 2台目以降
交通信号装置据付（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0049　表 2台目以降
交通信号装置調整（車両灯器） 横三位　片面用	1	台			単第0-0055　表 2台目以降
交通信号装置調整（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0052　表 2台目以降
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

交通信号装置据付（車両灯器）　V0000000010　単第0 -0054　表

横三位　片面用　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.616	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.63	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置調整（車両灯器）　V0000000021　単第0 -0055　表

横三位　片面用　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.175	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置据付工　　V0000000015　　単第0 -0056　表

県警（3）号柱　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱基礎設置 ベース型　1.0*1.0*1.5	1	基			単第0-0057　表
信号柱建込工 重量 350kg以下	1	基			単第0-0061　表
交通信号装置据付（車両灯器） 横三位 片面用	1	台			単第0-0054　表 2台目以降
交通信号装置調整（車両灯器） 横三位　片面用	1	台			単第0-0055　表 2台目以降
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

信号柱基礎設置　　V0000000007　　単第0 -0057　表

ベース型　1.0*1.0*1.5　　1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.5	m3			単第0-0058　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6	m2			単第0-0059　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1	m2			単第0-0060　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第0 -0058　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 29.40%　材料構成比: 70.60%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　SPK24040155　単第0 -0059　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0060　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.58%　労務構成比:　77.45%　材料構成比:　16.97%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK24040034　単第0 -0060　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.58%　労務構成比:　77.45%　材料構成比:　16.97%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

信号柱建込工　S2600　単第0 -0061　表

重量 350kg以下　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	5.000	人			
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.000	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.700	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　重量 350kg以下			B=1　設置		

施工単価表

交通信号装置据付工　　V0000000017　　単第0 -0062　表

県警（5）号柱　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱基礎設置 B型　1.0*1.0*1.5（砂じめ方式）	1	基			単第0-0063　表
信号柱建込工 重量 350kg超1,000kg以下	1	基			単第0-0064　表
交通信号装置据付（車両灯器） 横三位 片面用	1	台			単第0-0065　表 1台目
交通信号装置据付（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0049　表 2台目以降
交通信号装置据付（歩行者灯器）	1	台			単第0-0066　表 2台目以降
交通信号装置調整（車両灯器） 横三位　片面用	1	台			単第0-0067　表 1台目
交通信号装置調整（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0052　表 2台目以降
交通信号装置調整（歩行者灯器） 側柱式　L=0.5*1	1	台			単第0-0068　表 2台目以降
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

信号柱基礎設置　　V0000000006　　単第0 -0063　表

B型　1.0*1.0*1.5（砂じめ方式）　　1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.4	m3			単第0-0058　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6	m2			単第0-0059　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1	m2			単第0-0060　表
スパイラルダクト（亜鉛めっき） φ300　厚み0.6	1.5	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

信号柱建込工　S2600　単第0 -0064　表

重量 350kg超1,000kg以下　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	6.000	人			
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.800	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.900	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=2　重量 350kg超1,000kg以下			B=1　設置		

施工単価表

交通信号装置据付（車両灯器）　V0000000008　単第0 -0065　表

横三位　片面用　1台目　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.88	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.9	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置据付（歩行者灯器）　V0000000012　単第0 -0066　表

2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.434	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置調整（車両灯器）　V0000000018　単第0 -0067　表

横三位　片面用　1台目　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.25	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置調整（歩行者灯器）　V0000000020　単第0 -0068　表

側柱式　L=0.5*1　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.175	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

通信ケーブル配線設置　V0000000022　単第0 -0069　表

自己支持型ケーブル　外径20㎜以下　CVV-SSD　2*12C　1　径間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.785	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	径間			

施工単価表

通信ケーブル配線設置　V0000000023　単第0 -0070　表

自己支持型ケーブル　外径20㎜以下　CVV-SSD　2*15C　1　径間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.785	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	径間			

施工単価表

通信ケーブル（中間接続）　V0000000034　単第0 -0071　表

10P　0.5～0.9㎜　12T　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.2	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

通信ケーブル（中間接続）　V0000000035　単第0 -0072　表

20P　0.5～0.9㎜　20T　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.6	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

交通信号装置撤去工　　V0000000024　　単第0 -0073　表

県警（3）号柱　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	10	m			単第0-0033　表
舗装版破砕積込(小規模土工)	6	m2			単第0-0074　表
交通信号装置撤去（車両灯器） 横三位 両面用	1	台			単第0-0075　表 1台目
交通信号装置撤去（車両灯器） 横三位 片面用	1	台			単第0-0076　表 2台目以降
交通信号装置撤去（車両灯器） 矢印	1	台			単第0-0077　表 2台目以降
信号柱撤去工 重量 350kg以下	1	基			単第0-0078　表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	1.5	m3			単第0-0039　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　SPK24040018　単第0 -0074　表

1　m2　当り

機械構成比:　20.80%　労務構成比:　71.28%　材料構成比:　7.92%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

交通信号装置撤去（車両灯器）　V0000000025　単第0 -0075　表

横三位　両面用　1台目　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.6	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.45	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置撤去（車両灯器）　V0000000026　単第0 -0076　表

横三位　片面用　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.308	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.315	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

交通信号装置撤去（車両灯器）　V0000000027　単第0 -0077　表

矢印　2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.154	人			
高所作業車 作業高さ12m	0.158	時間			単第0-0050　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

信号柱撤去工　S2600　単第0 -0078　表

重量 350kg以下　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.500	人			5*0.5
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.000	人			4*0.5
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	0.850	日			1.7*0.5
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　重量 350kg以下			B=2　撤去		

施工単価表

交通信号装置撤去（歩行者灯器）　V0000000028　単第0 -0079　表

2台目以降　1　台　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.217	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	台			

施工単価表

通信ケーブル配線撤去　V0000000029　単第0 -0080　表

自己支持型ケーブル　外径20㎜以下　CVV-SSD　2*15C　1　径間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.893	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	径間			

施工単価表

通信ケーブル配線撤去　V0000000030　単第0 -0081　表

自己支持型ケーブル　外径30㎜以下　CVV-SSD　2*30C　1　径間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.4	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	径間			

施工単価表

通信ケーブル（中間接続）撤去　V0000000036　単第0 -0082　表

30P　0.5～0.9㎜　30T　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.05	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

材料費　　V0000000031　　単第0 -0083　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱（鋼管柱） STKφ216.3-8.2t-9000L　直管	1	本			
鋼管柱耐食塗装費 直管φ165.2～216.3　高さ400㎜	1	式			
アンカーボルト（216.3φ用） 4-M28-700L　頭部メッキ　BP1～9	1	組			
アンカーボルト保護キャップ φ165.2φ190.7BP用	1	式			
端子函（屋外用差込式） 12T	1	個			
端子函（屋外用差込式） 20T	1	個			
CVV 線心数4心,公称断面積2mm2	10	m			
CVV 線心数6心,公称断面積2mm2	20	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD　2.0-12C	37	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD　2.0-15C	25	m			
自在バンド（ケーブル引留） 4BD-HD-17（170～265）	1	本			
自在バンド（ケーブル引留） 4BD-HD-23（230～325）	3	本			

施工単価表

材料費　V0000000031　単第0 -0083　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーブル支持金物 SFT-208付	6	本			
ワイヤーシンプル 丸形（18mm）	4	個			
巻付グリップ シンプル用（18mm）	4	個			
車両灯器用アーム L=2.0　主、補助アーム、ターンバックル付	1	組			
車両灯器用アーム L=2.5　主、補助アーム、ターンバックル付	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP19/φ190	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP21/φ216	2	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-2S　170～220	1	組			
歩行者灯器用アーム L=0.5	1	組			
車灯固定金具 片面用　TAF-S	3	組			
灯器取付金具 矢印用	3	組			
電柱札 鋼管柱用	2	枚			

施工単価表

材料費　　V0000000031　　単第0 -0083　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管柱用反射シート HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	2	枚			
消耗雑材品	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

殻運搬　SPK24040151　単第0 -0084　表

舗装版破砕　DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)　As殻　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 5,232.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=31　運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

施工単価表

殻運搬　SPK24040151　単第0 -0085　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)　Co殻　1　m3　当り

機械構成比:　41.69%　労務構成比:　43.88%　材料構成比:　14.43%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,910.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=50　運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

数量総括表

川南土地区画整理事業交差点改良工事

工　種	種　別	細　目	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘　要
道路改良						
道路土工						
	掘削工					
	土　砂		m3	14.6	10	
	残土処理工					
	土砂等運搬	砂質土	m3	25.8	30	
	処分費	砂質土	m3	25.8	30	
コンクリート工						
	張りコンクリート工	1号張りコンクリート	m2	17.8	18	t=10cm
舗装工						
	アスファルト舗装工					
	車道部					
	表層	再生改質Ⅱ型密粒度As	m2	31.7	32	t ＝5cm
	基層	再生粗粒度As	m2	31.7	32	t ＝5cm
	上層路盤	瀝青安定処理材	m2	31.7	32	t ＝9cm
	上層路盤	再生粒度調整砕石RM-40	m2	31.7	32	t ＝15cm
	下層路盤	再生切込砕石RC-40	m2	37.3	37	t ＝15cm
付属施設工						
	作業土工					
	床掘	砂質土	m3	17.8	20	
	埋戻	種別（D）	m3	5.9	6	
	縁石工	1号境界ブロック	m	59.2	59	
	区画線工					
	区画線設置	溶融式区画線・手動 供用区間				
		実線・白色	m	741.9	740	W=15cm
		実線・黄色	m	60.0	60	W=15cm
		破線・白色	m	249.7	250	W=15cm
		実線・ゼブラ	m	424.5	420	W=45cm
		破線・白色	m	8.6	9	W=45cm
		矢印・記号	m	146.9	150	W=15cm換算
	区画線消去		m	1916.7	1,917	W=15cm換算
	道路照明灯建柱		基	1	1	平面図より
	案内標識版補修		式	1	1	案内標識位置図より

数量総括表

交差点設計業務（川南土地区画整理事業）

工　種	種　別	細　目	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘　要
構造物撤去工						
	構造物取壊し工					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物	m3	5.9	6	
	舗装版切断	t=15cm未満	m	60.3	60	
	殻運搬処理	コンクリート	m3	8.7	9	
	〃		t	20.4	20	
	道路施設撤去工					
	防護・防止柵撤去		m	12.7	13	
	境界ブロック撤去工		m	59.2	59	
	鉄処分費	12.7*19.5*0.5/1000	t	0.1	0.1	
	照明灯撤去		基	1	1	
	照明灯基礎撤去		基	1	1	

道路改良

道　路　土　工　　数　量　集　計　表

工　種 （レベル２）	種　別 （レベル３）	細　目 （レベル４）	規　格 （レベル５）	単位	数　量	摘　要
道路土工						
	掘削工					
		掘削（土砂）		m3	14.6	
	残土処理工					
		土砂等運搬	土　砂	m3	25.8	
		処分費	土　砂	m3	25.8	

計第　　表　　土　量　配　分　表

工　種	種　別	細　目	記号	単位	立積			流用計画
道路土工								
	掘削工							
	掘削（土砂）		C1(SE)	m3	14.6			
		土砂　計		m3	14.6			14.6
	作業土工							
	床　掘	土砂	E(SE)	m3	17.8			6.6　11.2
							6.6×0.9	
	埋　戻		Fu	m3	5.9			
残土処理								
							14.6+11.2	
	残　土	土　砂		m3	25.8			

計　第　　表　　作　業　土　工　　集　計　表

名　　称	床　掘		埋　戻			基面整正
		砂質土	（C）	（D）		
付属施設工		17.8		5.9		17.8
合　　計	0.0	17.8	0.0	5.9	0.0	17.8

計　第　　表　　掘　削　工　　計　算　書

測　点	掘削（土砂） 距　離	C1(SE)	平　均	立　積	距　離		平　均	立　積
		0.3						
NO.-4+12.4	12.7	0.3	0.30	3.8				
	14.9	0.3	0.30	4.5				
		0.2						
NO.4+9.7	25.4	0.2	0.20	5.1				
	6.2	0.2	0.20	1.2				
合　計				14.6				0.0

計　第　　表　　計　算　書

測　点	距　離		平　均	立　積	距　離		平　均	立　積
合　計				0.0				0.0

道路改良

コンクリート工　　数量集計表

工種（レベル２）	種別（レベル３）	細目（レベル４）	規格（レベル５）	単位	数量	摘要
コンクリート工						
	張りコンクリート工	1号張りコンクリート		m2	17.8	t=10cm

計　第　　表　　張りコンクリート工　　計　算　書

測　点	1号張りコンクリート 距　離	L(C)	平　均	平　積	距　離		平　均	立　積
		0.3						
NO.-4+12.4	12.7	0.3	0.30	3.8				
	14.9	0.3	0.30	4.5				
		0.3						
NO.4+9.7	25.4	0.3	0.30	7.6				
	6.2	0.3	0.30	1.9				
合　計				17.8				0.0

計　第　　表　　計　算　書

測　点	距　離		平　均	立　積	距　離		平　均	立　積
合　計				0.0				0.0

道路改良

舗　　装　　工　　数　量　集　計　表

工　種 （レベル２）	種　別 （レベル３）	細　目 （レベル４）	規　格 （レベル５）	単位	数　量	摘　要
舗装工						
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工					
		車道部				
		表　層	再生改質Ⅱ型密粒度As	m2	31.7	t＝5cm
		基　層	再生粗粒度As	m2	31.7	t＝5cm
		上層路盤	瀝青安定処理材	m2	31.7	t＝9cm
		上層路盤	再生粒度調整砕石RM-40	m2	31.7	t＝15cm
		下層路盤	再生切込砕石RC-40	m2	37.3	t＝15cm

計　第　　表　　車道舗装(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装)　計　算　書

		表層			基層					
測　　点	距　離	W1	平　均	平　積	W2	平　均	平　積			
		0.60			0.60					
NO.-4+12.4	12.7	0.60	0.60	7.6	0.60	0.60	7.6			
	14.9	0.60	0.60	8.9	0.60	0.60	8.9			
		0.50			0.50					
NO.4+9.7	25.4	0.50	0.50	12.7	0.50	0.50	12.7			
	6.2	0.30	0.40	2.5	0.30	0.40	2.5			
合　　計				31.7			31.7			

		上層路盤			上層路盤			下層路盤		
測　　点	距　離	W3	平　均	平　積	W4	平　均	平　積	W5	平　均	平　積
		0.60			0.60			0.70		
NO.-4+12.4	12.7	0.60	0.60	7.6	0.60	0.60	7.6	0.70	0.70	8.9
	14.9	0.60	0.60	8.9	0.60	0.60	8.9	0.70	0.70	10.4
		0.50			0.50			0.60		
NO.4+9.7	25.4	0.50	0.50	12.7	0.50	0.50	12.7	0.60	0.60	15.2
	6.2	0.30	0.40	2.5	0.30	0.40	2.5	0.30	0.45	2.8
合　　計				31.7			31.7			37.3

道路改良

付　属　施　設　工　　数　量　集　計　表

工　種 （レベル２）	種　別 （レベル３）	細　目 （レベル４）	規　格 （レベル５）	単位	数　量	摘　要
付属施設工						
	作業土工					
		床掘	砂質土	m3	17.8	
		埋戻	種別（D）	m3	5.9	
		基面整正		m2	17.8	
	縁石工	1号境界ブロック		m	59.2	
	区画線工					
	区画線設置	溶融式区画線・手動 供用区間				
		実線・白色	W=15cm	m	741.9	
		実線・黄色	W=15cm	m	60.0	
		破線・白色	W=15cm	m	249.7	
		実線・ゼブラ	W=45cm	m	424.5	
		破線・白色	W=45cm	m	8.6	
		矢印・記号	W=15cm換算	m	146.9	
	区画線消去		W=15cm換算	m	1916.7	

作　業　土　工
（付属施設工）

計　第　　表　　計　算　書

測　点	床掘（砂質土） 距　離	E(SE)	平　均	立　積	埋め戻し　W1<1m 距　離	Fu(D)	平　均	立　積
		0.3				0.1		
NO.-4+12.4	12.7	0.3	0.30	3.8	12.7	0.1	0.10	1.3
	14.9	0.3	0.30	4.5	14.9	0.1	0.10	1.5
		0.3				0.1		
NO.4+9.7	25.4	0.3	0.30	7.6	25.4	0.1	0.10	2.5
	6.2	0.3	0.30	1.9	6.2	0.1	0.10	0.6
合　計				17.8				5.9

計　第　　表　　計　算　書

測　点	基面整正 距　離	K	平　均	平　積	距　離		平　均	立　積
		0.3						
NO.-4+12.4	12.7	0.3	0.30	3.8				
	14.9	0.3	0.30	4.5				
		0.3						
NO.4+9.7	25.4	0.3	0.30	7.6				
	6.2	0.3	0.30	1.9				
合　計				17.8				0.0

計第　　表　　1号境界ブロック			延　　長　　調　　書		
			右　　側		
測　　点	延　長	摘　要	測　　点	延　長	摘　要
			NO.-5+19.7 ～ NO.-3+7.3	27.6	
			NO.3+4.3 ～ NO.4+15.8	31.6	
左側合計	0.0		右側合計	59.2	
左右合計	59.2				

計第　　表			延　　長　　調　　書		
左　　側			右　　側		
測　　点	延　長	摘　要	測　　点	延　長	摘　要
左側合計	0.0		右側合計	0.0	
左右合計	0.0				

構造物位置及延長（箇所）調書　供用区間

溶融式区画線(実線・白色・W=15cm)

測　　点　（左　側）	延長(箇所)	測　　点　（右　側）	延長(箇所)
外側線		外側線	
NO.　-4 ＋ 12.4 ～ -2 ＋ 12.4	42.1	NO.　-5 ＋ 3.0 ～ -2 ＋ 14.3	70.8
NO.　-2 ＋ 18.3 ～ -1 ＋ 14.0	23.1	NO.　-2 ＋ 18.3 ～ -1 ＋ 12.5	18.7
NO.　0 ＋ 3.6 ～ 1 ＋ 3.7	27.7	NO.　0 ＋ 9.4 ～ 1 ＋ 3.7	16.8
NO.　1 ＋ 7.7 ～ 3 ＋ 15.0	47.3	NO.　1 ＋ 7.7 ～ 5 ＋ 16.6	92.4
		NO.　6 ＋ 0.7 ～ 6 ＋ 19.7	22.7
		車線境界線	
		NO.　1 ＋ 9.7 ～ 2 ＋ 19.7	30.0
		NO.　1 ＋ 9.7 ～ 2 ＋ 19.7	30.0
		中央線	
		NO.　-6 ＋ 2.5 ～ -1 ＋ 10.4	187.4
		NO.　0 ＋ 11.8 ～ 6 ＋ 19.7	132.9
計	140.2	計	601.7
		合　計	741.9

溶融式区画線(実線・黄色・W=15cm)

測　　点　（左　側）	延長(箇所)	測　　点　（右　側）	延長(箇所)
車線境界線			
NO.　-3 ＋ 17.6 ～ -2 ＋ 12.4	30.0		
車線境界線			
NO.　-3 ＋ 17.6 ～ -2 ＋ 12.4	30.0		
計	60.0	計	0.0
		合　計	60.0

溶融式区画線(破線・白色・W=15cm)			
測　　点　(左　側)	延長(箇所)	測　　点　(右　側)	延長(箇所)
車線境界線		車線境界線	
NO.　-4 ＋ 12.4 ～　-4 ＋ 7.8	4.6	NO.　-5 ＋ 7.1 ～　-2 ＋ 11.7	34.3
NO.　-4 ＋ 12.4 ～　-4 ＋ 7.9	4.5	NO.　3 ＋ 5.0 ～　4 ＋ 9.7	15.0
NO.　1 ＋ 7.7 ～　3 ＋ 12.5	25.0	NO.　3 ＋ 5.0 ～　6 ＋ 19.7	40.0
導流標示		導流標示	
NO.　-1 ＋ 5.4 ～　-1 ＋ 15.8	6.0	NO.　-1 ＋ 3.2 ～　-1 ＋ 14.2	6.0
NO.　-2 ＋ 18.7 ～　-1 ＋ 17.0	10.0	NO.　-2 ＋ 19.2 ～　-1 ＋ 14.2	8.0
NO.　-2 ＋ 18.7 ～　-1 ＋ 13.7	8.0	NO.　-1 ＋ 14.3 付近	4.0
NO.　-1 ＋ 14.3 付近	5.0	NO.　-1 ＋ 17.4 付近	6.0
NO.　-1 ＋ 17.6 付近	3.0	NO.　0 ＋ 0.4 付近	6.0
NO.　-1 ＋ 18.1 付近	7.0	NO.　0 ＋ 3.3 付近	4.0
NO.　0　付近	2.2	NO.　0 ＋ 6.4 付近	4.0
NO.　0 ＋ 1.1 付近	7.0	NO.　0 ＋ 4.4 ～　0 ＋ 16.7	6.6
NO.　0 ＋ 1.5 付近	3.0	NO.　0 ＋ 2.9 ～　1 ＋ 3.1	10.5
NO.　0 ＋ 4.5 付近	5.0	NO.　0 ＋ 8.0 ～　1 ＋ 3.1	8.0
NO.　0 ＋ 16.7 ～　1 ＋ 1.7	3.0		
NO.　0 ＋ 16.3 ～　1 ＋ 3.3	4.0		
計	97.3	計	152.4
		合　計	249.7

溶融式区画線(実線・ゼブラ・W=45cm)			
測　　点　(左　側)	延長(箇所)	測　　点　(右　側)	延長(箇所)
ゼブラ		ゼブラ	
NO.　0 ＋ 13.7 ～　3 ＋ 13.6	47.9	NO.　-6 ＋ 12.3 ～　-1 ＋ 9.9	106.4
停止線		停止線	
NO.　-2 ＋ 12.4　付近	8.9	NO.　1 ＋ 9.7　付近	9.0
		横断歩道	
		NO.　-2 ＋ 16.3　付近	88.0
		NO.　0　付近	76.3
		NO.　1 ＋ 5.7　付近	88.0
計	56.8	計	367.7
		合　計	424.5

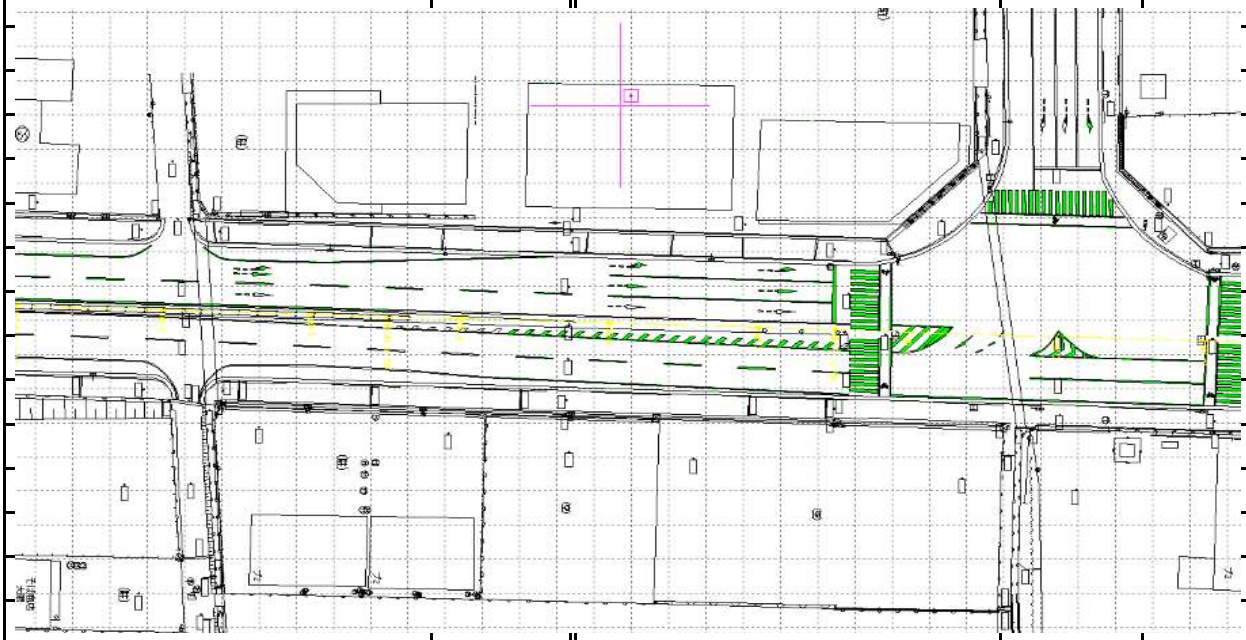
溶融式区画線(破線・白線・W=45cm)			
測　　点　(左　側)	延長(箇所)	測　　点　(右　側)	延長(箇所)
待機位置			
NO.　-1 ＋ 16.6　付近	1.8	NO.　-1 ＋ 18.8　付近	1.4
NO.　0 ＋　付近	1.8	NO.　0 ＋ 1.7　付近	1.8
		NO.　0 ＋ 3.2　付近	1.8
計	3.6	計	5.0
		合　計	8.6

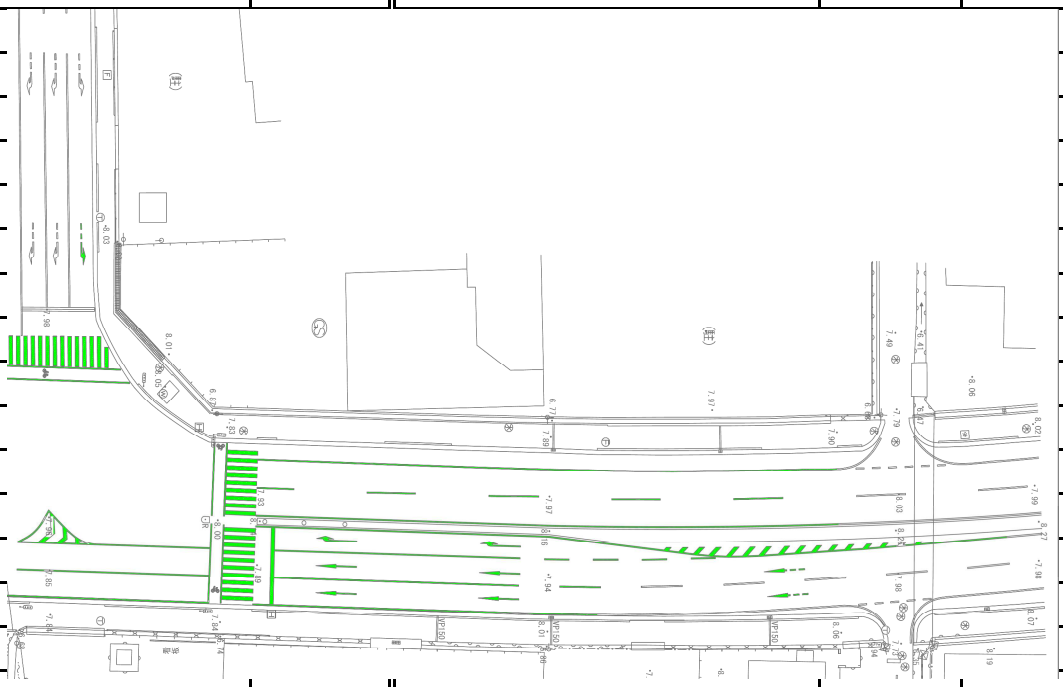
溶融式区画線(矢印・記号・W=15cm換算)			
測　　点　(左　側)	延長(箇所)	測　　点　(右　側)	延長(箇所)
矢印		矢印	
NO.　-5 ＋ 7.7 ～　-5 ＋ 12.8		NO.　1 ＋ 15.2 ～　4 ＋ 9.7	
直進・破線(1箇所)		直進・実線(2箇所)	
0.765/0.15	5.1	(0.938/0.15)×2.0	12.5
右折・破線(1箇所)			
0.850/0.15	5.7		
直進左折・破線(1箇所)		直進左折・実線(2箇所)	
1.175/0.15	7.8	(1.339/0.15)×2.0	17.9
NO.　-3 ＋ 1.9 ～　-2 ＋ 6.9		NO.　4 ＋ 4.7 ～　5 ＋ 12.5	
直進・実線(2箇所)		直進・破線(2箇所)	
(0.938/0.15)×2.0	12.5	(0.765/0.15)×2.0	10.2
右折・実線(2箇所)			
(1.002/0.15)×2.0	13.4		
直進左折・実線(2箇所)		直進左折・破線(2箇所)	
(1.339/0.15)×2.0	17.9	(1.175/0.15)×2.0	15.7
		NO.　0　付近	
		直進・実線(1箇所)	
		0.375/0.15	2.5
		矢印（西側）	
		NO.　-1 ＋ 16.7　付近	
		直進左折・実線(2箇所)	
		(1.339/0.15) ×2.0	17.9
		NO.　-1 ＋ 16.7　付近	
		直進左折・破線	
		1.175/0.15	7.8
計	62.4	計	84.5
		合　計	146.9

構造物位置及延長（箇所）調書

区画線消去(W=15cm換算)

測　　点	延長(箇所)	測　　点	延長(箇所)	備考
CAD図より算出				

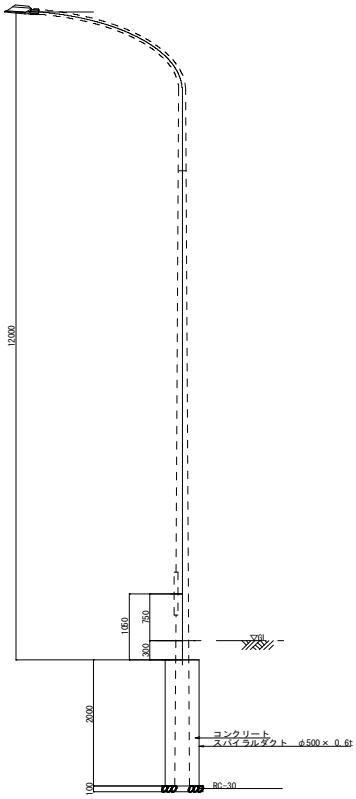




区画線消去面積(m2)	287.5	
区画線消去延長(m)	1916.7	287.5/0.15
合　計	1916.7	

種 別：照明灯基礎設置

単 位 数 量 計 算 書



合計　　1 基

1基当り

細　　別	規　　格	算　　式	単 位	数　量
基礎掘削及び スパイラルダクト立込	φ500　2m以下		基	1
コンクリート	σck=18N/mm^2	0.5 × 0.5 × 2.0- (0.202/2) × (0.202/2) ×3.14×2.0	m3	0.4
基 礎 砕 石	RC-40 t＝100	0.5×0.5	m2	0.3

道路改良

構造物撤去工　　数量集計表

工種（レベル２）	種別（レベル３）	細目（レベル４）	規格（レベル５）	単位	数量	摘要
構造物撤去工						
	構造物取壊し工					
		ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	無筋構造物	m3	5.9	
		舗装版切断	t=15cm未満	m	60.3	
	道路施設撤去工					
		防護・防止柵撤去		m	12.7	
		境界ブロック撤去工		m	59.2	
	運搬処理工					
		殻運搬処理	コンクリート	m3	8.7	5.9+2.8
				t	20.4	8.7×2.35

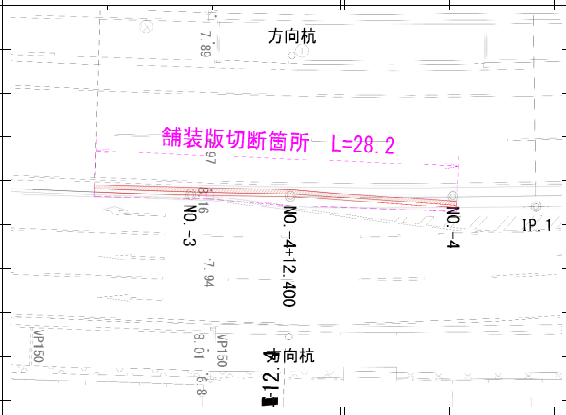
計　第　　表　構造物取壊し工　　計　算　書

測　点	距　離	コンクリート取壊し C(Co)	平　均	立　積
		0.1		
NO.-4+12.4	12.7	0.1	0.10	1.3
	14.9	0.1	0.10	1.5
		0.1		
NO.4+9.7	25.4	0.1	0.10	2.5
	6.2	0.1	0.10	0.6
合　計				5.9

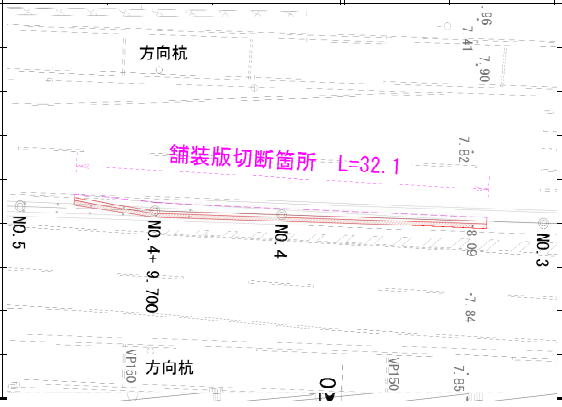
計　第　　表　構造物取壊し工　　計　算　書

舗装版切断

NO.-5+19.7　～　NO.-3+7.3　　平面図より　28.2



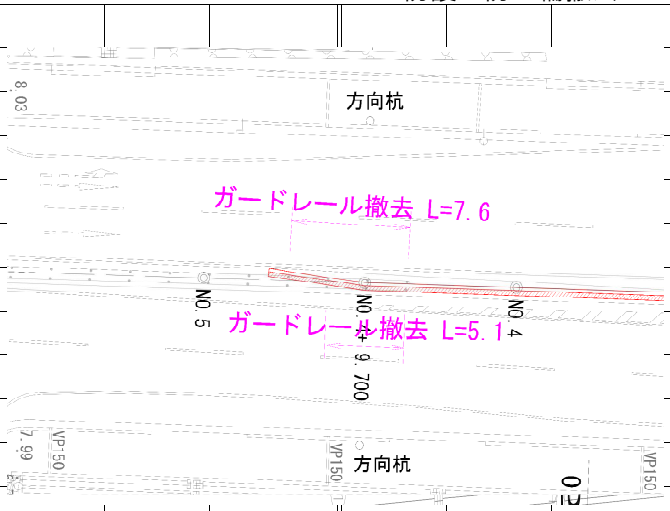
NO.3+4.3　～　NO.4+15.8　　平面図より　32.1



			m
合　計			60.3

計　第　　表　道路施設撤去工　　計　算　書

防護・防止柵撤去

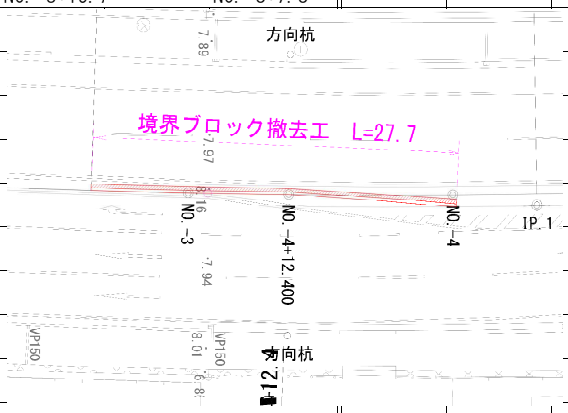


										m
合　計								平面図より		12.7

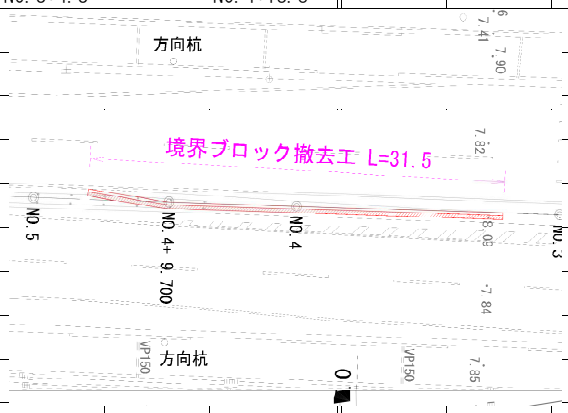
計　第　　表　　計　算　書

境界ブロック撤去工

NO.-5+19.7	～	NO.-3+7.3						平面図より		27.7



NO.3+4.3	～	NO.4+15.8						平面図より		31.5



										m
										59.2
										m3
					59.2	×(0.18+0.205)/2×0.25				2.8

川南土地区画整理事業　神辺駅御幸線　数量総括表

工　種	種　　別	細別	規格	単位	数　量	設 計 数 量	摘　要
舗装工	車道舗装	表層	再生密粒度Ast=5cm　W1	m2	642.7	643	
	歩道舗装	表層	再生細粒度Ast=3cm　W6	m2	362.6	363	
付属施設工	区画線工						
	区画線設置	手動 未供用区間					
		実線・白色	W=15cm	m	443.9	440	
		実線・ゼブラ	W=45cm	m	88.6	89	
		矢印・記号	W=15cm換算	m	27.0	27	
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版破砕	As舗装版 t=5cm	m2	517.9	518	
	運搬処理工	殻運搬	As殻	m3	25.9	26	
		処分費	As殻	t	60.9	61	

川南土地区画整理事業　神辺駅御幸線　舗装工　数量集計表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工					
車道舗装	表層	再生密粒度As t=5cm　W1	m2	642.7	
歩道舗装	表層	再生細粒度As t=3cm　W6	m2	362.6	

舗装工

細別	規格	算式	数量	単位
車道舗装				
表層	再生密粒度As t=5cm　W1	642.7	642.7	m2
歩道舗装				
		左側　　右側		
表層	再生細粒度As t=3cm　W6	172.6　+　190.0	362.6	m2

平 積 計 算 書

路線名：神辺駅御幸線　　種別：車道舗装

断面No.	表層W1 距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	摘要
NO.20	－	9.70	－	－					
NO.21	20.0	9.70	9.70	194.0					
NO.21+15.93	15.9	9.70	9.70	154.2					
NO.21+17.04	1.1	9.00	9.35	10.3					
NO.22	3.0	9.46	9.23	27.7					
NO.22+1.76	1.8	10.13	9.80	17.6					
NO.22+2.77	1.0	10.65	10.39	10.4					
NO.22+8.26	5.5	15.51	13.08	71.9					
NO.22+9.73	1.5	17.54	16.53	24.8					
C7	0.8	18.58	18.06	14.4					
	4.1	38.70	28.64	117.4					
合 計	54.7			642.7					

平 積 計 算 書

路線名:神辺駅御幸線　　種別:歩道舗装

断面No.	路盤 W7(左)				表層 W6(左)				摘要
	距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	
NO.13									
NO.14									
NO.15									
NO.16									
NO.17									
NO.18									
NO.19									
NO.20					－	2.50	－	－	
NO.21					20.0	2.50	2.50	50.0	
NO.21+15.93					15.9	2.50	2.50	39.8	
NO.21+17.04					1.1	2.51	2.51	2.8	
					2.5	2.51	2.51	6.3	
					－	3.50	－	－	
NO.22					0.5	3.50	3.50	1.8	
NO.22+1.76					1.8	3.51	3.51	6.3	
NO.22+2.77					1.0	3.44	3.48	3.5	
NO.22+8.26					5.5	6.88	5.16	28.4	
NO.22+9.73					1.5	7.48	7.18	10.8	
C7					0.8	8.14	7.81	6.2	
					4.1	0.00	4.07	16.7	
合 計					54.7			172.6	

平 積 計 算 書

路線名:神辺駅御幸線　　種別:歩道舗装

断面No.	路盤 W7(右)				表層 W6(右)				摘要
	距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	距離 (m)	幅 (m)	平均幅 (m)	平積 (m^2)	
NO.14									
NO.15									
NO.16									
NO.17									
NO.18									
NO.19									
NO.20					–	2.50	–	–	
					10.2	2.50	2.50	25.5	
					–	3.31	–	–	
					0.4	3.31	3.31	1.3	
					–	3.31	–	–	
NO.21					9.4	3.31	3.31	31.1	
					3.8	3.31	3.31	12.6	
					–	3.31	–	–	
					0.4	3.31	3.31	1.3	
					–	2.50	–	–	
NO.21+15.93					11.7	2.50	2.50	29.3	
NO.21+17.04					1.1	2.66	2.58	2.8	
					2.5	2.66	2.66	6.7	
					–	3.50	–	–	
NO.22					0.5	3.50	3.50	1.8	
NO.22+1.76					1.8	3.41	3.46	6.2	
NO.22+2.77					1.0	4.29	3.85	3.9	
NO.22+8.26					5.5	8.07	6.18	34.0	
NO.22+9.73					1.5	10.45	9.26	13.9	
C7					0.8	9.63	10.04	8.0	
					2.4	0.00	4.82	11.6	
合 計					53.0			190.0	

道路改良

付　属　施　設　工　　数　量　集　計　表

工　種 （レベル２）	種　別 （レベル３）	細　目 （レベル４）	規　格 （レベル５）	単位	数　量	摘　要
付属施設工						
	区画線工					
	区画線設置	溶融式区画線・手動 未供用区間				
		実線・白色	W=15cm	m	443.9	
		実線・ゼブラ	W=45cm	m	88.6	
		矢印・記号	W=15cm換算	m	27.0	

構造物位置及延長（箇所）調書　未供用区間

溶融式区画線(実線・白色・W=15cm)

測　　点　（左　側）	延長(箇所)	測　　点　（右　側）	延長(箇所)
外側線（東側左）			
NO.　　0 ＋　3.3　付近	111.3		
外側線（東側右）			
NO.　　-1 ＋　14.3　付近	111.3		
車道境界線（東側左）			
NO.　　0　　付近	59.8		
中央線（東側）			
NO.　　-1 ＋　17.4　付近	161.5		
計	443.9	計	0.0
		合　計	443.9

溶融式区画線(実線・ゼブラ・W=45cm)

測　　点　（左　側）	延長(箇所)	測　　点　（右　側）	延長(箇所)
ゼブラ（東側）			
NO.　　-1 ＋　15.6　付近	36.1		
停止線			
NO.　　0　　付近	5.9		
横断歩道			
NO.　　0　　付近	46.6		
計	88.6	計	0.0
		合　計	88.6

溶融式区画線(矢印・記号・W=15cm換算)			
測　　点　（左　側）	延長(箇所)	測　　点　（右　側）	延長(箇所)
矢印（東側）			
NO.　　0　　付近			
右折・破線(2箇所)			
(0.850/0.15)×2.0	11.3		
直進左折・破線(2箇所)			
(1.175/0.15)×2.0	15.7		
計	27.0	計	0.0
		合　計	27.0

川南土地区画整理事業　神辺駅御幸線　構造物撤去工　数量集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
構造物取壊し工	舗装版破砕	As舗装版 t=5cm	m2	517.9	
運搬処理工	殻運搬	As殻	m3	25.9	
	処　分　費	As殻	t	60.9	×2.35

細別	規格	算式	数量
舗装版破砕	As舗装版 t=5cm	(1) 517.9 ＝ 517.9	517.9 m2
運搬処理工			
殻運搬	As殻	舗装版破砕面積数量より 517.9 × 0.05 ＝ 25.9 合計 25.9	25.9 m3

川南土地区画整理事業交差点改良工事　数量総括表

名称	規格・寸法	単位	算出数量	計上数量	備考
作業土工					
床掘	E、t＝5cm	m3	5.7	6	
埋戻し	Fu	m3	7.2	7	
埋戻し材	処理土	m3	8.0	8	地山土量
残土処理工					
土砂等運搬	粘性土	m3	5.7	6	
処分	粘性土	m3	5.7	6	
交通信号装置据付工					
交通信号装置据付工	県警(1)号柱	式	1	1	
交通信号装置据付工	県警(2)号柱	式	1	1	
交通信号装置据付工	県警(3)号柱	式	1	1	
交通信号装置据付工	県警(5)号柱	式	1	1	
通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(2*12C)	径間	1	1	
通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(2*15C)	径間	1	1	
通信ケーブル(中間接続)	10P　0.5～0.9mm　12T	箇所	1	1	
通信ケーブル(中間接続)	20P　0.5～0.9mm　20T	箇所	1	1	
交通信号装置撤去工					
交通信号装置撤去工	県警(3)号柱	式	1	1	
交通信号装置撤去工(歩行者灯器)	側柱式　L=0.5*1	台	1	1	
通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(2*15C)	径間	1	1	
通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(2*30C)	径間	1	1	
通信ケーブル(中間接続)撤去	30P　0.5～0.9mm　30T	箇所	1	1	
材料費					
材料費		式	1	1	
運搬処理工					
As殻運搬	t＝5cm	m3	0.3	0.3	
Co殻運搬		m3	1.5	2	
As殻処分		t	0.7	1	
Co殻処分		t	3.5	4	

数量計算書

作業土工

名称	規格・寸法	算式	単位	数量	摘要
床掘	E、t＝5cm	3.6 × 0.5 × 2 + 2.1 × 1.0	m3	5.7	
埋戻し	Fu	3.6 × 2.0	m3	7.2	
埋戻し材	処理土	7.2 ÷ 0.9	m3	8.0	地山土量

残土処理工

名称	規格・寸法	算式	単位	数量	摘要
土砂等運搬	粘性土	5.7	m3	5.7	
処分	粘性土	5.7	m3	5.7	

交通信号装置据付工

名称	規格・寸法	算式	単位	数量	摘要
交通信号装置据付工	県警(1)号柱		式	1	
交通信号装置据付(車両灯器)	矢印		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(制御器)			台	1	1台目
交通信号装置調整(車両灯器)	矢印		台	1	2台目以降
交通信号装置据付工	県警(2)号柱		式	1	
交通信号装置据付(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	2台目以降
交通信号装置据付(車両灯器)	矢印		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(車両灯器)	矢印		台	1	2台目以降
交通信号装置据付工	県警(3)号柱		式	1	
信号柱基礎設置	ベース型　1.0*1.0*1.5		基	1	
信号柱建柱	鋼管柱(建柱車使用)　STKφ216.3-5.8t-7700L　BP2		基	1	
交通信号装置据付(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	2台目以降
交通信号装置据付工	県警(5)号柱		式	1	
信号柱基礎設置	B型　1.0*1.0*1.5(砂じめ方式)		基	1	
信号柱建柱	鋼管柱(建柱車使用)　STKφ216.3-8.2t-9000L　直管		基	1	
交通信号装置据付(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	1台目
交通信号装置据付(車両灯器)	矢印　(2灯連結)		台	1	2台目以降
交通信号装置据付(歩行者灯器)	側柱式　L=0.5*1		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(車両灯器)	横三位　片面用		台	1	1台目
交通信号装置調整(車両灯器)	矢印(2灯連結)		台	1	2台目以降
交通信号装置調整(歩行者灯器)	側柱式　L=0.5*1		台	1	2台目以降
通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(2*12C)		径間	1	自己支持型ケーブル
通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(2*15C)		径間	1	自己支持型ケーブル
通信ケーブル(中間接続)	10P　0.5～0.9mm　12T		箇所	1	
通信ケーブル(中間接続)	20P　0.5～0.9mm　20T		箇所	1	

交通信号装置撤去工										
名称	規格・寸法	算式						単位	数量	摘要
交通信号装置撤去工	県警(3)号柱							式	1	
舗装版切断	t＝5cm、As	(2.0	+	2.75)	×	2		m	9.5	
舗装版破砕(小規模土工)	t＝5cm、As	2.0	×	2.75				m2	5.5	
車両用灯器撤去	横三位　両面用							基	1	1台目
車両用灯器撤去	横三位　片面用							基	1	2台目以降
車両用灯器撤去	矢印(2灯連結)							基	1	2台目以降
信号柱撤去	STKφ190.7*5.3*9000L　直管							本	1	
信号柱基礎撤去	Co	1.0	×	1.0	×	1.5		m3	1.5	
交通信号装置撤去工(歩行者灯器)	側柱式　L=0.5*1							台	1	
通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(2*15C)							径間	1	自己支持型ケーブル
通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(2*30C)							径間	1	自己支持型ケーブル
通信ケーブル(中間接続)撤去	30P　0.5～0.9mm　30T							箇所	1	

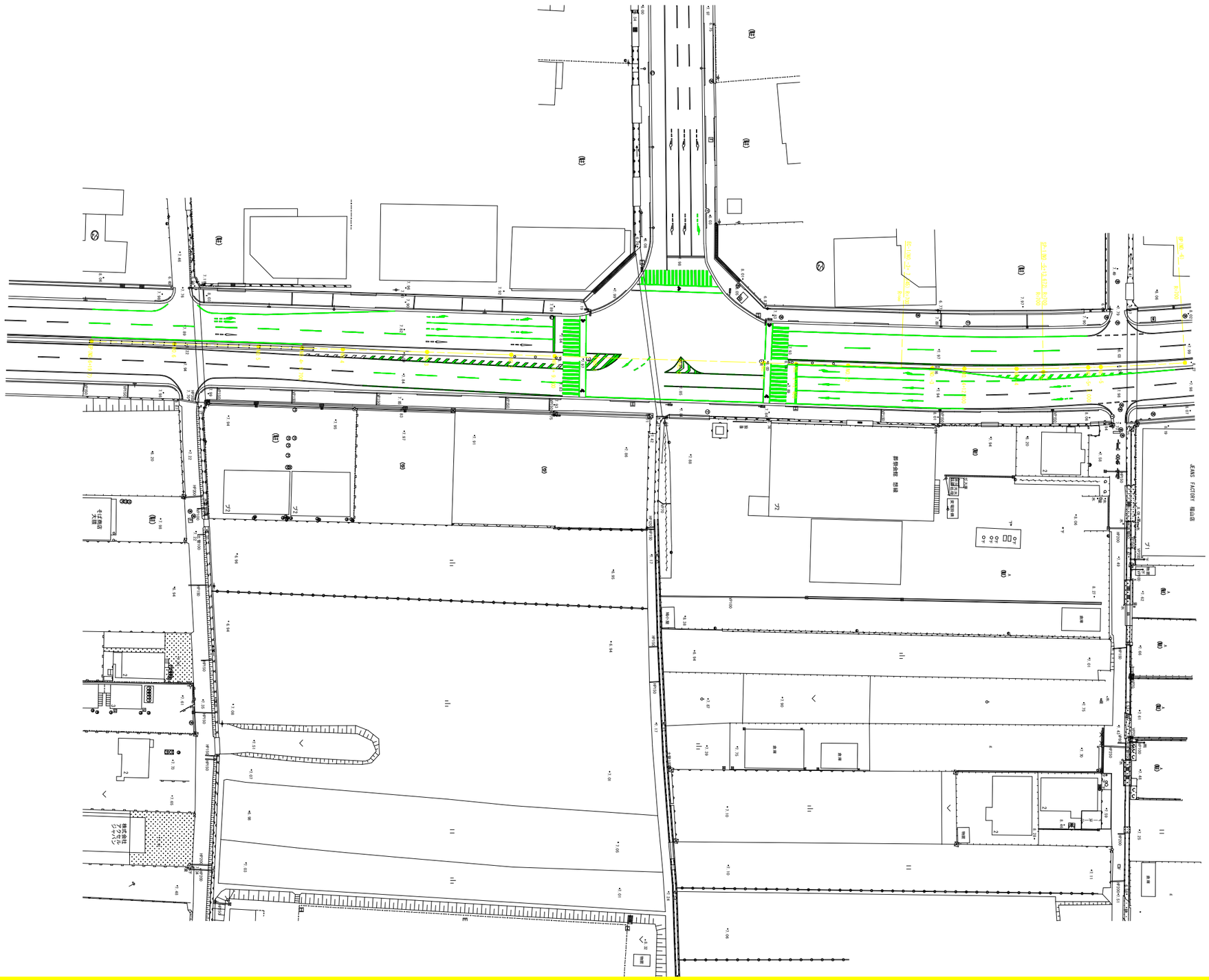
運搬処理工										
名称	規格・寸法	算式						単位	数量	摘要
As殻運搬	t＝5cm	5.5	×	0.05				m3	0.3	
Co殻運搬		1.5						m3	1.5	
As殻処分		0.3	×	2.35				t	0.7	2.35
Co殻処分		1.5	×	2.35				t	3.5	2.35

材料一覧

品名	規格	単位	数量	摘要
信号柱(鋼管柱)	STKφ216.3*8.2t*9000L　直管	本	1	
信号柱(鋼管柱)	STKφ216.3*5.8t*7700L　BP2	本	1	支給品
鋼管耐食塗装費	直管φ165.2～216.3　高さ400㎜	式	1	
アンカーボルト(216.3φ用)	4-M28-700L　頭部メッキ　BP1～9	組	1	
アンカーボルト保護キャップ	φ165.2φ190.7BP用	式	1	
端子函(屋外用差込式)	12T	個	1	
端子函(屋外用差込式)	20T	個	1	
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV　2.0-4C	m	10	
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV　2.0-6C	m	20	
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD　2.0-12C	m	37	
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD　2.0-15C	m	25	
自在バンド(ケーブル引留)	4BD-HD-17(170～265)	本	1	
自在バンド(ケーブル引留)	4BD-HD-23(230～325)	本	3	
ケーブル支持金物	SFT-208付	本	6	
ワイヤーシンプル	丸形(18mm)	個	4	
巻付グリップ	シンプル用(18㎜)	個	4	
車両灯器用アーム	L=2.0　主、補助アーム、ターンバックル付	組	1	
車両灯器用アーム	L=2.5　主、補助アーム、ターンバックル付	組	2	
車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP19/φ190	組	1	
車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP21/φ216	組	2	
歩行者用灯器用アーム取付バンド	TSBD-2S　170～220	組	1	
歩行者灯器用アーム	L＝0.5	組	1	
車灯固定金具	片面用　TAF-S	組	3	
灯器取付金具	矢印用	組	3	
交差点名板	灯具取付　220*1100	枚	1	既存
電柱札	鋼管柱用	枚	2	
鋼管柱用反射シート	HPステッカー(マーク入)鋼管柱用	枚	2	
消耗雑材品		式	1	

区画線消去箇所（参考図）

（国道182号×3・4・274 神辺駅御幸線）S=1:500



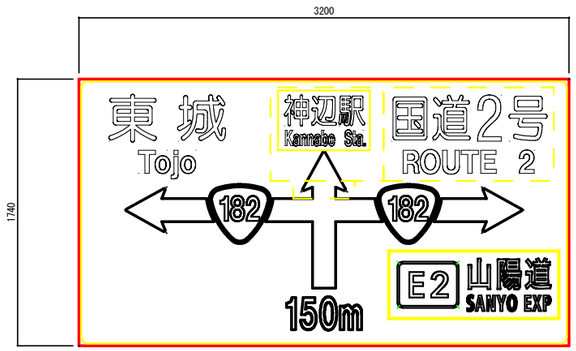
区画線消去箇所

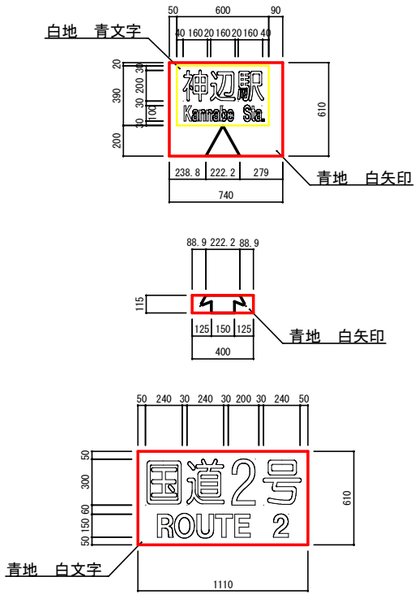
この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

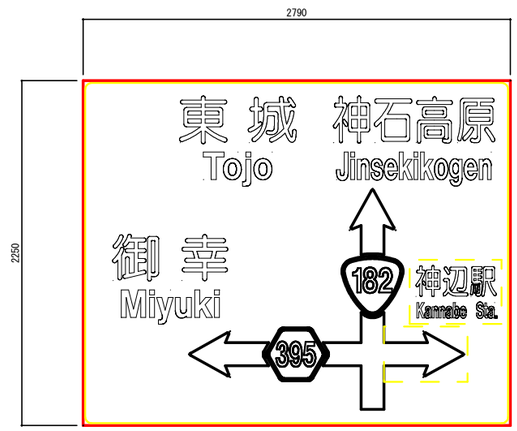
工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	区画線消去箇所（参考図）		
作成年月日	2025 年 7月		
縮　尺	1:500	図面番号	1 ／ 2
会社名			
事業者名	福　　山　　市		

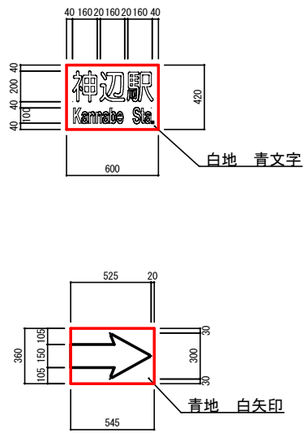
案内標識工（参考図）

（国道182号×3・4・274 神辺駅御幸線） S=1:20









基　　板（アルミ）：	
補強リブ（アルミ）：	
シ　ー　ト　種　類：カプセルプリズム型	

この図面は実際の図面をA1→A3に縮小している

工事名	川南土地区画整理事業交差点改良工事		
図面名	案内標識工図面（参考図）		
作成年月日	2025 年 7月		
縮　尺	1:20	図面番号	2 ／ 2
会社名			
事業者名	福　　山　　市		